KCSP
1-3

釣りキチ三平

第11集
ニジマス釣り編

第11集
ニジマス釣り編

矢口高雄

矢口高雄

講談社

雑誌 45423-83

ISBN4-06-101183-9

C9979 ¥621E (3)

講談社

定価652円
本体621円

琵琶湖にて，フラックバスにアタック！　と出撃する矢口先生。

ボクはこのニジマスを、病床のおふくろに食べさせた。……しかし、熱と激痛に伏す人間に、味など吟味している余裕などあろうはずもない。だから、このときの「おいしい」の一言は、きっと日本一のバカなことにうつつをぬかしている釣り好きのむすこに対するおもいやりの一言だったのだろう。

（「あとがき」より）

（カバーデザイン／
日本ヘリエールアートセンター）

KCSP
183

釣りキチ三平

釣り三平

第11集
ニジマス釣り編

第11集
ニジマス釣り編

矢口高雄

矢口高雄

講談社

釣りキチ三平

第11集　ニジマス釣り編

矢口高雄

釣りキチ三平〈第11集〉ニジマス釣り編

もくじ

激闘！　紅葉堤の大ニジマスの巻……6
ＲＣフィッシングの巻……43
角鷹フィッシングの巻……207
あとがき……356

第11集

ニジマス釣り編

矢口高雄

釣人の夢は
大物が数を出す
ことである
それもフライで
単純なものほど
複雑なものだ。

激闘！
紅葉堤の大ニシマスの巻

三平は 昨夜 一睡もして いなかった

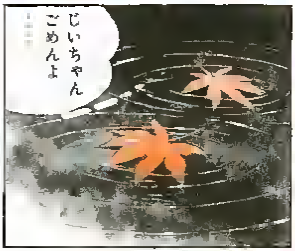
だから 自分が いま なにをしようと しているのか 意識してとった 行動ではない

ハラハラ

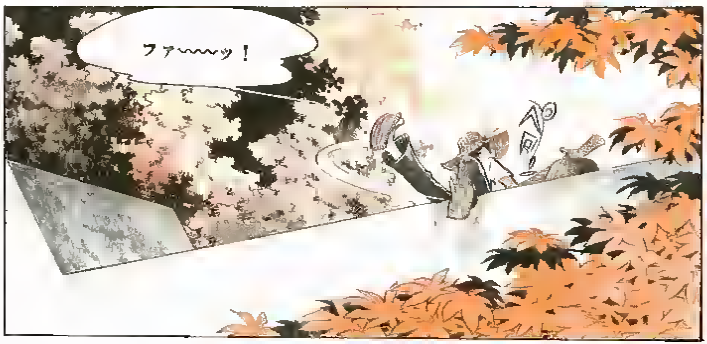
ただ 気がついてみたら 釣り道具を肩に 足は 紅葉堤に むいていたのだ

ブ〜〜〜ン
おらって
だめだなや
・・・

紅葉堤というのは
土地の人のよび名で
土砂が下流の田地に
ながれこむのを
ふせぐために
つくられた
砂防堤のことで
ある


じいちゃん
ごめんよ

…んだって
おらあ
じいちゃんが
くるしむとこ
見てられな
かったんだ
もん・・


ファ〜〜ッ！

市立総合病院
あうっ……
ウチチク
ん――っ!!
じいちゃん

以前 どこかで足や腰を強く打ったようなことはありませんでしたか？
お 思いだせねえ
と とにかく左の足ちゅうかヒザのあたりかしこたまいたむだク～～～ッ
せ 先生じいちゃんはなんちゅう病気なんだ
ウソこかねえてほんとのことをおしえてくれっ!!
ハハハ ぼうやわしは医者だウソはつかん
きみのおじいちゃんの病気は股関節炎というやつだよ
コカンセツエン…!?
なんだべそりゃあ
まあ、専門的なことをいってもぼうやにはわからないだろうが
ようするにわれわれのヒジやヒザなどのまがる部分を関節といって骨と骨とがこんなぐあいに連結されていることは知っているね
ハイ

きみのおじいちゃんのばあいは…
モモのつけ根の股関節におきた炎症
つまり股関節炎ということだ
ごらんなさいきみのおじいちゃんの足は…
左の方が右よりも五六センチも長くなってる
ああ
これは炎症によって関節がゆるんだためにおこったものなんだ
そ そんな先生
だいじょうぶだべかおらのじいちゃん
ぼうや心配しないでわたしにまかせなさいかならずもとどおりになおしてあげますよ
ウウ〜〜ンククッ!!
じいちゃんし しっかりするだ!!
おらがついてるぞ——っ!!

患部を
砂嚢で固定し
鎮痛剤を
注射しなさい

ハイ

ヒイ!!

ウウッ

んまあ
ゆうべ一睡も
しなかったの
…？

いけないわ
ねむら
なきゃあ
からだに毒よ
あたしたちが
ついているんですから

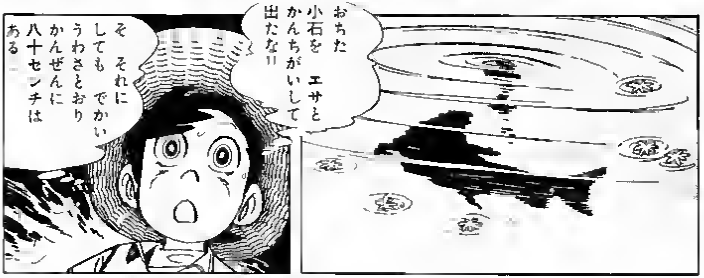
すまねえな
三平

じいちゃんは
だいぶらくに
なったから
やすめ…

ほんじゃあじいちゃんわりいけどもちょっくら家さかえってじいちゃんの着がえなんかとってくるだ
ついでにゆっくりねてこい!!
フーーッ!!
股関節炎だなんて
なんでそんただへんな病気さかかっちまっただじいちゃん…
まえに足や腰を強く打ったことがねえか…なんてお医者さんがきいてたけど…
ありゃ!? こ…こりゃあ…釣り竿…!?
しかも四間(七・二メートル)の鮎掛け竿てねえか…!?

そ それに
ここは
紅葉堤
……!?
なんで
おらあ
こんただとこさ
いるだ
やっぱし おらあ
ゆんべ まるっきり
ねもってねえんで
頭がほけて
いたんだなあ
じいちゃん
はやく
よくなって
くれよお
ウッ!?

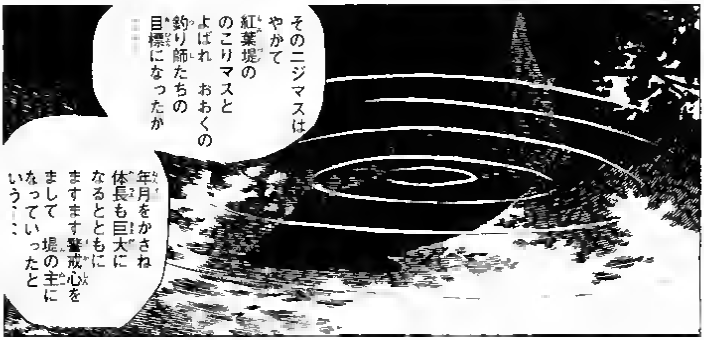
ああっ！
紅葉堤のこりマスだっ!!


おちた小石を エサとかんちがいして出たな!!
そ それにしても でかいうわさとおりかんぜんに八十センチはある

そうだっ
おらあ
こいつを
釣るために
ここさ
きたんだ!!
いままで
だれにも
釣られず
たった一ぴきに
なってしまった
老かいな
大ニジマス
……
ン!?
な なるほど
やつは
この堤の
上と下とを
むすんでいる
江古にかくれて
いるんだな
ようし
……

この紅葉堤ができたのはかれこれ十五年くらいまえのことだったらしい…
ある年土地の養殖家が三十ぴきほどの稚魚を放流したという…
上流からながれてくるエサがとどまる堤だったこともあって稚魚の成育はすこぶるよく
釣りごろに成長する二、三年後にはほとんどが釣りあげられてしまった…

しかしただ一ひきだけはいかなるベテラン釣り師たちかいどんでもかれらのハリにかかることがなかったという…


そのニジマスはやがて紅葉堤ののこりマスとよばれ おおくの釣り師たちの目標になったが
年月をかさね体長も巨大になるとともにますます警戒心をましていってついたとなっていう…

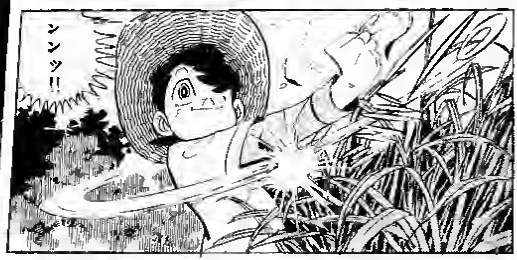
フエ――ッ
やっぱし
きょうのおらは
どうかしてただ
ニジマスを
釣ろうちゅうに
竿もしかけも
みんな鮎用の
ものしか もって
きてねぇ
なんて
しようがねえ
とにかく
こいつをつかって
釣るしか
あるめえ

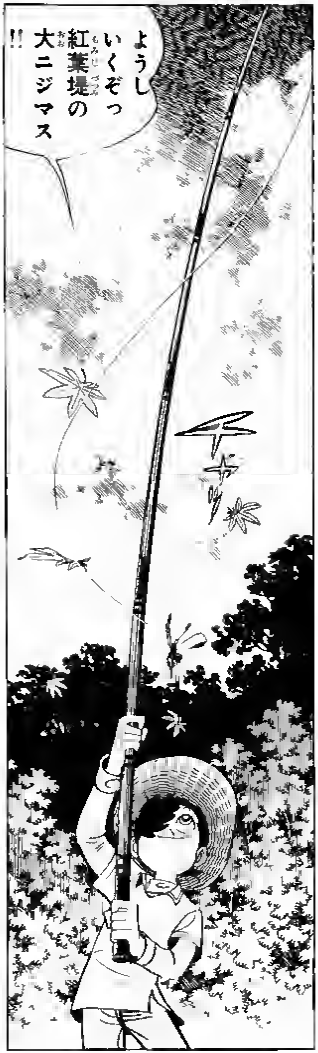
んだども 相手が
あれだけ
どでかい
ニジマス
だけに
ひょっとしたら
あらっぽい
しかけのほうが
効果があるかも
しれねえぞ

ようし
思いきって
ハリも
鮎かけ用の
十一号を
つかっちゃえ!!

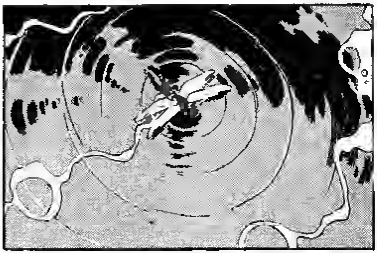
エサは
…と

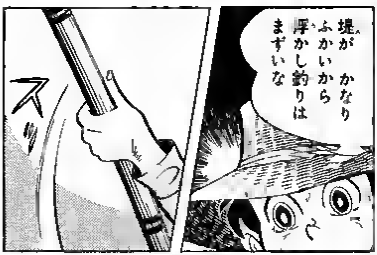
へへへ まずは
赤トンボの
一ぴきがけ
イトは
ミチイトから
ハリスまで とおしの
ナイロン三号

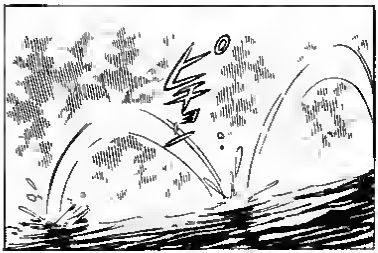

シンッ!!

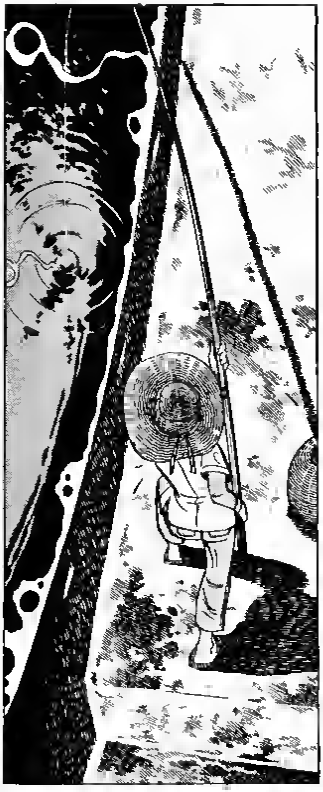

よし
いくぞっ
紅葉堤の
大ニジマス
!!

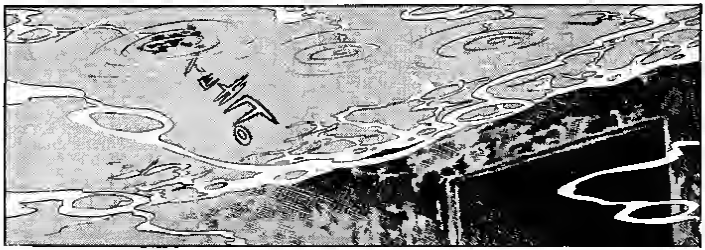
フフフ




堤がかなり
ふかいから
浮かし釣りは
まずいな


ヒュ



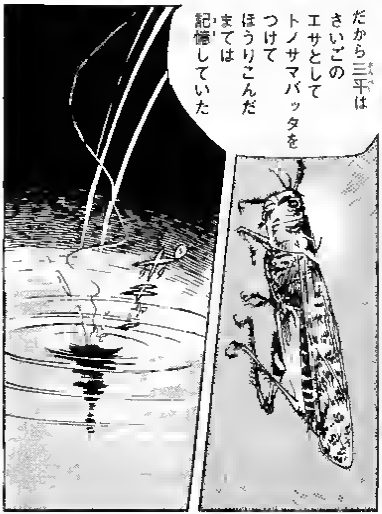

ドボン

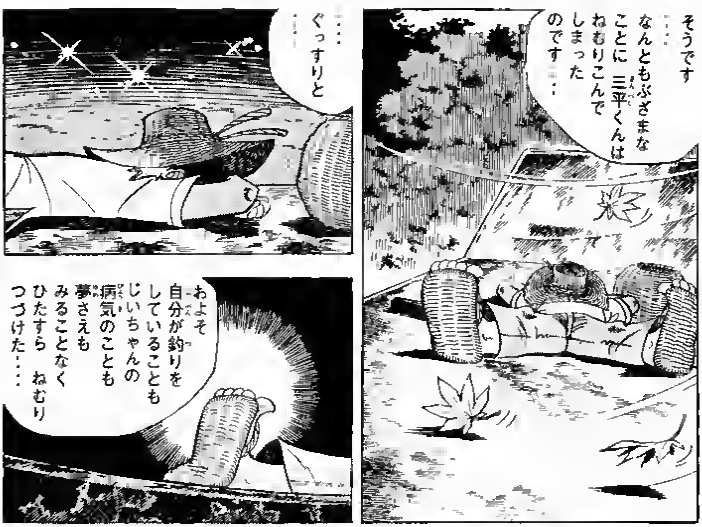
やっぱしだめか
ほんじゃあカミツブシをつけてみるべ
クゥ〜〜〜ッこれでもだめかあ
赤トンボのエサがいけねえのかなあ
くっそオいってぇなに食って生きてるだ!!
バケモノニジマスめっ!!
きょうの三平はいつになく気がたかぶっていたそれというのも昨夜の寝不足とじいちゃんの病気のことか気になっていたからにちがいない

葉うらに
ひそむ蝦も
つかまえた
下流におりて
石の下の
川虫をとって
エサにして
みた…
くそおっ
!!

しかし さすが
一びきとなっても
なお生きつづける
紅葉堤の
大ニジマス……
ふたたび姿を
あらわすことは
なかった

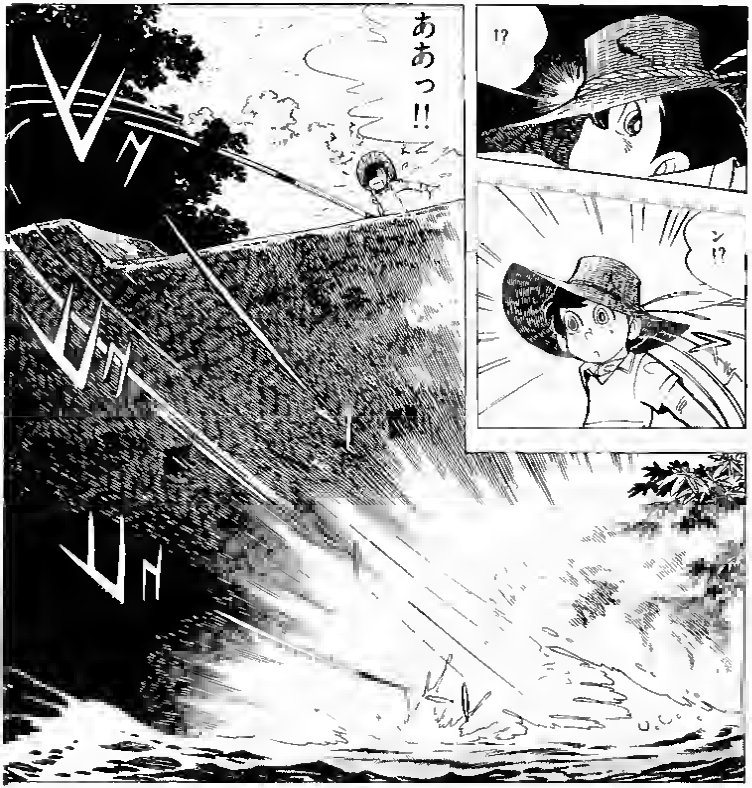
こんなとき
いつもの
三平ならば
もっと冷静に
なんらかの策を
こうじたで
あろう
だが
もはや
その気力も
ないほどに
睡眠不足が
たたっていた


だから三平は
さいごの
エサとして
トノサマバッタを
つけて
ほうりこんだ
までは
記憶していた


そうです……
なんともぶざまなことに 三平くんは ねむりこんでしまったのです……
……ぐっすりと……
およそ自分が釣りをしていることもじいちゃんの病気のことも夢さえもみることなくひたすら ねむりつづけた……

ときおりそよかぜにまうモミジの葉が耳もとをくすぐるが
そんなことで目なんかさめないほど三平のねむりはふかかった
いったいどのくらいねむりつづけただろうか……
きりさけるような異様なもの音に目がさめた!!

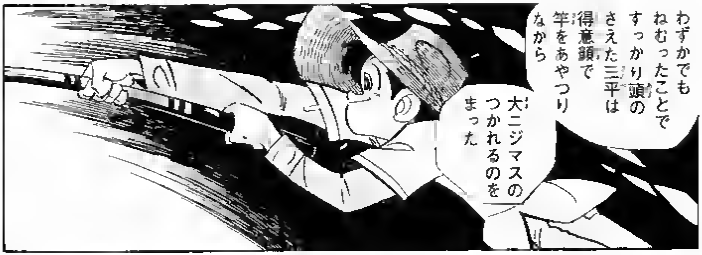
ヒュ
ヒュ
ヒュ


あっ!!
ヒュ
ヒュ
ヒュ
!?
シ!?

やつだっ
やつが
かかって
るっ!!
ウッヒョ〜〜ッ!!

おっ
と
と
と
うわ〜〜〜っ!!

くっ
くそお
ヒョフ!
ヒョフ!
ヒョフ!

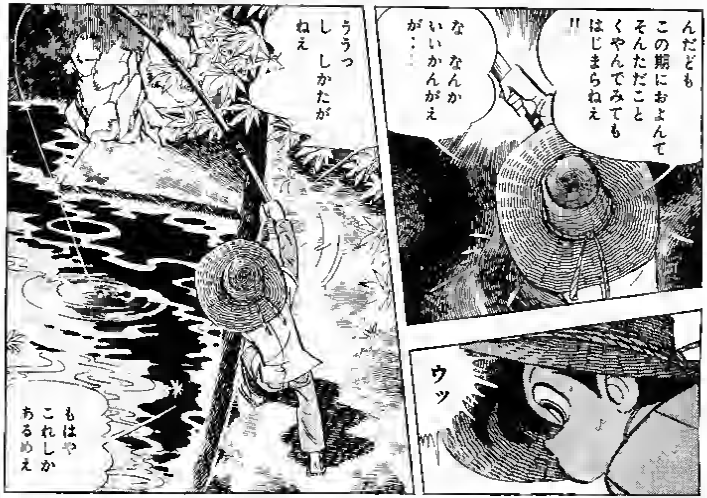

わずかでもねむったことですっかり頭のさえた三平は得意顔で竿をあやつりながら
大ニジマスのつかれるのをまった

しかし　さすが紅葉堤の大ニジマス……いっこうに弱る気配を　見せないままに　十分……二十分……
と三平はたいへんなことに気がついた
ウウッ

こ　こんだことやってて　いってえどうやってあいつをとりこむんだ!?
ここは水面から四　五メートルも高い　堤の上……

ゴボウぬきしたらたちまちハリがおれるかイトがきれる
んだからといって下さ　おりるには両岸がきりたった崖だから足がかりがねえ!!

カ――ッ
ど　どうすれば
いいだ～～～
!!
ヒュ
やっぱし
きょうのおらは
どうか
してただ・・・
いつもだったら
釣る前に
かならず足場を
しらべてから
はじめるのに
ヒュ
ヒュ


んだども
この期におよんで
そんただこと
くやんでみても
はじまらねえ
!!
な なんか
いいかんがえ
が……
ウッ
ううっ
し しかたが
ねえ
もはや
これしか
ねえ

ようし
いくぞっ
!!

トーッ

ウッア
だ だいじょうぶかなっ!?
うわ〜〜〜っ!!
し しめた
作戦成功
だ〜〜〜っ!!
とびこんだときのショックでバレやしねえかと思ったがまんまと成功だ〜〜〜っ

ウッヒョ〜〜ッ
やった〜〜っ!!
ついに
紅葉堤の
大ニジマスを
釣りあげた
ぞ〜〜〜っ!!

おい
ニジマス
くん!!
ずいぶんと
手こすらせて
くれたなや
さすがだぜ

いやあ
もう
あの上から
とびこんだは
いいが
そっから
ダムの下まで
ひきおろすのに
えれえ
苦労したよ
ヤレヤレ

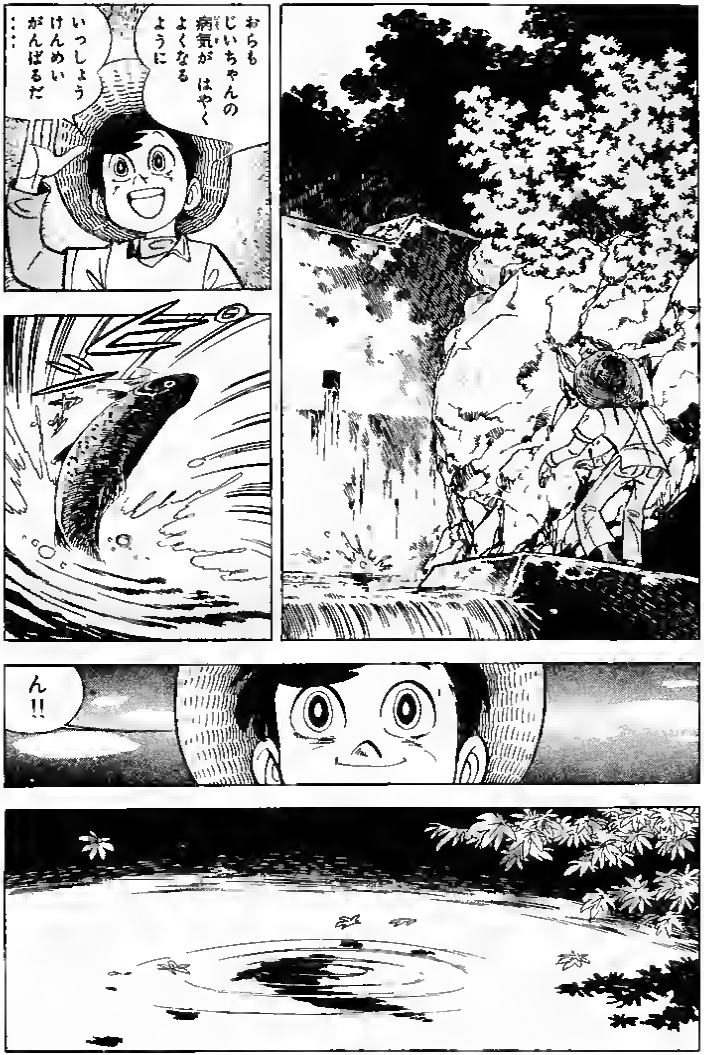
フア～～ッ
それにしても
おめぇ
ようく ここまで
でっかくなった
もんだなや

ぎゃくにいえば
釣りのことなんか
すっかり わすれて
ねむっちまった
ことが かえって
人の気配が
しなくなって
食いついたの
では……？
まてよ
……
？

しかし きょうまで
だれにも
釣られなかった
こいつが
なんも しねえで
昼寝こいてるまに
かかっちまうなんて
信じられねえ

そういえば
むかしの すぐれた
忍者は 相手の心を
読みとる 読心術と
いうやつを 身につけ
たというが
ひょっとしたら
こいつには
そんな 読心術の
ような 能力が
そなわって
いるため……
釣ろう 釣ろう
という気の人が
何人挑戦しても
釣れなかったんじゃ
ねえだろうか……？

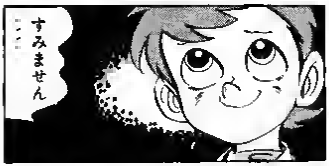
おい
どうなんだい
すほし
だろう!!
おめえは
やっぱし
読心術が
できるん
だべ!!
アウッ
!!
うわ〜〜〜っ
おこったの
けえ!!
おんもしれえ
やつだなあ
…
おらあ きょうは
じいちゃんが
入院なんか
しちまったんで
ゲンなおしの
つもりで
きたんだが
おめえの
おかげで
気分も
すっきり
しただ……
んだからちゅう
わけじゃねえけど
…おめえを
釣ったこと…
おらあ だれにも
いわねえ
せっかく
ここまで
がんばったん
だから
これからも
ずーっと
この紅葉堤で
がんばってくれ
…


おらも
じいちゃんの
病気が
はやく
よくなる
ように
いっしょう
けんめい
がんばるだ
：：：
ん!!

ホホウ
モミジかあ

きれいじゃのう
三平…

なかなか
かえってこねえと
思ってたら
こんなもんを
とりさ
いってたの
けえ…


すみません

なにも
あやまることは
ねえさ…
おめえに
いらぬ心配を
かけたのは
わしなんじゃから

なーに
いってるだ
じいちゃん
かえってみたら
じいちゃんが
いがいと
元気なんで
おらあ
すっかり安心
しちゃっただ
ゆんべの
苦しみようと
きたら
すごかったから
なあ…

フフフ 三平……
じつはな
きのう医者が
いってたべ……
以前 どこかで
足か腰を強く
打ったような
ことが なかったか
って……

うん
あれ……
思いあたる
フシが
あるんじゃ

ええっ!?

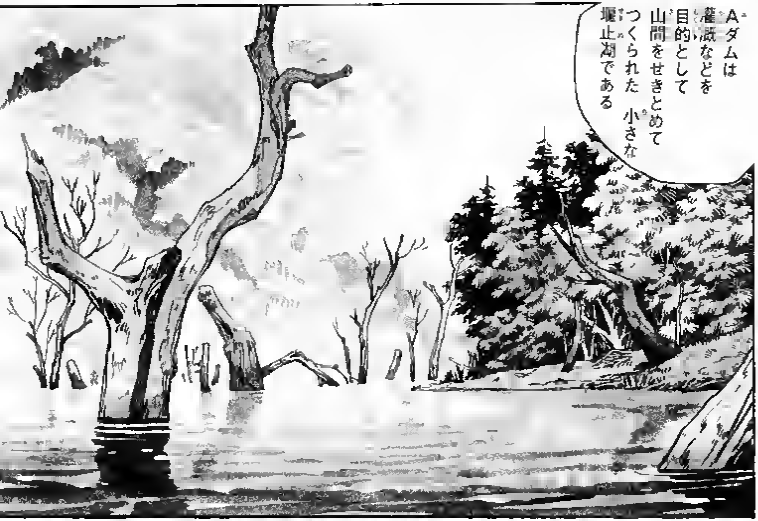
わけえころ
岩魚釣りに
いったときの
ことじゃ……
ある滝壺の
上から釣ってて
でっけえ岩魚を
かけたまでは
よかったのじゃ
が……
なにしろ足場が
わるかった……
ゴボウ抜きすれば
イトがブッツリだし
下さ おりるには
両岸は きりたった
崖……

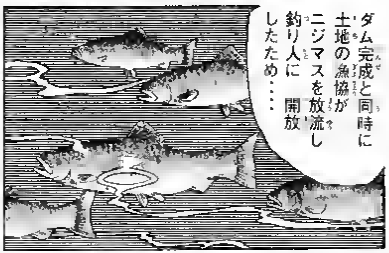
じ
じいちゃん
も
もしかして
竿をもったまま
滝壺さ
ザブン!!

オッ
おめえ よく
わかったのう
そうなんじゃ
よ……
そんとき
運わるく
岩かどで
しこたま腰を
打ってのう……

紅葉堤の大ニジマスの巻　おわり

●RCフィッシングの巻●


Aダムは
灌漑などを
目的として
山間をせきとめて
つくられた 小さな
堰止湖である

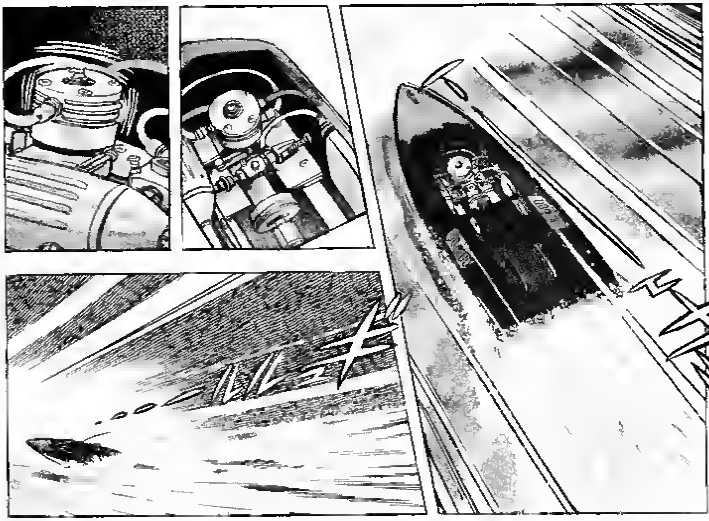

ダム完成と同時に
土地の漁協が
ニジマスを放流し
釣り人に 開放
したため・・・

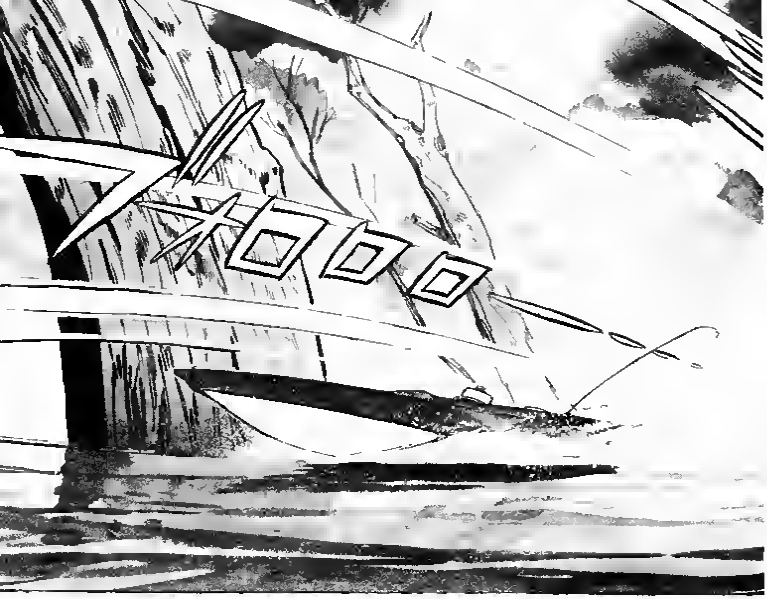
けっこうな
釣り場として
釣り人のあいだに
人気の湖と
なっていた
・・・

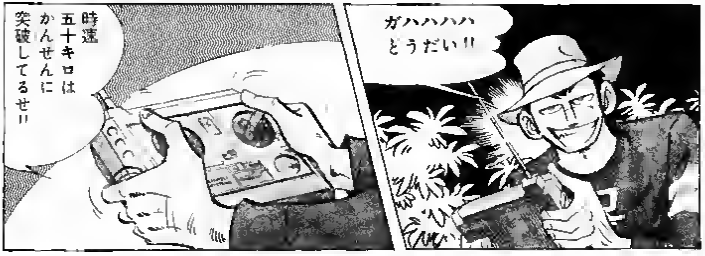
ところが 最近
この堰止湖が
釣りとは関係のない
れんじゅうで
にぎわいだした
のだ・・・!!

矢口高雄
矢口プロ作品

RCフィッシングの巻 Part 1


ヒュ


ゴロロロ


ガハハハハ
どうだい!!
時速
五十キロは
かんせんに
突破してるぜ!!

オフ!!

カ～～～
あいかわらず すげえなあ メカ政の腕は・・・
まったく だとても おれたちの 歯のたつ 相手では ないわい
VAN

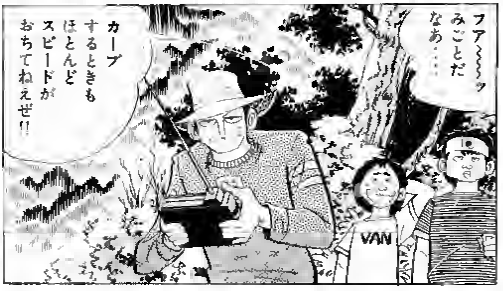
さーすが メカ政の 異名をとる だけのことは ありますね
ヒョーーッ
あの ようすだと 時速百キロも 夢では なさそうだぜ

フフフ なにを のん気な こと いって るんだ・・・
そろそろ 折りかえし点だぜ

いいかい RC〈ラジオ・コントロール〉ボートってやつは
鏡のような水面をただまっすぐつっ走らせるってのはバカでもできるが…
VAN
コーナーリングとなりゃあそうはいかねえ！
ようく見てろ!!
ムッ!!

ズオオオオオ

ヒュ〜ン

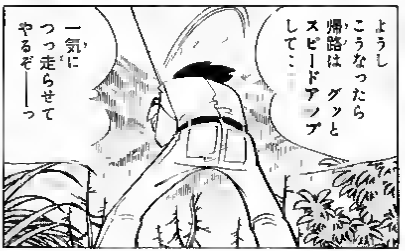

フア〜〜ッ
みごとだなあ…
カーブするときもほとんどスピードがおちてねえぜ!!
VAN

こっちもそろそろ折り返し点にかかるぜ!!

ヒョ――ッ
いくぞ
おいおい
調子にのって
枯れ木に衝突
させるのだけは
よしてくれよ
そんなことを
した日にゃあ
ウン万円も
かけてつくった
ボートが一瞬
にして パアに
なっちまうからな
……
わ
わかって
ますよ!!
ンッ

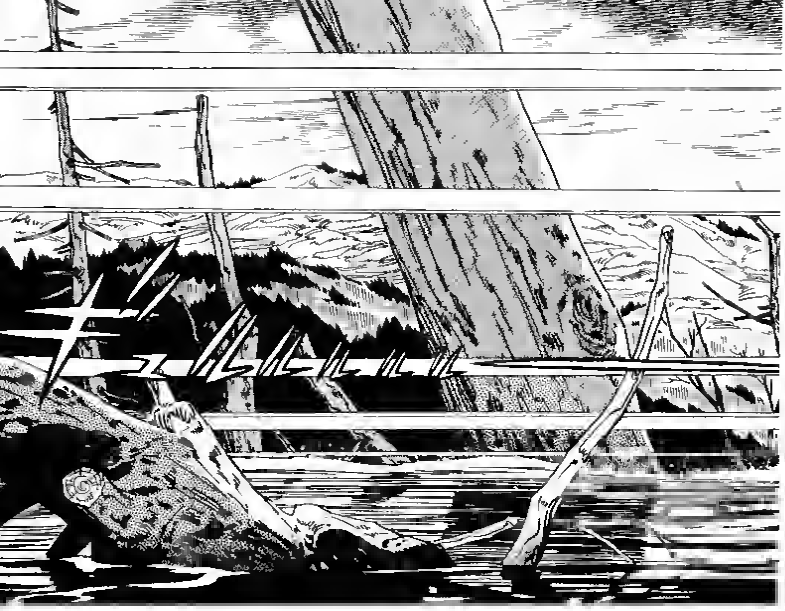
ヒョオ!!
トトッ
うむ!! だいぶコーナーリングがふくらんだが……
まあまあじゃねえか

あ ありがとう!!
あにきにはじめてほめられました


ようしこうなったら帰路はグッとスピードアップして……
一気につっ走らせてやるぞ——っ

ウッヒャ〜〜〜ッ
このスピード!!
この迫力(はくりょく)!!

RCボートの
魅力(みりょく)は
なんつったって
この はらわたを
えぐるような
エンジン音(おん)の
ひびきに
つきる!!


ギリギリギリ

クッソオ!!
フッ!!
なんちゅうやつらだあいつらっ!!

これじゃあ釣りもなにもあったもんじゃねえ!!
あんな音をたてて……
釣り場の上をビュンビュンつっ走られた日にゃあなっ
ああっ……!?
また折りかえしてくるぜっ
クッソオ見とれっ
こいつをひっかけて転覆させてやるうっ

そうか
その手が
あったのか…!!
ようし
日ごろの腕まえを見せてやるぜ!
チャリン
きたっ!!

ンッ!!
ンッ!!

ああっ!?
やった!!

ウッ!!
ああ!!
ムッ!!

ギッヒッヒ
うめえこと
いったぜ
やい
てめえら
なんてことを
しやがるんだ
よ
なーに
いってるんだい
そりゃあ
こっちのいう
せりふだぜ!!

こっちのいうせりふだとォ!?
ふざけたことをいうんじゃねえっ

わざと釣りバリを投げつけてひっかけたのを……
こっちはちゃーんと見てるんだぜっ

わざとひっかけたんじゃねぇ
おれたちが釣ってるところにてめえらのボートがとびこんできたんじゃねえか!!

しかも耳の鼓膜もやぶれんばかりの音をたててなっ

あんなバカでかい音をたてられてポイントの上をビュンビュンつっ走られた日にゃあ
魚がちってまるっきり釣りもなにもあったもんじゃねえ!!
すこしは人のめいわくってことを考えたらどうなんだい!!

ふふふ
人のめいわくか…
どっかできいたことのあるせりふだな…
それじゃきくがな
この湖はてめえたち釣り人のもんかい…!?
そ それは…!
てめえたち釣り人のためにのみ この湖がつくられたかときいとるんじゃ!!
ヒッ!!
ええ おい どうなんでえ
はっきりきかしてもらおうじゃねえか!!

そ そりゃあ
いくらなんでも
この湖が……
お おれたち
釣り人のために
のみ つくられ
たってわけは
あるめぇ……
いろいろな
目的をもって
みんなのための
ものに きまっ
てるじゃねえ
か……

うむ なるほど
みんなのための
もの ことは
いいことばだ
そのことばどおり
解釈すれば
この湖は
みんなのものだから
だれでもつかえるって
ことになるし……
とうぜんの
ことながら
RCボートを
ぶっとばし
たって
だれからも
文句の出る
すじあいは
ねえってことに
なるな!!
そ そんな
バカな
たしかに
湖はみんなの
もんかも
しれねえ!!

しかし
おれたち
釣り人には
漁業権って
いうものが
あるんだ!!
漁業組合って
もんがあって
魚を放流して
入漁料ってやつを
はらって 釣って
いるんだっ!!

そうだそうだ!!
おれたちは
ちゃーんと
入漁料をはらって
釣っているんだ
それを
じゃまされて
このまま
おめおめと
ひっこんで
いられるかって
てんだ!!
VAN

それとも
なにかい
おめえらも
そのRCボート
とかぬかす
オモチャあそびの
料金でもはらって
この湖にきてると
でもいうのかい!!

なんだとォ
もう一度
いってみろ
オモチャ
あそびとは
なんたる
いいぐさ!!

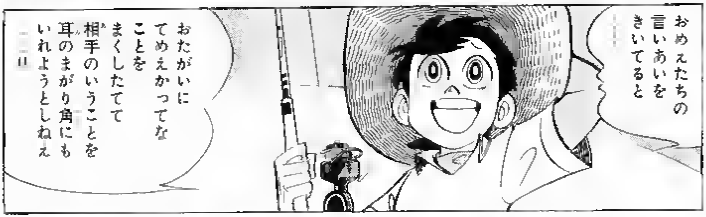
だって
オモチャじゃ
ねえか
オモチャを
オモチャと
いって
なにが
わるい!!

ふざけた
ことを
ぬかすな!!
釣りは
いまや
世界じゅうで
もっとも
高級な
ゲームであり
スポーツだってことを
知らねえのか——っ!!

それじゃあ
てめえらの
やってることは
なんだい!
いくら
カツコ
つけたって
魚殺しじゃ
ねえか!!

バッキャロ――ッ
それをいうんなら
RCゲームこそ
もっとも
現代感覚に
マッチし
洗練された
ナウな
メカニック
スポーツ
なんだぜ
――っ!!
わわわ――っ!!
わわわ――っ!!
ン!?
よさねえ
か――っ!!

なんちゅうことをやってるだいい年をしたおとなが…!!


おめえたちの言いあいをきいてると……
おたがいにてめえかってなことをまくしたてて相手のいうことを耳のまがり角にもいれようとしねえ…!!

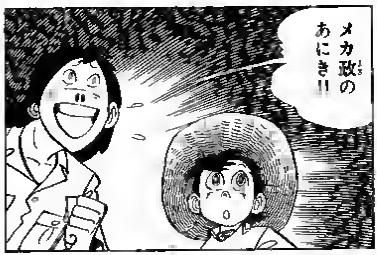
それじゃあまるっきり暴力団のいざこざみてえなもんで
ちっとも問題の解決になりはしねえべ…
もっとおだやかに話しあいができねえのけえ!!

もっとも
おらも
釣りキチの
はしくれ
だから……
目の前の
ポイントで
ビュンビュン
やられたら
あったまさ
くるし

だからといって
RCボートって
やつも……
やってみれば
釣りなんかに
まさるとも
おとらねえ
おもしろさが
ありそうだし
……

ようするに
この場合の
問題点は
……!!

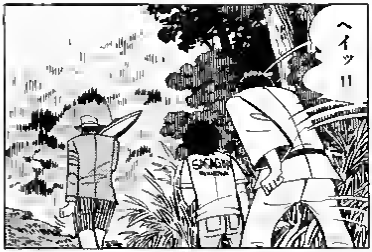
おなじ水域内での
釣りとRCボートは
利害関係が
あい反すると
いうことさ
……!!


メカ政の
あにき!!

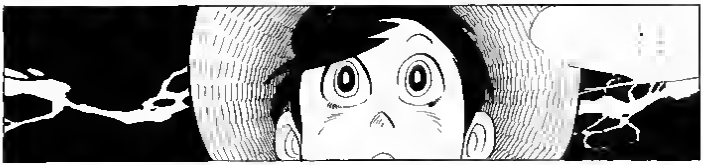
てめえら
そんな
ところで
なにを
ガタガタ
やってんだ

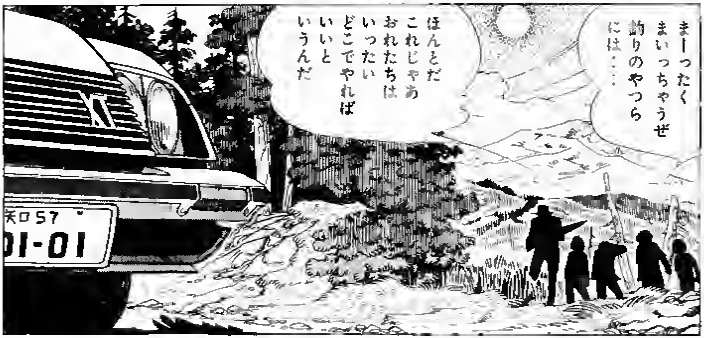
すこしは頭をひやして考えてみろ
利害関係の対立する釣りとRCボートとが協力しあうことなんてしょせんありえないことなんだ!!
おれたちの仲間が各地の水域で釣り人などとのトラブルにより…
しめだしをくらっていることはおめえたちも知ってるだろう…
VAN
ほ ほんとけぇ それ…

釣りは歴史も古く多くのマニアをもって世間の評価をうけている
しかしそれにひきかえわが国のRCの歴史はわずか二十数年でありファンもごく一部という現状だ…
しかしおれはがんばるぜ
いつの日かおれの手でRCボートの専用水域をつくるまではね
…

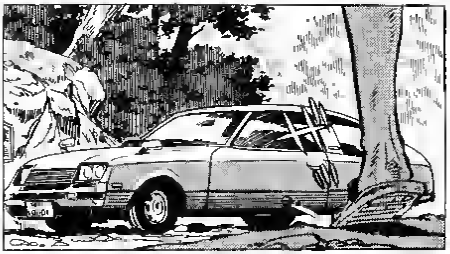

ヘイッ!!

じゃましてわるかったな……
みんなかえるぜ




まーったくまいっちゃうぜ釣りのやつらには……
ほんとだこれじゃあおれたちはいったいどこでやればいいというんだ

ンっ？
おめえは
さっきの



へへへ
たしか
メカ政の
あにきって
いったな
おらあ
三平ちゅうだ

かえりがけの
ところを
わるいが
ちょこっと
つきあって
もらいてえん
だ

なんでぇ
やぶから
ぼうに
あにきは
いそがしいん
だよ!!

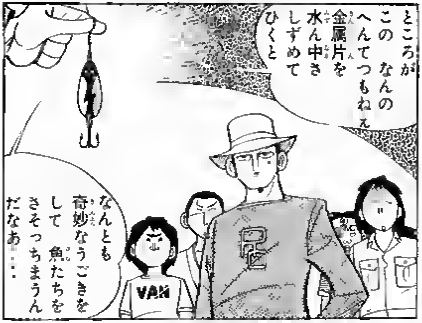
いやあ
そんなてまは
とらせねえ
ほんの一ぴき
釣るあいだ
だけで
いいんだ

一ぴき
釣るあいだ
……!?

おいてめえ!!
ガキだと思っておとなしくきいてりゃあなんてことをいいだすんだ!!
ヒッ!!
三平くんといったね
つきあおう
ウヒャ〜〜〜ほんとけえ——っ!!
さーすがメカ政のあにきだ話がわかる!!
ただし おれは釣りなんかにゃあまったく興味もねえし……
むしろ釣り人を目のかたきにしてる人間だってことをわすれねえでほしい……
そんなことわかってるって……
まあそれも時間の問題だろうけとな
時間の問題……!?

いやあ
なんでもねえ
なんでもねえ
・・・!!
とにかく
おらの
やることを
だまーって
見ててくれ
さえすれば
いいだ・・・

釣りを
やったことの
ねえ人には
へんなもんに
見えるかも
しれねえが
・・・
こいつは
ルアーと
よばれる
疑似バリ
なんだ・・・


ところが
この なんの
へんてつもねえ
金属片を
水ん中さ
しずめて
ひくと
なんとも
奇妙なうごきを
して 魚たちを
さそっちまうん
だなあ・・・

百聞は
一見にしかず
というから
とにかく
くどい説明は
ぬきにして
やってみるべ
・・・!!

まずは
こうやって
キャスティング
してと…!!
あとは
こうして
リールを
まきながら
手もとさ
ひきよせる
…
カリカリカリ
……
VAN

んだども
ただ まんぜんと
ひいてたって
おもしろく
ねえから
!!
まきかたを
はやくしたり
おそくしたり
…
ときには
ロッド
アクション
で
変化を
くわえたり
してると
…!!
!!
ホラ
きたっ!!
ムッ!!

ウッヒョ〜〜〜ッ!!

ああ
すすごい
……!!
フェ〜〜〜ッ
カリ
カリ
けっこうな
型で
ねえけえ!!

ケッヘッヘ
どうでえ
……!!
こいつが
ニジマスって
やつだ!!

ウ～～～ム
みごとだ!!

いままで
釣りというものを
こんなに
リアルな角度から
ながめたことが
なかったが
じつに
スリルにとんで
思わず興奮して
しまった
……!!

スリルも
興奮も
いいけど
いま おらの
釣ったとこを
見て なんか
感ずることは
ねえのけえ
……!?

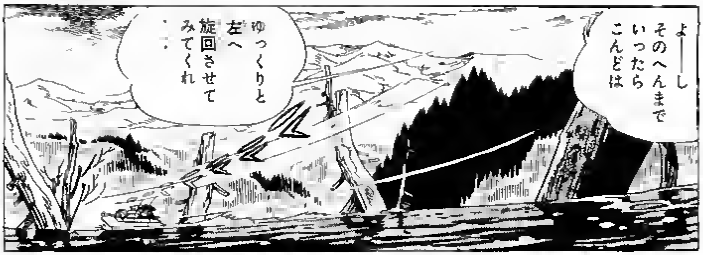
なにかを
感ずる
……?

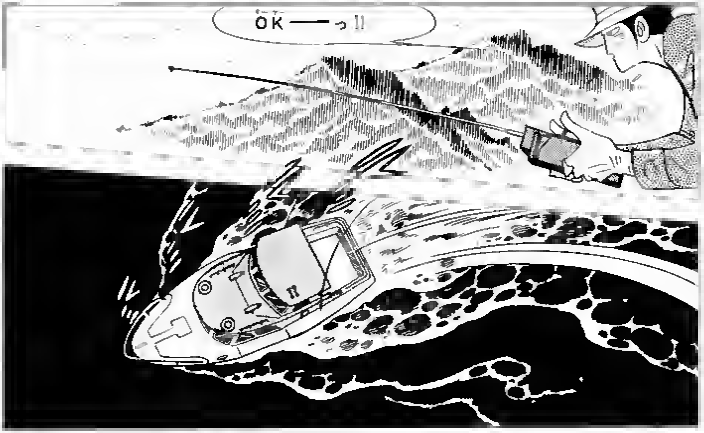
いや……
疑似ルアーちゅうかひらめくちゅうかホラッ!!
ルアーちゅうやつは水ん中をひいて魚を釣るもんたへ
ウッ!!
そ そうか……
そうだよそれだよ!!
そ それってなんだ……
なるほど……
RCボートでこいつをひく……
カ――ッさ…すがメカ政のあにきさっしがはやい!!
RCボートをつかったトローリングだよ!!
RCボートのトローリング……
さっそくためしてみよう!!

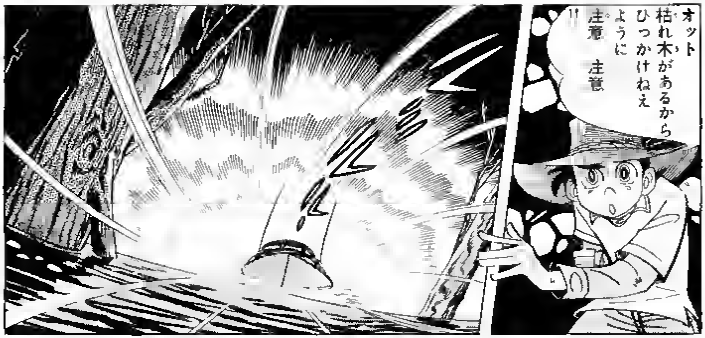
大至急クルーザーF65をこもっていって!!
あはっ!!
にわかじこみだから うめえことわからねえが……
とにかくラインを二メートルぐれえにして直接むすびつけてみただ
さあ これで準備OK!!
あとはメカ政のあにきの腕の見せところってわけだぜ!!

フフフ
ニジマスの
タナ(永屋)を
ルアーが
とおるように
なるへく
スローに
ひくこと
だったな
さすが
のみこみが
はやいぜ
ひょっとしたら
メカ政のあにきは
釣りをやっても
超一流の素質が
あるぞ!!
おいおい
あんまり
おだてるんじゃ
ねえぜ!!
おい
メカ政の
あにき
へんだと
思わない
!?
あんなに
釣りを
目のかたきに
していた人が
夢中になって
やがる・・・
はい
スタ――ト!!
ウムッ!!

あはっ
いいぞ　いいぞ
その調子!!
ほんとにやる気らしいぜあいつら
VAN


よ――し
そのへんまで
いったら
こんどは
ゆっくりと
左へ
旋回させて
みてくれ
・・・


OK――っ!!

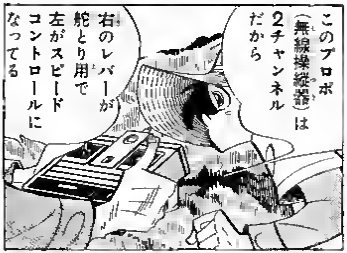

オット
枯れ木があるから
ひっかけねえ
ように
注意 注意
!!

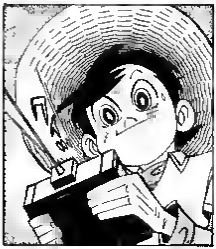
もうちょいスピードをおとせんかなや…
いやこれでギリギリだ
こんなもんかな…!?
そうけえ
ほんじゃあそのままのスピードで蛇行させてみてくれ!!
うんなかなかいいぞ
しかしメカ政のあにきはたしかにボート操縦はうめえとも
ポイントのとりかたがまるっきりなってねえんだよなあ!!
おいおい三平くんおれにポイントのことなんかいったってむりだよ
なにしろ釣りなんてはじめてなんだから…

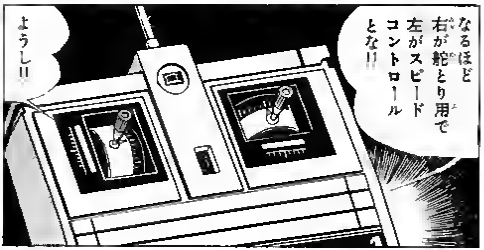
そんただのんきなことをいってる場合でねえべ!!
おらたちはいまR.Cボートでのトローリングというのに挑戦しているんだぞ!!
どれっ!!そいつをかしてみろ!!
なんぼはじめてのおらでもやってやれねえこともねえべ!!

おいおいメカ政のあにきがあのガキにとなられているぜ!!
ほんとだ!!

フフフ三平くんきみは夢中になると一直線という性格のようだな……
ますます気にいったぜ!!

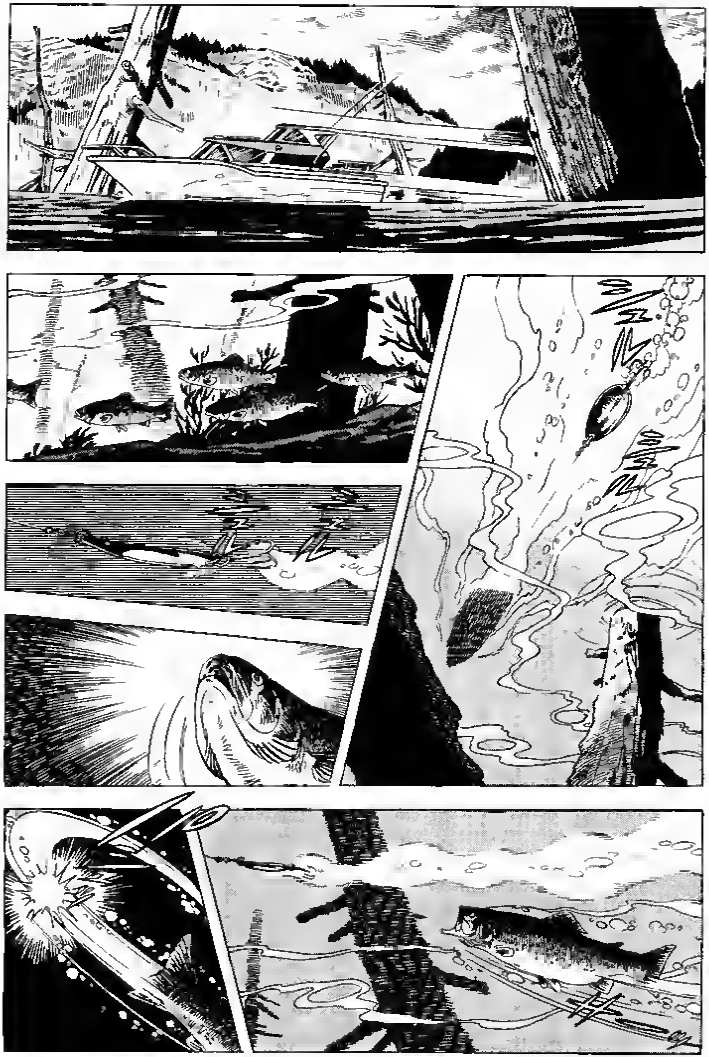

このプロポ(無線操縦装置)は2チャンネルだから
右のレバーが舵とり用で左がスピードコントロールになってる




なるほど右が舵とり用で左がスピードコントロールとな!!
ようし!!

あわっ!?
トトッ
ファ〜〜ッ
やっぱし
機械ってやつは
正直だなや
プロポって
こんだ
しかけに
なってるのか
…!!
ようし
あらかたのことが
わかれは
こっちのもんだ
メカ改のあにき
見てろよ!!
魚ってやつは
どんな魚でも
たいてい
障害物の多い
ポイントさ
ひそんでいるんだ
これは
エサをとったり
外敵から
身をまもるために
そんな場所を
えらんでると
かんがえられる
わけだが…
そこんとこを
計算して
トローリング
するってことが
かんじんなんだ

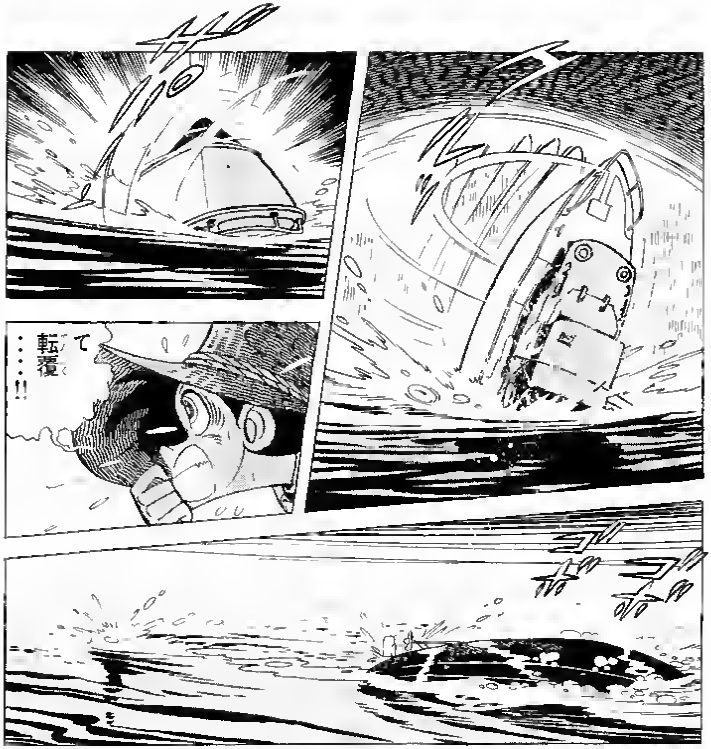
なるほど
おれは きょうまで
釣りというものを
自分の頭の中で
概念的なものと
しか とらえて
こなかったが
たったいまから
考えをあらためる
必要がありそう
だぜ…
それにしても
釣りもさることな
がら なんて
いいカンをしてる
子なんだ
とても
はじめて
プロポを手に
した人間には
見えん…
よほど
すぐれた
運動神経の
持ち主に
ちがいない
さあ
メカ政の
あにき!!
いよいよ
ポイントを
せめるぞ!!
ウムッ
ポ〜〜〜

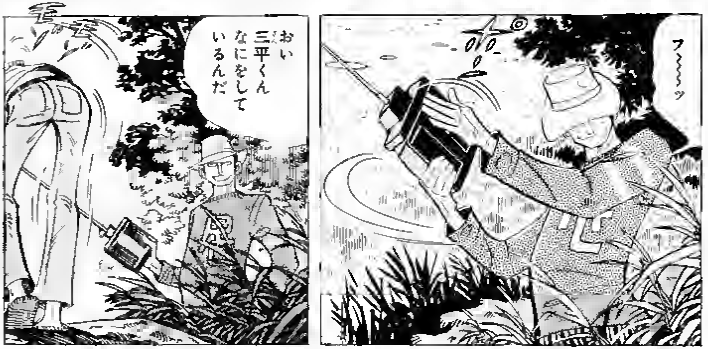


きたっ!!
アワセをくれなきゃあ!!
きたぞ――っ!!
ムッ

ああ
すすごい
ボ ボートが
ひきずられて
いくっ!!

うわ～～～っ
メカ政の
あにき――っ!!
こうなっては
とても おらの
手にゃおえん
たのむ――っ!!
おうっ!!
!! ウッ
ああっ!!


て
転覆
……!!


フ〜〜〜ッ
おい
三平くん
なにをして
いるんだ

なにってとびこんでボートをひきあげにいくだ
はやいとこひきあげねぇとボートがしずんでしまうべ
ああホントだ!!
その心配はないよ……あのボートは木製だから
それにすでにホラなかまたちが回収にむかってるぜ
かかってるかかってる!!
メカ政のあにき!!魚のやつかかったままボートをひきずっているよ――っ!!
ええっ!?
ほほんとうか!!
ホラッ三十センチはあるてっけえニジマスだぜ!!

フア〜〜〜ッ
それにしても
つかれたなや
……
てめえの手足を
つかわねえ釣り
なんて
はじめて
やったけど
それが
くたびれるとは
どういうわけだ
かえって

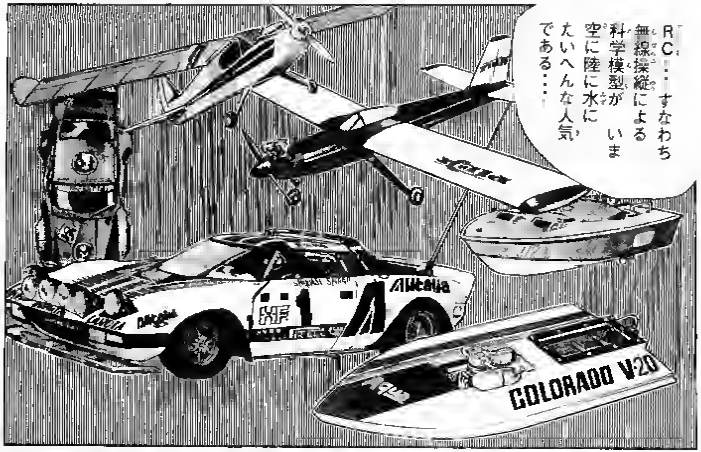
ウッヒャ〜〜〜ッ
やったぜ——っ!!
とうとう
RCボートで
釣りができるって
ことが
証明
されたぜ——っ!!

とにかく
よかった
……
釣れて
ホントに
よかった

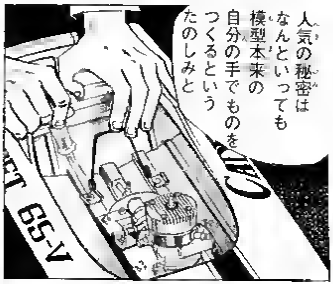
三平くん
いまのは
RCボートが
釣ったんじゃ
なく……
きみの
一直線な
熱意が
釣ったんだ
よ……

しかし
こんどは
RCボート
みずからの力で
釣らして
みせるぜ!!
三十センチの
ニジマスごときに
ひきずり
こまれねえ
新型ボートを
つくってな……

RC（アールシー）フィッシング PART（パート）2



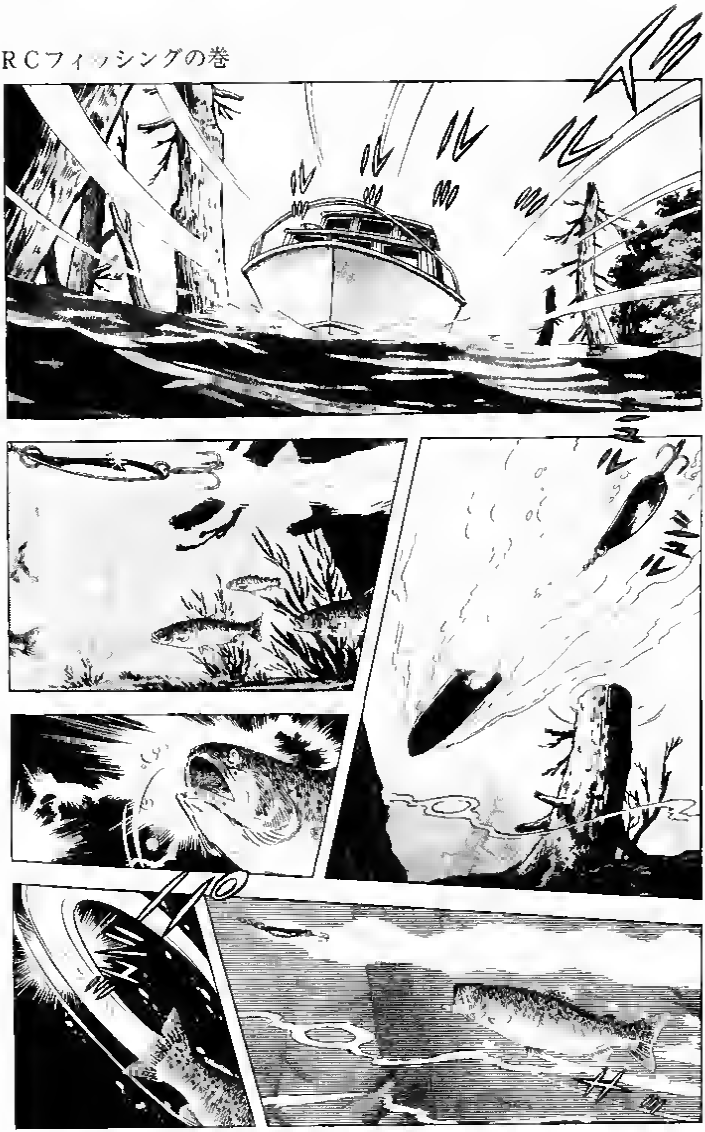
RC…すなわち無線操縦による科学模型が いま空に陸に水にたいへんな人気である…



人気の秘密はなんといっても模型本来の自分の手でものをつくるというたのしみと

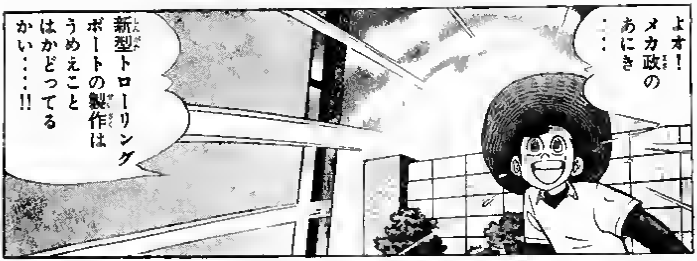
完成品を鑑賞するたのしみ…

そして なによりもそれを操縦する痛快さか マニアの心をとらえてはなさないのであろう…



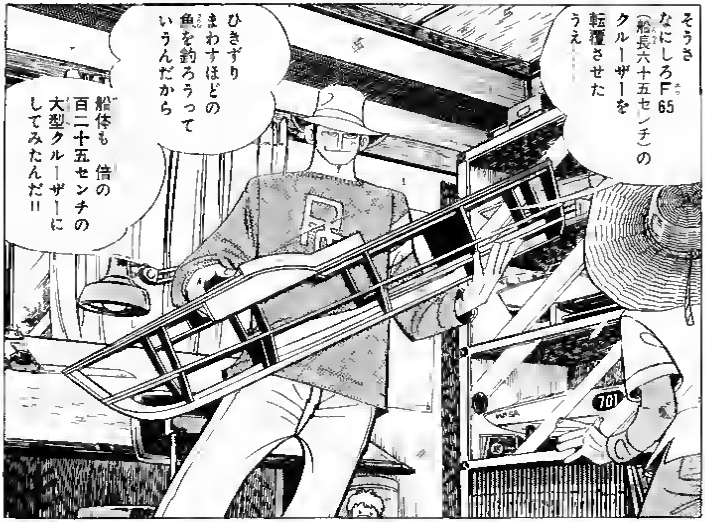
カリカリ
ああっ!!
ゴン
ウ〜〜〜ム……
RCボートによるトローリングか……

よオ！
メカ政の
あにき
……
なにも
スピードを
きそう
レースばかりが
RCボートじゃ
あるめえ……
クソオ
あいつめ
なまいきな
ことを
いいおって
……
それにしても
魚を釣る
RCボートと
なれば……
しかし
考えて
みりゃあ
たしかに
……
スピード狂の
レーサー
ばかりが
RCマニアじゃ
ねえはずだ
……
まず
魚のヒキに
たえられる船体と
馬力が要求
されるだろう
ようし
……
まず船体を
できるだけ
大型の
クルーザーに
して……


よオ！
メカ政のあにき…
新型トローリングボートの製作はうめえことはかどってるかい……!!

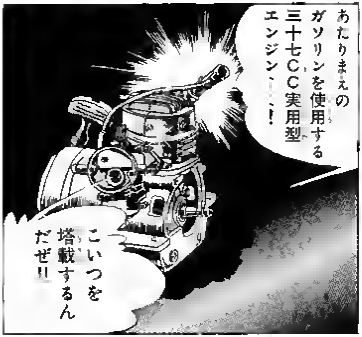
よオ
三平くんかいいところへきた…
まあ はいれ
ちょうど いま
ボディーの
組み立てが
おわった
ところだ

ウヒャ〜〜〜ッ
こ これが 新型
ボートけえ
で
でっけえなや……


そうさ
なにしろF65
(船長六十五センチ)の
クルーザーを
転覆させた
うえ……
ひきずり
まわすほどの
魚を釣ろうって
いうんだから
船体も倍の
百二十五センチの
大型クルーザーに
してみたんだ!!

ひゃ 百二十五
センチ……!?

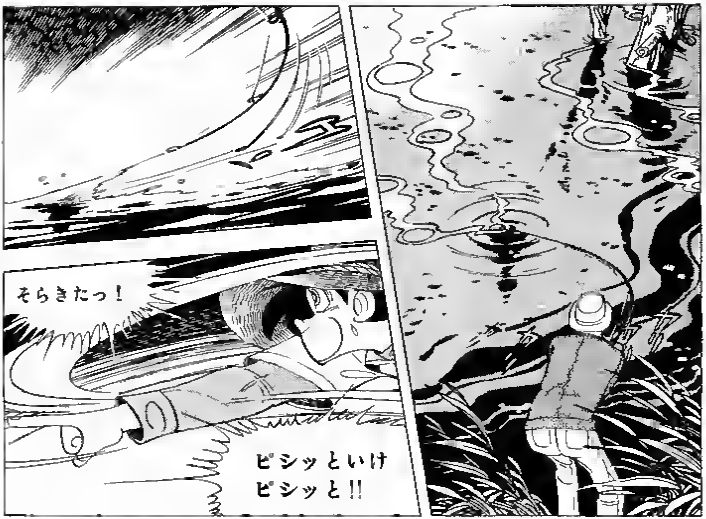
それに
こいつを
見てくれ
こいつは
普通の小型
模型につかう
ヒマシ油を
燃料とする
グローエンジン
ではなく


あたりまえの
ガソリンを使用する
三十七CC実用型
エンジン……!
こいつを
搭載するん
だぜ!!

五十CCのオートバイっていうのがあるども
三十七CCの実用型ガソリンエンジンちゅうたらそれにちかい馬力ということけえ!?
もちろんさ・・・
だがこれだけがんじょうな骨組みに実用エンジンやRCメカを搭載すれば
金備重量も十キログラムはこすだろう・・!!
しかし それだけに船体の重量がもたらす浮力と安定度・・・
そしてエンジン馬力から考えて こいつはかなりの大魚とファイトしてもめったなことでグラつくこともあるまい!!
ウヒャ～～～ッ
メカ政のあにきい!
こいつあびっくらこくほど本格的でねえけえ!!
フフフフ しかたあるまい
きみの一直線な熱意についほだされちまったんだから・・・

カ〜〜〜ッ
な——にいってるだひとのせいにして…
メカ政のあにきだってけっこうたのしんでるてねえけえ!!
そういう三平くんこそこのごろじゃあおれのボートをもちだしていっぱしのRCマニアぶりを発揮してるじゃないか
あ あれは
新型艇が完成したときのための訓練さ…!!

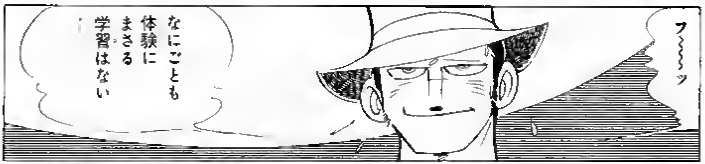
訓練といえばおれのほうもこいつの完成にあたってもうひとおしも訓練のひつようありだな——
魚のうごきやヒキ方のくせなんかもこいつにはかかせないポイントだから…
いっちょういくかその訓練ってやつに…!!
キッヒッヒそうでなくちゃあおもしろくねえ!!


そらきたっ！
ピシッといけ
ピシッと!!

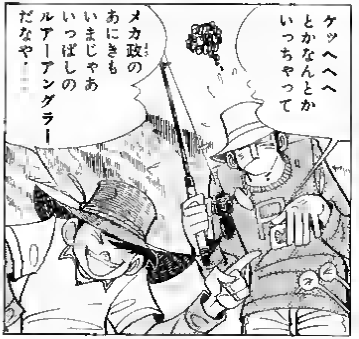
ヒョオッ!!
アハッ
腕をあげたなやメカ政のあにき!!
ング……!!
あうっ!!

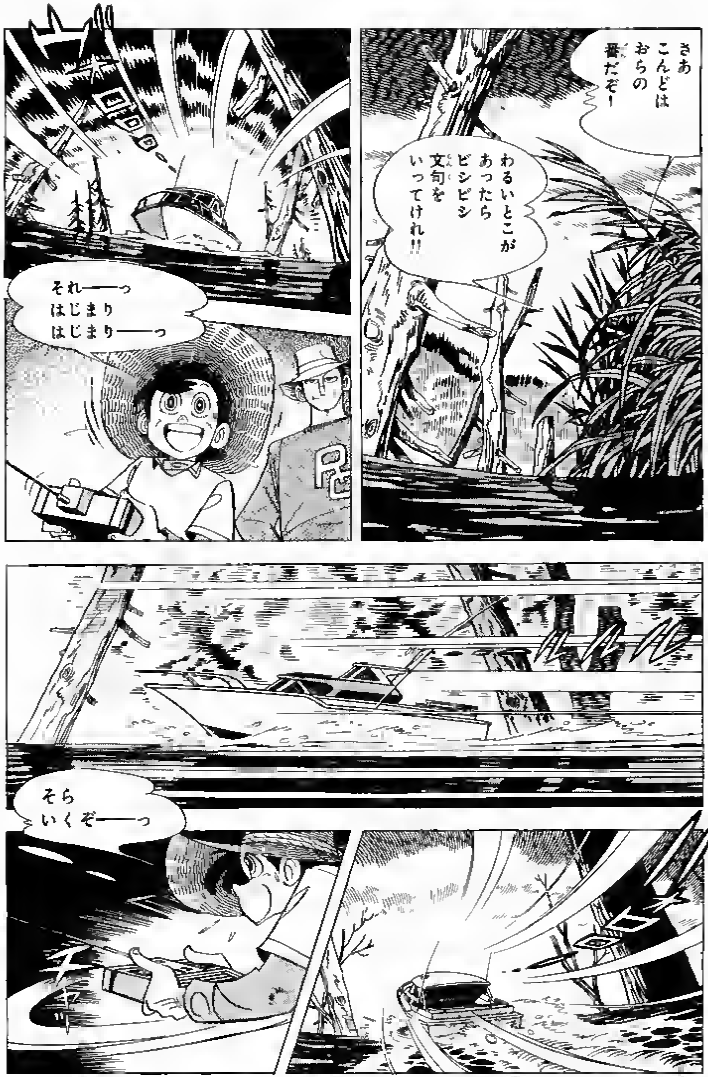
フェ〰〰ッ!!
よ――しよし
そのちょうし
そのちょうし。
けっしてむりするんじゃねえぞ!!

うひゃ〜〜〜っ
けっこうな
型で
ねえけえ!!


フ〜〜〜ッ
なにごとも
体験に
まさる
学習はない

この感触を
そのまま 新型
RCボートに
おぼえ
こませねば


ケッヘヘヘ
とかなんとか
いっちゃって
メカ政の
あにきも
いまじゃあ
いっぱしの
ルアーアングラー
だなや

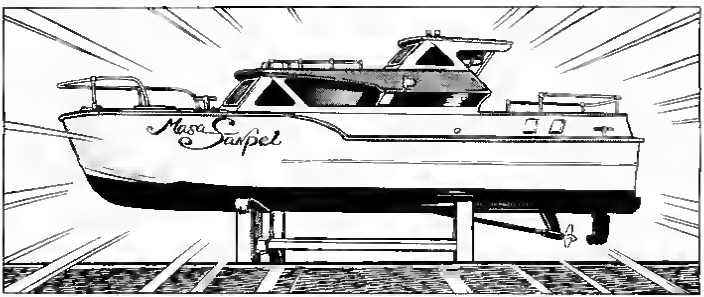

さあ
こんどは
おらの
番だぞ！
わるいとこが
あったら
ビシビシ
文句を
いってけれ!!
それ――っ
はじまり
はじまり――っ
そら
いくぞ――っ

ウムッ!!
ウッヒャ〜〜〜ッ
どどどうでえ
もういっちょういくぞ——っ
K-DOOR
ウ〜〜〜ン
なんと運動神経のすぐれたやつだ三平くんって
わずかのトレーニングで竜のごとくボートをあやつってやがる…

これはおもしろくなってきたぞ……
ムフフ
おれのRC技術と三平くんの豊富な釣り知識をミックスすれば……
こんどの新型艇はかならず成功する!!

そうだっ!! そういう意味からも新型艇の名称は
おれと三平くんの名まえをミックスしてMASA＝SANPEI号と名づけよう!!

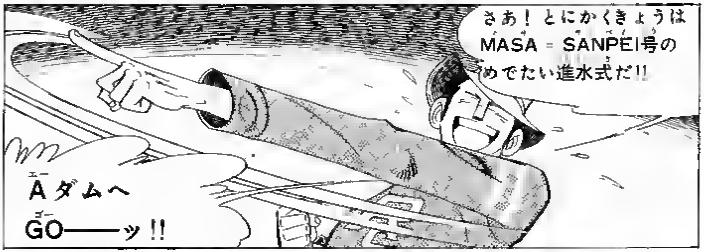
MASA＝SANPEI号……!?

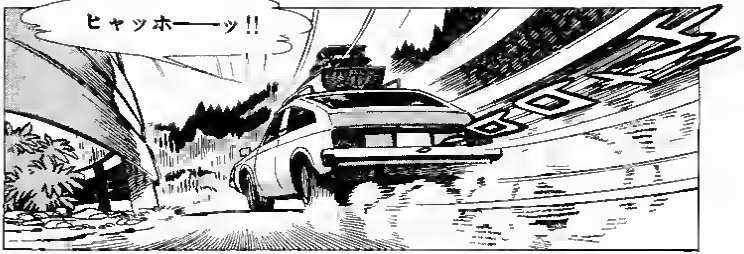

Masa Sanpei

フエ〜〜〜ッ
これじゃあ
子どもひとり
くらいは
のっけられる
ぜ……

す すごい
F125の 大型
クルーザーじゃ
ないか!!
し しかも
実用型ガソリン
エンジンを
搭載してるぜ!!

フフフ……
子ども
ひとりってのは
どうかと思うが
魚だったら
どんなやつが
きたって
OKさ!!


さあ! とにかくきょうは
MASA＝SANPEI号の
うめでたい進水式だ!!
Aダムへ
GO——ッ!!


ヒャッホー——ッ!!

さすが
実用型エンジンを
搭載してるだけ
あって こいつは
おもいぜ!!
エ
エ
よし
準備は
いいな
シャンペンを
ぬくぜ!!
イッ!!

うわ――っ
やった――っ!!
ゴボ
ゴボ
おめでとう!!

フフフフ
....

さあ
メカ政の
あにきい
進水式も
ぶじすんだから
さっそく
試運転と
いくべ!!

フフフ
あいかわらず
気がはやいな
三平くん

それでは
試運転に
うつる
エンジンを
かけろ!!
ハ ハイッ!!

ンッ！
さあ 三平くん おそらく 日本の RCの歴史が はじまって以来 はじめての トローリング 専用艦
MASA＝SANPEI号の スタートだぜ!!
ウムッ!!

あわっ
!!
うごいた
うごいた
!!

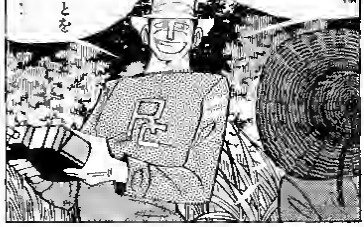
バッキャロー
うごくのは
あったりめえじゃ
ねえかい
だれが設計し
だれがつくったと
思ってやがるん
だい!!

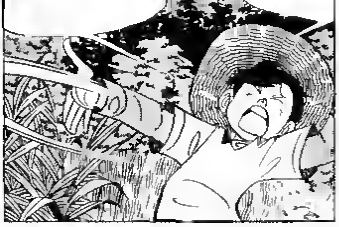
見ろ あの
船首波と
船尾波の
バランスの
よさを……

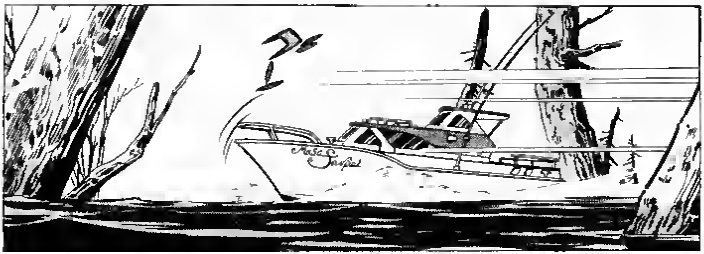
ボートの進行で
左右におしわけられ
下ほうにおしさげられた
船首波と……
その反動として
船尾で もりあがって
できる 船尾波が
ピッタリとまんなかで
きまっているではない
ないか!!

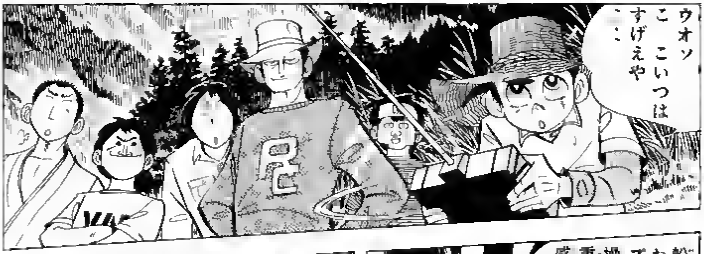
ボートの良し悪しを判断するには まず波を見るんだ
なぜなら 波のぐあいが船体のねじれや片よりを正直におしえてくれるからだ……
な なるほど
まるで 水面にすいついてるみてぇに安定しすべるようにすすんでいく……!!
さすがメカ政のあにきだぜ……!!
まさに芸術品だよあのボートは……

フフフフ まあ…てめえていうのもなんだが
設計段階の意図と寸分のくるいもねえ 会心作といえよう……


いや これは失敬…つい自分の作品に見とれて……
大同製作者である三平くんのことをすっかりわすれてた……

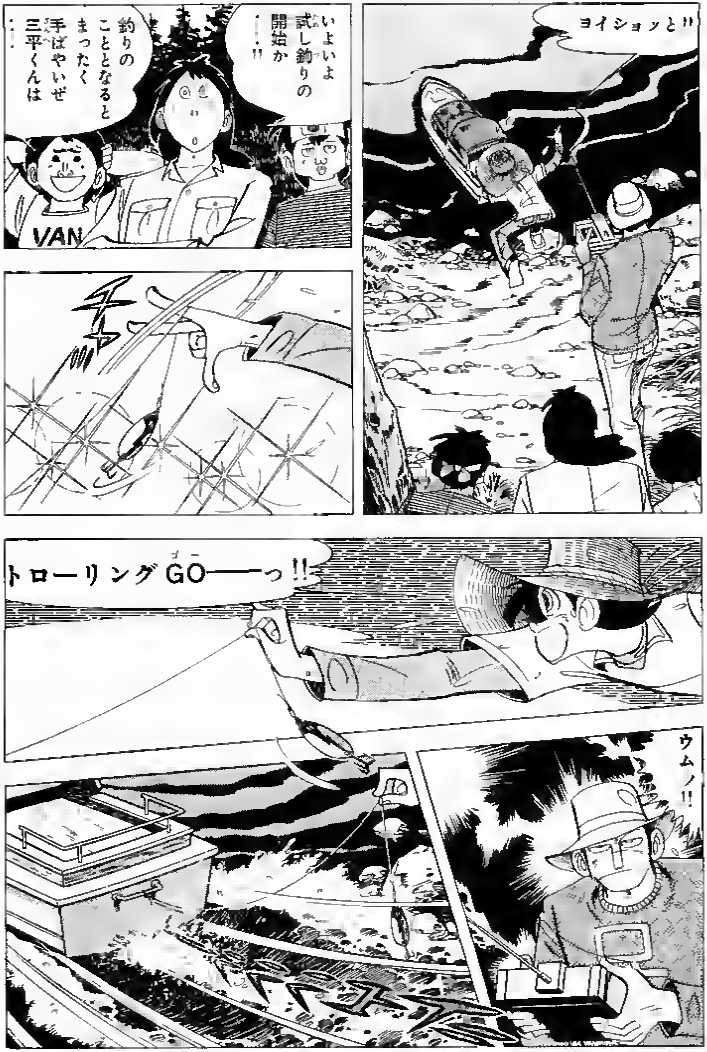

カ〜〜〜ッ メカ政のあにきい〜〜〜
あんまし得意がってねえではやいとこおらにもやらせろ!!

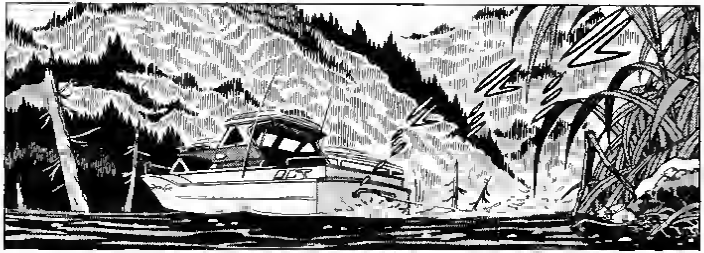



ウオソ
こ こいつは
すげえや
・・・

船体がてかく
おもいだけに
プロポを
操縦する指にまで
重量感を
感ずる・・・

メカ政の
あにき
いよいよ
いくか!!
ウム
いいだろう


ヨイショッと!!
いよいよ
試し釣りの
開始か
……!!
釣りの
ことなると
まったく
手ばやいぜ
三平くんは
……
VAN
トローリング GO(ゴー)――っ!!
ウムノ!!

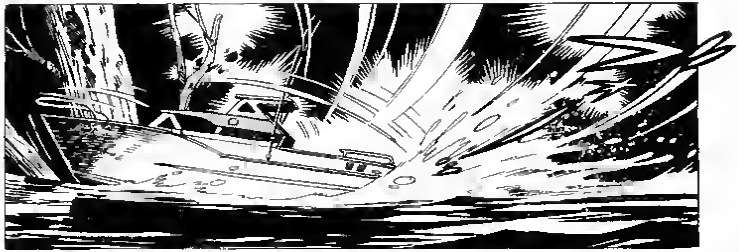


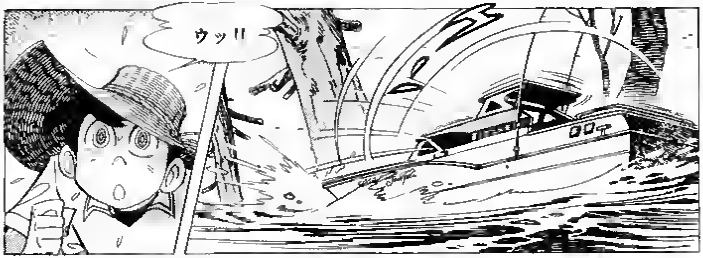
よーし
いいぞ
そのちょうし
そのちょうし
スピードも
ルアーを
ひくのに
ドンピシャ
だ!!

そりゃあ
そうさ
なにしろ
三平くんには
徹底的に
ルアー釣りを
しこまれた
からな

百聞は
一見に
しかず
一見は
一行に
しかずさ
ハハハハハ
その体験から
得たものを
すべてボートに
たたきこんで
設計したんだぜ

きたっ!!
オッ!!
メカ政のあにき
なにをボケ――ッと
してるだ!!
は　はやく
あわせを――っ!!
ングッ!!




ウッ!!

あ〜〜〜ん!?
さ 三平くん いったい どうなったんだ ボートが急に かるくなった ぞ…!?
VAN
フフフ ラインが きれたんだ よ…
クイッ

ホラ
よりもどしの
むすびめから
プツツリ
やっぱし
おらの思った
とおりに
なっちまった
なや…

思った
とおりって
おれが
あわてて
エンジンを
ふかしすぎたっ
てことか
…!?

うん…それも
ねえわけでは
ねえが…
魚がルアーに
食らいついて
反転したときに
瞬間的にラインに
かかるショックは
したたま てかい
ものなんだ
ましてやラインを
船尾のU字金具に
直接もすびつけて
いるだけに そのショックは さらに
大きいから イト
きれ しないまでも
バレる可能性は
大きいわけさ

なるほど
そうか…
せっかく
ここまで
きたのに
うまいこと
いかないもの
だなあ…

メカ政のあにき
そんなに ガッカリ
することは
ねえさ!!
こんなことも
あろうと思って
ちゃ——んと手は
うってきてるせ

ホラッ
こいつだよ!!
おお 小型の
ロッドじゃ
ねえか…!?

そうさ ゆんべひと晩かかってつくりあげた超ミニロッドだが…

穂先きの弾力がイトにかかる瞬間的なショックをやわらげてくれるはずだ…

なるほどそいつをボートにセットしてトローリングしようってわけか!!

そういうこと…しかしルアーのしずみやボートのバランスのことなどを考えて ちょいと工夫してみた…

U字金具に センタクバサミをとりつけ ラインをとおした輪ゴムをはさみこむ こうすれば ルアーのしずみもよく 魚がかかったときは輪ゴムがきれるしかけになっている

リールは 一定以上の力がくわわったとき スプールが空転して ラインが出ていくようにトラッグを調整する

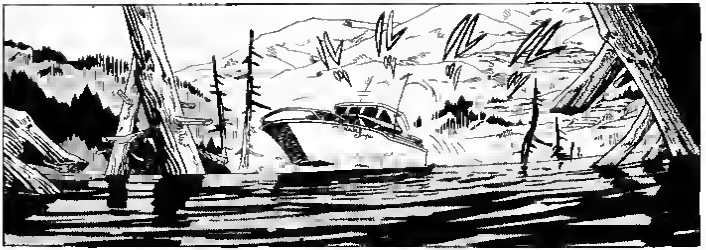
ルアー

さあこんどはおらがやってみるそっ!!

ウッヒャ～～～ッ
どうでえ
やっぱし
釣りという
いじょうは
ロッドがねえと
さまにならねえ
なや……!!
やるなあ
三平くん
は……
さすが
メカ政のあにき
じきじきの
特訓をうけた
だけあって
なかなかの
操縦ぶりだぜ

ウムまったくだ
これだけ
しっかりと
ラジオを
コントロール
できれば
のこるは
三平くんの
もっとも得意な
釣りのジャンル
ということに
なる……

ムッ
ポイントに
はいるぞ!!



ウッ!!
きたっ!!
ああっ!!

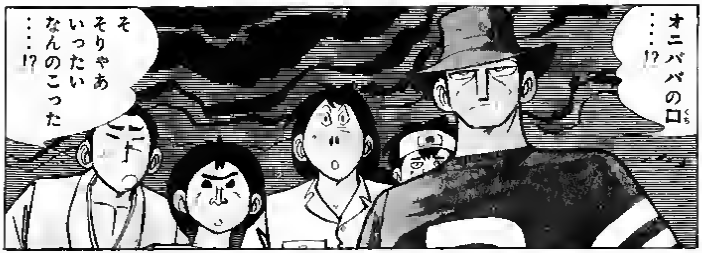
ヒョオ――ン!!

ウッヒョ～～～ッ!!
こ
こいつは
すげえや
無線操縦
してるちゅうに
まるでてめえが
ロッドをにぎってる
みてえな
迫力
だ～～～っ!!
ヒョオッ!!

ニュ
フフフ‥‥
おおっ
さ 魚を
ひきずって
もどって
くるぜ!!
フッヒョ〜〜〜ッ!!
メカ政の
あにき
プロポを
たのむぜ!!

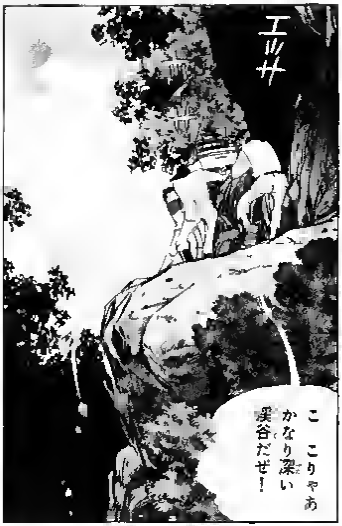
やったぜ 三平くん!!
VAN
ソリャ〜〜ッ!!
おめでとう 大成功じゃないか!!
へへへ…!!
まだまだ工夫しなきゃあならねえとこもあるが…
これでどうやらオニババの口さアタックするメドがついたせ……
なんだそりゃあ……
オニババの口……!?
VAN

RCフィッシング PART3


オニババの口…!?
そりゃあいったいなんのこった…!?

フフフフ…
ことばで説明するより実物を見たほうがはやいだ…

さあここからはあるいて谷底へおりるぞ!!


エッサ
こりゃあかなり深い渓谷だぜ！

おい岩角に気をつけろ
てめえらなんかケガしたってどうってこともねえがボートをぶつけんように注意しろ!!

それはないスよメカ政のあにき…

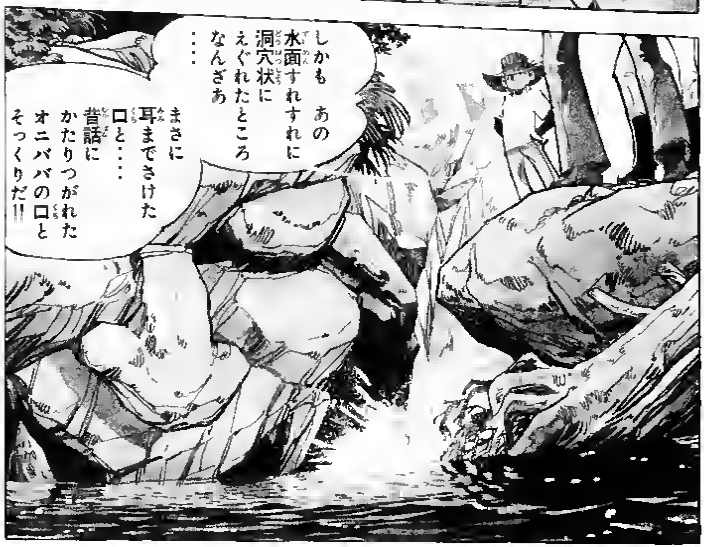
さあついたぜ!!

ウッ!!
ああ……

まずはじっくりと見てけれ……

ここが　大岩魚の
宝庫であり　おらたち
釣りキチにとっちゃあ
難攻不落の釣り場
オニババの口
だ……

ああっ
な なんと
いう
ことだ!!
い 岩が
まるで
オニババの
顔に
見える!!


しかも あの
水面すれすれに
洞穴状に
えぐれたところ
なんざあ
……
まさに
耳までさけた
口と……
昔話に
かたりつがれた
オニババの口と
そっくりだ!!

ケッヘヘヘ
どうやら
みんな
納得したって
感じだなや

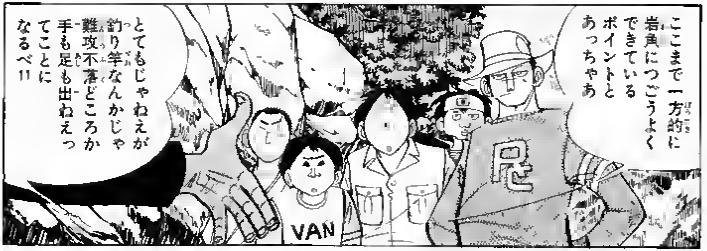
ウム まったく
ひとことの
説明なくしても
納得……
とても
自然のなせる
技とは思えねえ
奇岩だ……

しかし あのオニババの口が……
釣りキチにとって難攻不落の釣り場だというのは いったいどういうことかね……
ケッヘヘ 問題はそこさ……
おらがわざわざみなさんにこんただおもいRCボートをもってもらい
こんただ山奥にまできてもらった ちゅうのは そこに問題があるのさ
Masa Sanpei
いいけえあの オニババの口ってやつは二十メートルくれえの 深い江古になっていて……
その奥底が大岩魚の巣になっているんだ

だいたい岩魚ってやつは冷水をこのむ習性があるためこんただ山んなかの渓流さすんでるわけだが
同時に直射日光をきらう習性もあって昼でも暗い岩かげがもっぱらやつらのかくれ家になってる

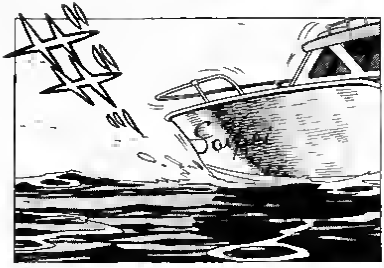
おまけにこのポイントは上手さ高があり落差を中心に流水のおだやかなトロ場になっているので

上流からおちこんだエサがゆっくりと水面をただよいながら
オニバスの口の奥のほうさながれこんでいくためやつらはエサをあさるために外さ出るひつようがねえときてる、、11


ここまで一方的に岩魚につごうよくできているポイントとあっちゃあ
とてもじゃねえが釣り竿なんかじゃ難攻不落どころか手も足も出ねえってことになるべ11
VAN

わかったぜ 三平くん!
つまり その 難攻不落の ポイント オニババの口に RCボートを ぶちこんで みようって ことだろっ!!
カ〜〜ツ さーすが メカ政のうにきだ さっしがいいぜ !!
ようするに 釣り人が かんたんに せめられるよう なポイント だったら
なにも むりして RCボート なんか つかう ひつようも あるめえが
こういう ポイントだからこそ RCボートの 真価が 発揮される しかけだし
釣りにおける RCボートの 利用法としては 典型的な 例ってわけだ!!

おもしれえ……!!
さすが三平くんだ目のつけどころがちがう

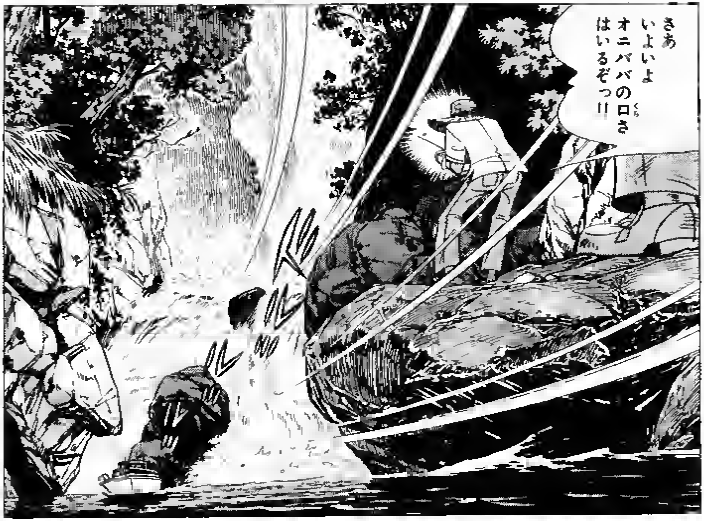


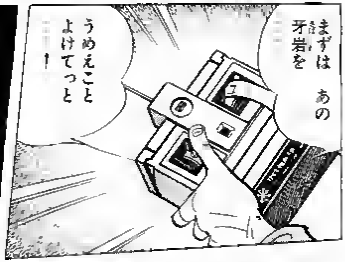
ようし そうときまったらさっそくはじめよう
こいつぁおもしれえことになってきたぞォ!!

ケッヘノヘほんじゃあまずは
小手しらへとしてしかけなしてさぐってみるべ

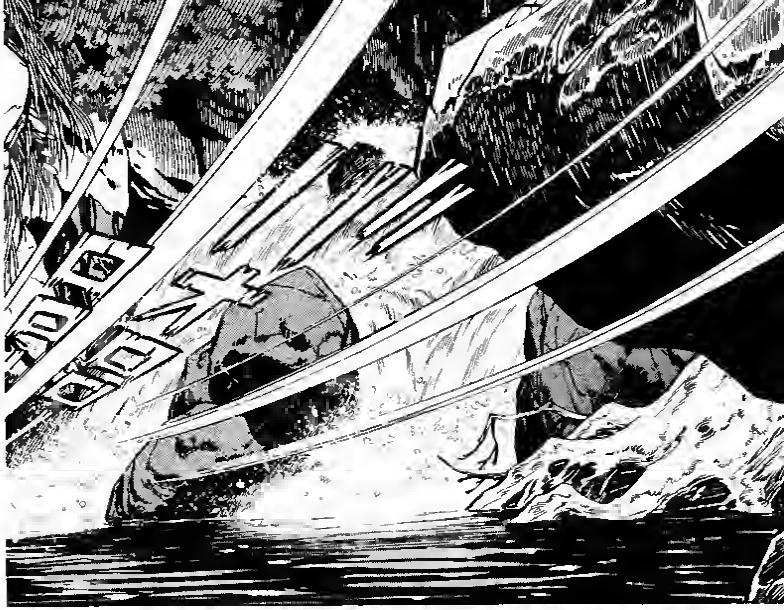
よ――し!!
エンジン スタート!!

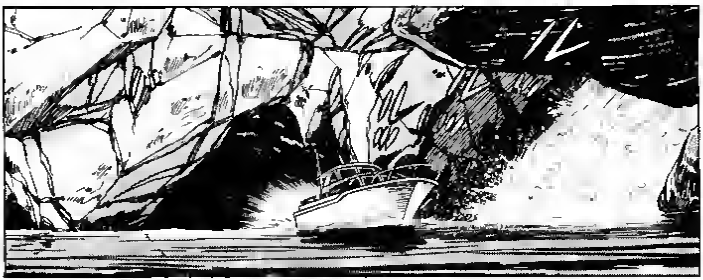
ヒョオッ！
ロロロ
ロロロ
ああ…
ウムッ!!

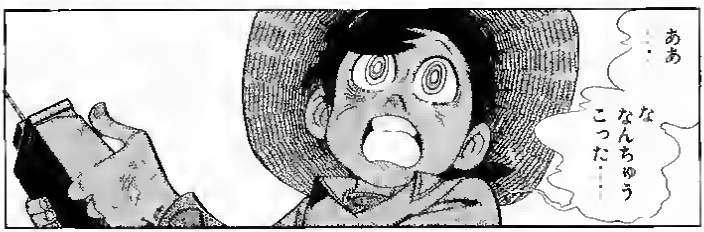

さあ
いよいよ
オニババの口さ
はいるぞっ!!


まずは
あの
牙岩を
うめえこと
よけてっと
!

ウッ!!
あ〜〜〜ん!?


ゴゴゴゴ

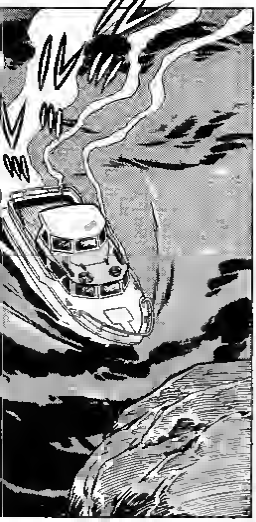

ルルル


ああ…
な
なんちゅうこった…

ウ〜〜〜ン
三平くんのせっかくのアイデアだったが
どうやらだめのようだな

ホントだふだんでもでかいエンジン音が
口のなかにはいると反響してまるでほら穴が爆発してるみたいだ‥

あれじゃあ釣りどころか魚のやつがびっくりして
気絶しているんじゃねえのか!?



ファ〜〜〜ッ
まいったなや……
まさかこんだことになるなんて考えてもみなかったなや……
まいった
まいった……!!
どうやら心ばっかしが先走ったって感じだなやケソへへへ
三平くんやっぱしだめか!?
せっかくだからしかけをつけていっぺんためしてみたら……!?
フフフ……
ためすまでもねえさ……
岩魚ってやつは貪欲な魚だが反面なかなか警戒心の強い魚で
ちょっとでもものの音をたてようものなら サッと姿をくらましてなかなか出てこねえ魚なんだ……
ようするにこの作戦はRCボートのエンジン音ってやつを計算にいれてなかったわけで……
おらの大失敗の巻ってとこだ

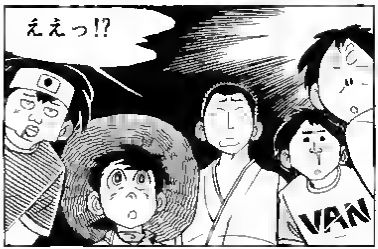
なるほど
音か……
たしかに
いままでの
湖のトローリングは
音が出ても
ルアーを後方に
はなしてひけば
たいした問題に
ならなかった
が
こんどの
ばあいは
モロに……
いや むしろ
反響によって
音が増幅
されている
……

しかし
三平くん
せっかく
ここまで
きて……

いやあ
みなさんには
ほんとに
すまねえ
ことをしたと
思ってるだ

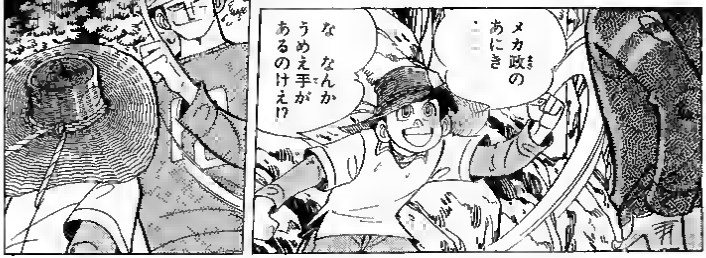
おらの考えが
あまかった
ばっかしに
こんだ
おもいボートを
こんだ山んなかまで
はこんでもらったり
して……

フフフフ……
そんなに
かんたんに
あきらめる
なんて
三平くん
らしくも
ないぜ……!!


ええっ!?
VAN

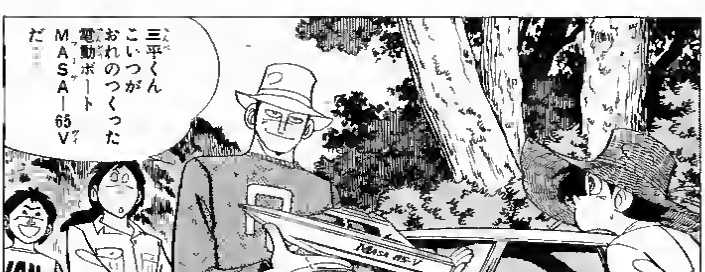
ようするに……
音が問題なんだろう……

おおい見ろメカ政のあにきのあの目を……
おお そういえばあの目はなにかとっぴょうしもないアイデアがひらめいたときの目だぜ!!
フフフ三平くん RCボートの動力源は なにもガソリンエンジンとは かぎっちゃいねえぜ!!


メカ政のあにき……
な なんかうめえ手があるのけえ!?

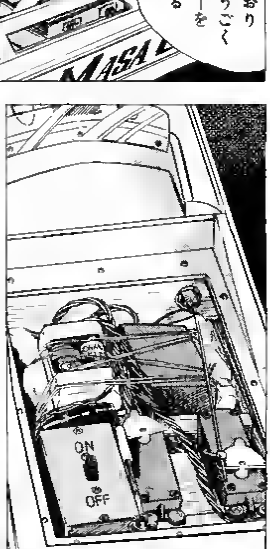
カ～～～ッ メカ政のあにき
あんまし もったいぶらねえで おしえてくれよォ!!
フフフ……
電動モーターさ……!!

電動モーター・・・!?
なるほど
その手が
あったな
電動モーターなら
音はほとんど
しない
さあ!
そうと
きまったら
さっそく
実行だ!!
とにかく
クルマまで
もどろう!!


三平くん
こいつが
おれのつくった
電動ボート
MASA-65V
だ…
MASA 65 V

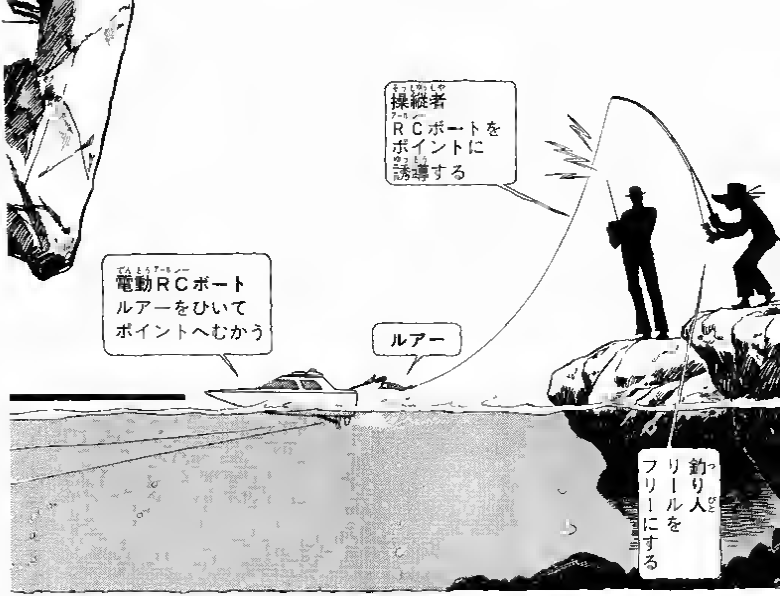
ごらんのとおり
単一電池でうごく
電動モーターを
搭載している
ので…
モーターの
うなり以外は
ほとんど音が
出ない！
なるほど
MASA

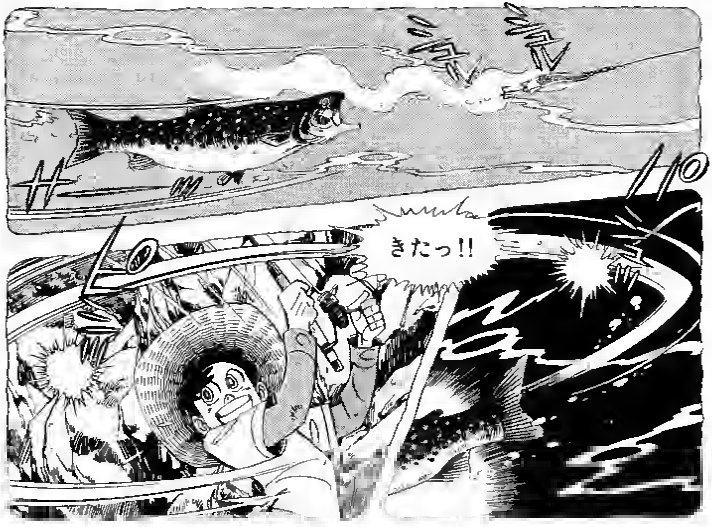
だが残念な
ことに 動力源が
乾電池だけに
馬力の点では
とても
ガソリンエンジン
とは くらべ
ものにならん…


ON
OFF

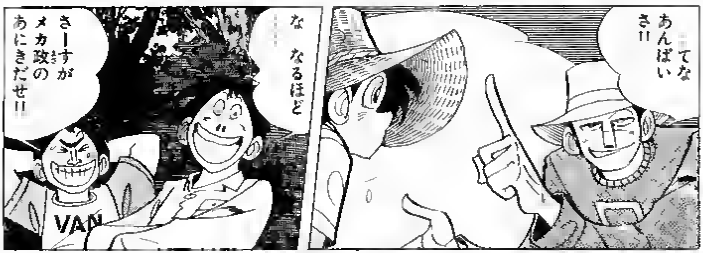
したがって
船体もこのように
小型にせざるを
えないし、
トローリングや
魚とのファイトには
たえられる
ものではない…
MASA 65 V

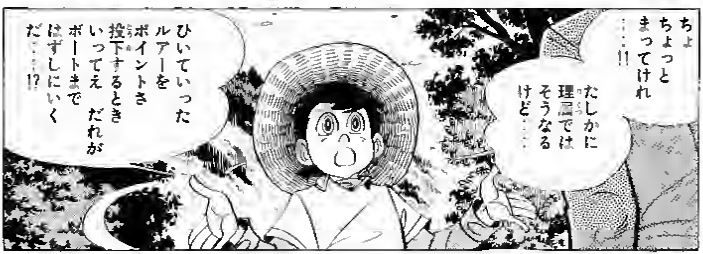
ほんじゃあ釣りには利用できねえじゃねえけえ!?
まてよ三平くん こう見えてもおれだって きみの指導よろしきをえて
すこしは釣りのことがわかるようになってるんだ
つまりこのボートはトローリングやファイトはできなくとも
MASTER
ルアーをつんでポイントまではこぶことはできるんだぜ
ルアーをつんでポイントへはこぶ…
なんのこっちゃあそりゃあ
まずロッドをもつ釣り人とプロポをもつ人の二人がいて
釣り人のルアーをRCボートにのせる
うんもっとわかりやすく説明しよう

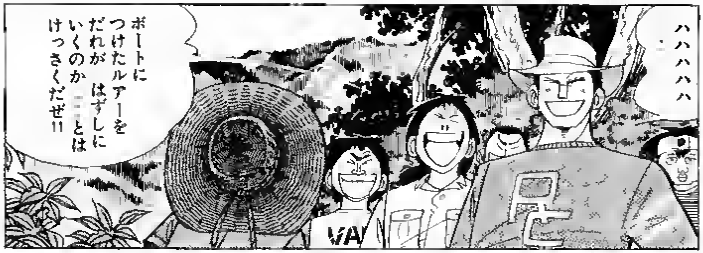

操縦者
RCボートを
ポイントに
誘導する
電動RCボート
ルアーをひいて
ポイントへむかう
ルアー
釣り人
リールを
フリーにする


きたっ!!

メカ政の考えたオニババの口攻略法

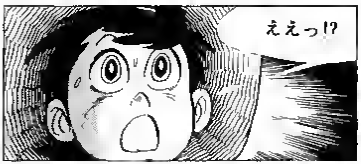


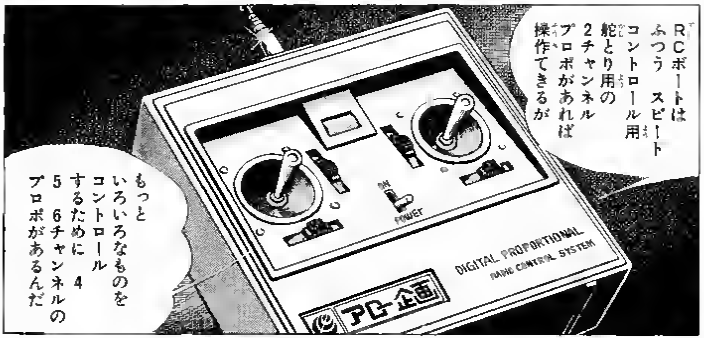



ハハハハハ
ボートにつけたルアーをだれがはずしにいくのかきまりとはけっさくだぜ!!

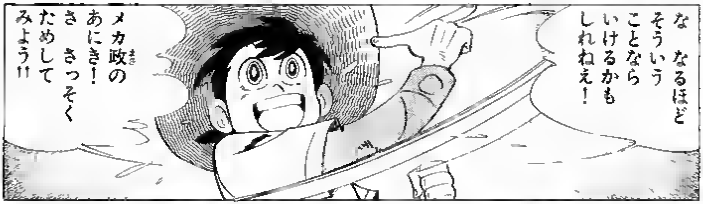
だ だって そうじゃねえけえ!?
ラインを ひきずりながら ルアーを はこぶいじょうは そうとうしっかりボートに くくりつけなけりゃあ なるめえし…
そうすりゃあ ちょっとや そっとでは はずすことが できねえへ!!

その心配は ねえ
すべて こいつが やって くれる

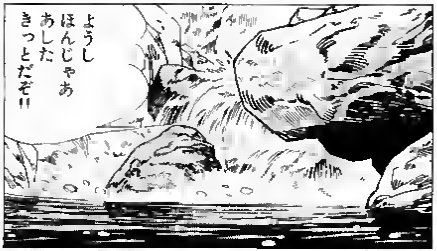

ええっ!?

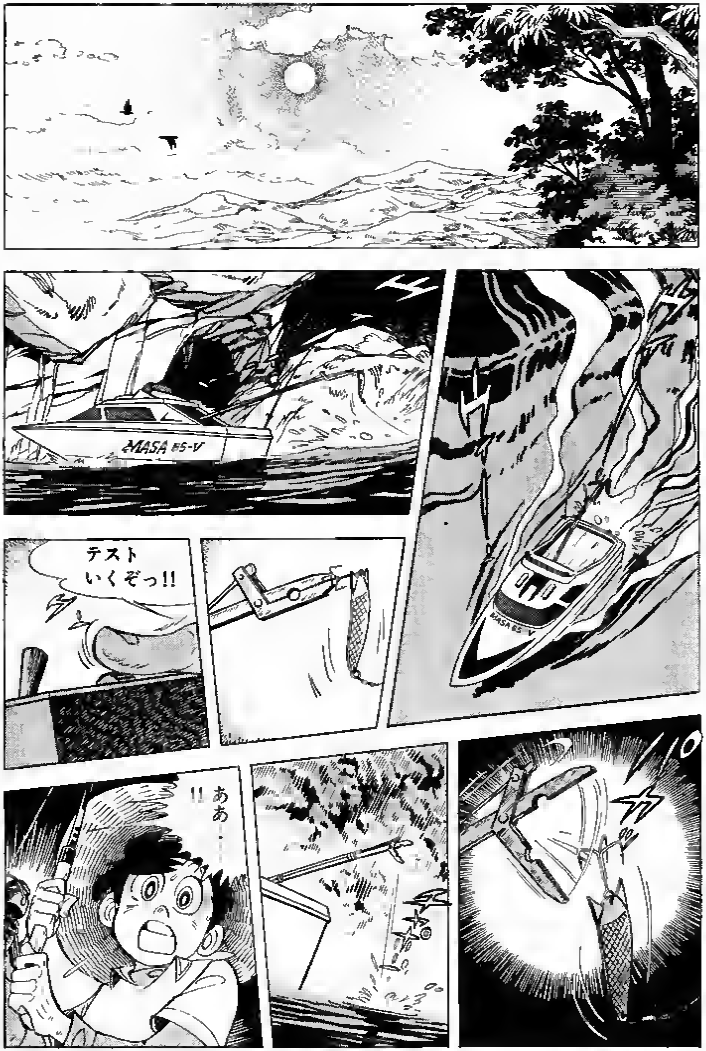

RCボートは ふつう スピード コントロール用 舵とり用の 2チャンネル プロポがあれば 操作できるが
もっと いろいろなものを コントロール するために 4 5 6チャンネルの プロポがあるんだ
ON
POWER
DIGITAL PROPORTIONAL
MARK CONTROL SYSTEM
アピー企画

つまり この
チャンネル数の
多いプロポを
つかい
ポイントまで
はこんだルアーを
遠隔操作では
かんたんな
クリップ装置を
ボートに
とりつければ
OKというわけさ


な なるほど
そういう
ことなら
いけるかも
しれねえ!
メカ政の
あにき!
さ さっそく
ためして
みよう!!

お おい
そんなむちゃを
いうなよ
こいつの
メカ位置を
多少組みかえて
クリップ装置を
とりつけなきゃあ
ならんから
今夜一晩たけ
時間をくれ
…!!


ようし
ほんじゃあ
あした
きっとだぞ!!


MASA 85-V
テスト
いくぞっ!!
あぁ…!!

どうだね
三平くん……!!
これが昨夜一晩かかって考案したルアー運搬用のクリップ装置だ……

す すげえ
ま まさかこれほどあざやかなものができるとは思ってもみなかっただ……

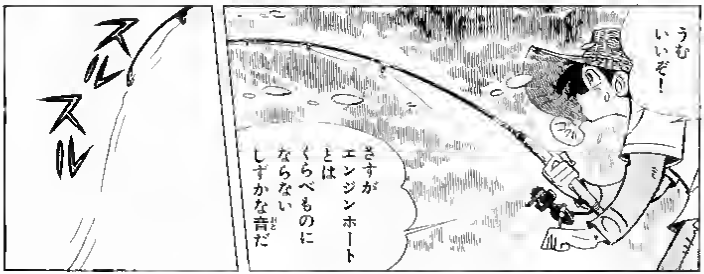
まったくだ!!たかがつまんだものをはなすだけの装置と思うかもしれんが
RCでやるとなるとちょっとやそっとでは考えつかんせ

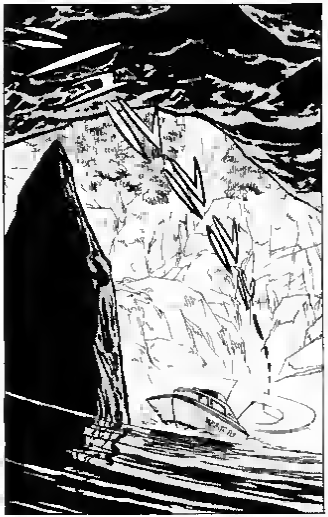
それをいともかんたんにやってのけるメカ政のあにきの創造力には……
いつものことながらまいっちゃう

ギノヒッとみようなおせしをたれるんじゃねえやい!!
しかし正直いってホノとしたぜ……

それしゃあ三平くんぼちぼち実戦といくか!!

おうっ!!
スター―ト!!
MASA ES V
MASA ES V


うむ
いいぞ!
さすが
エンジンボート
とは
くらべものに
ならない
しずかな音だ
スルスル

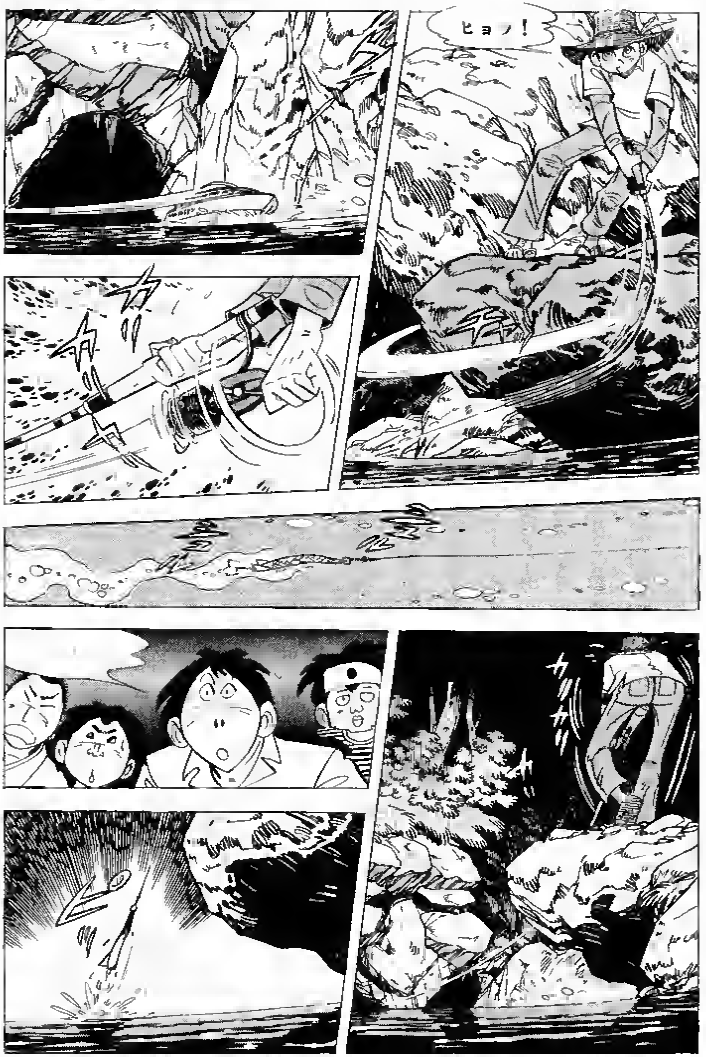


さあ いよいよオニバスの口にはいるぞ！
ポイントについたら「ルアーダウン」の合図をたのむぜ!!

フフ!!

わ わかってる…

MASA 65
よし そこだっ
ルアー ダウン!!
ムッ!!
!


ヒョッ！

だ 大成功だよ メカ政の あにき……!!
これなら オニババの口 攻略が 九十九パーセント 成功したも おなじだ
あとは 大岩魚が かかるのを まつだけ!!
フ〜〜〜ン
三平くんに そういって もらえると おれも 最高に うれしいぜ!!
RCボートが 釣りという ジャンルに……
こんなかたちで むすばれるなんて きみと会うまでは 考えても みなかった……
な〜に いってる だ メカ政の あにきらしくも ねえ
やけに しんみり なんか しやがって よォ……!!
さあ!! そんなこと より……
いよいよ 本番と いくぜっ!!
ウムッ!!

ルアー ダウン!!
ウムッ!!

きたっ!!

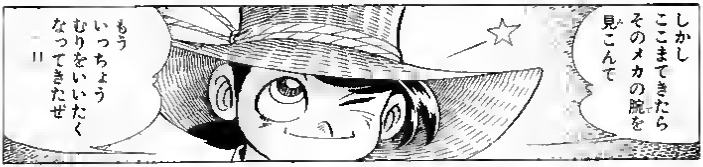
ああっ!!
R

ウッヒョ〜〜ッ!!
ングッ!!
やった!!
さすが三平(さんぺい)くんみごとな腕(うで)だ!!

おめでとう
三平くん
とうとう
難攻不落の
ポイント
オニババの口を
せめおとしたって
わけだ…

で でかい
三十センチは
かるく
こしてる!
さすが 大岩魚の
巣といわれる
だけのことは
あるわい!!
VAN

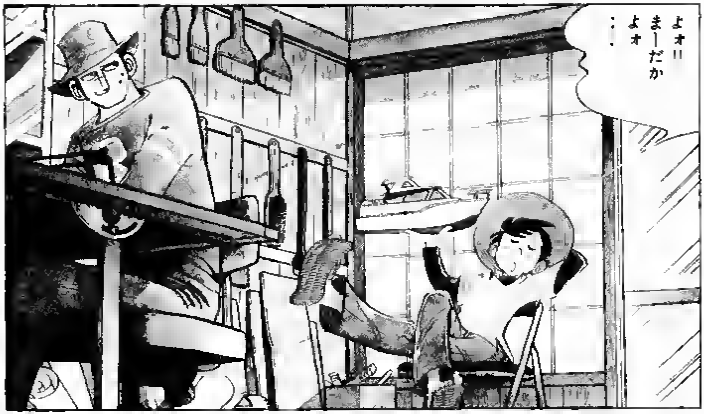
ありがとう
これもみんな
メカ政の
あにきの
おかげさ


しかし
ここまできたら
そのメカの腕を
見こんで
もう
いっちょう
むりをいいたく
なってきたぜ
…!!

な なんだって
…!?
電動モーターを
搭載した
トローリング用
RCボートを
つくれだって
…!?

フフフ
そうさ
メカ政ほどの
メカ技術が
あったら
つくれねえわけは
あるめえ!!

RCフィッシング 完結編


よォ!!
まーだかよォ…

たしかに 特殊電動クリップ装置でしかけをはこぶちゅう方法で…
難攻不落のオニババの口を攻略はできたが
どうもおらの気分は靴をはいたうえからかゆい足をかいたみてえで スッキリしねえだ

フフフ 当初の目的どおりの
RCトローリングボートのみによるオニババの口攻略をはたしたいっていうわけだろう

そういうこと!
んだから一分一秒でもはやく電動モーターをのっけた 完全なトローリング RCボートってやつを完成してほしいんだ…!!

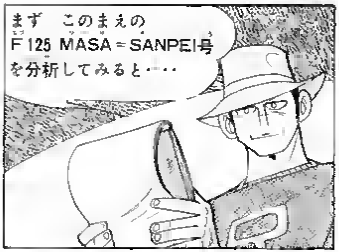
フフフフ
まいったなあ
三平くんには
……
一分一秒も
はやくだなんて
まったく
ムチャなこと
いうんだから
……
な――に
いってるだ
メカ政の
異名をとる
あにきの頭脳と
技術なら できねえ
はずはねえと
おらは にらんだんだぜ!!
ヘビににらまれた
カエルだと
あきらめて
さっさと
やった
やった!!
ガハハハハ
ヘビに
にらまれた
カエルか……
しかしだな……ひと口に
電動モーター搭載の
完全トローリング
ＲＣボートといっても
そんなにかんたんに
いくものじゃない……
ます このまえに
成功した 三十七ＣＣ
実用型ガソリン
エンジン艇の
いろいろな点を
分析し……
その結果を
ふまえて 設計に
はいらねばならない
たしかに
三平くんに
かかっちゃあ
そんな
気分だぜ!!

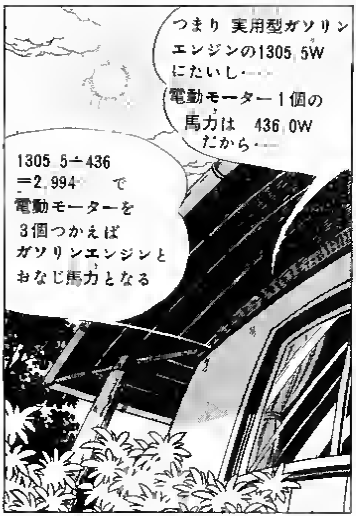
F125 Masa-Sanpei号

寸法＝(船長)1,250㎜又(船巾)460㎜

全備重量　14kg

使用エンジン　37㏄実用型ガソリンエンジン
重量 460g
rpm（1分間の回転数）約7000回
馬力　1.75HP

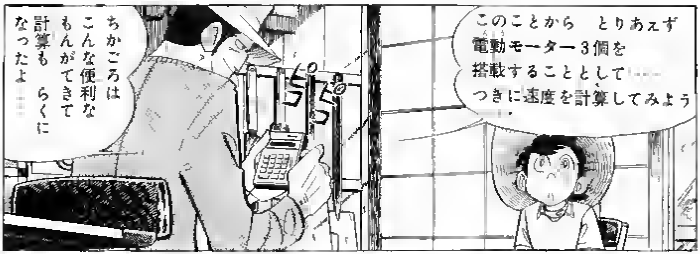




RS-85電動モーター
重量　275g
T＝3109/cm
T＝トルク(回転力)
hpm＝13,700回転
上記数値よりW数を算出すると

$$L = \frac{2\pi \times 13{,}700 \times 310}{102.0 \times 60} \times 10^{-4}$$

$$= 436.0\,W$$



M社 RS-85電動モーターの場合

436W×3個 /1000 = 1.308 kW

1.308 × 102.0 / 14 = 9.53 km/h

37CC実用型ガソリンエンジンの場合

1305kW = 1.305 kW

kWをkg-m/s（速度）になおすと

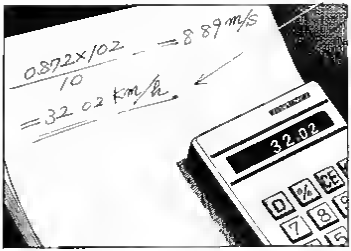
1305.5 × 102.0 = 133.161 kg-m/s

これをホートの重量14kgでわると

133.161 ÷ 14 = 9.6 m/s（秒速）

9.5m/sを時速に換算する

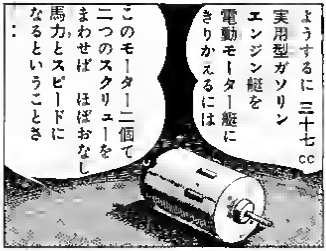
時速 34.3 km/h ←（ほぼ同じ）→ 時速 34.24 km/h

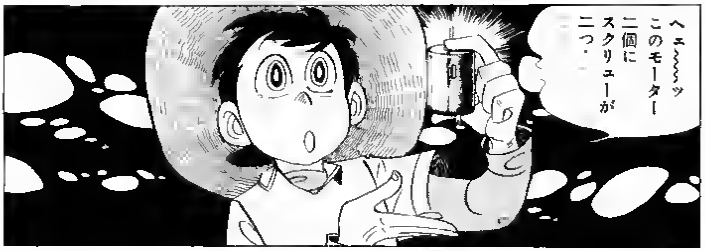


ファ～～～ッ
まいったなや…
おらあ
RCボートって
もっとかんたんに
できるもんと
思ってたけど
こんただ
こむずかしい
計算が
必要だなんて
じっきい
まいったよ…

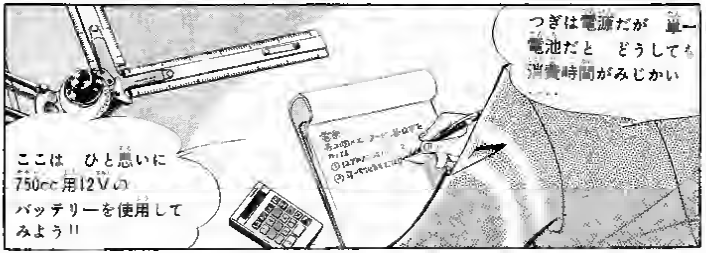
そんただ
こむすかしい
計算を
メカ政のあにきは
いともかんたんに
やっちまうんだ
から…
まーったく
尊敬しちゃう
なや
頭のわりい
おらにゃあ
チンプンカンプンで
なんのことか
さっぱりわからねぇ
どもも…

クッ
そ　そんなに
むずかしい
ことはないよ
…


ようするに三十七cc
実用型ガソリン
エンジン艇を
電動モーター艇に
きりかえるには
このモーター二個で
二つのスクリューを
まわせば　ほぼおなし
馬力とスピードに
なるということさ
…


へェ～～～ッ
このモーター
二個に
スクリューが
二つ…

その予想速度＝20～30 km/h
〃　馬力＝1.186 ps
〃　全備重量＝10 kg
として以下をすすめる。

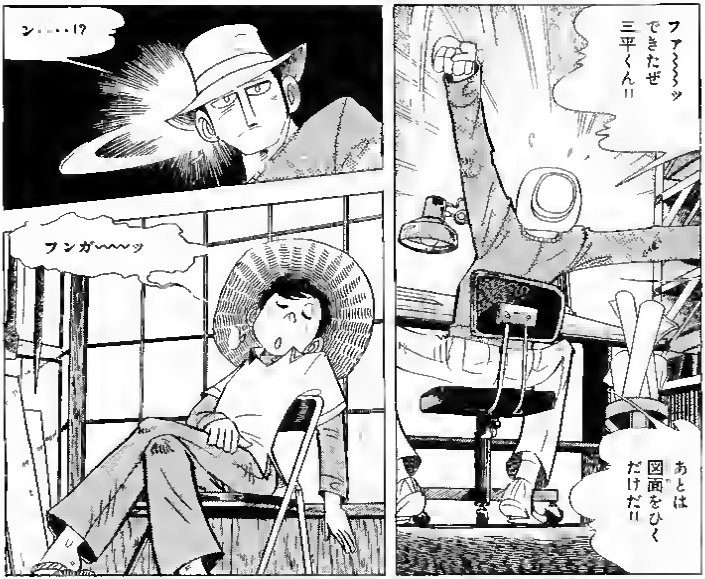


まとめ ＝ 新Masa-Sanpei号トローリング専用電動RCボート

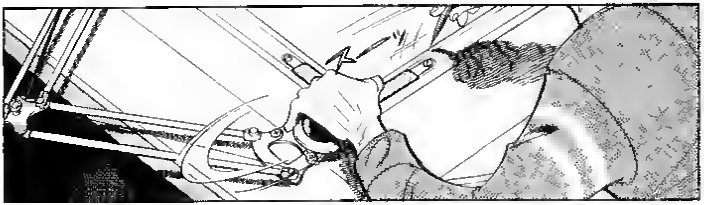
- モーター　M社製 RS-85　2個
- 電源　12V 14Aバッテリー1個
- プロポ　2チャンネル
- スクリュー　2軸 逆ピッチペラ（68mm）
  回転数をギヤで7500まで おとす＝この場合のトルク16.9kg/m
- モーターに しんちゅう製パイプを巻き水冷とし
  モーター音を消すため 発泡スチロールでくるむ

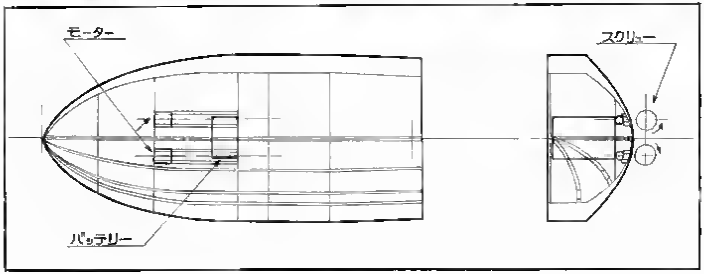
- 予想速度　$V=\sqrt{\frac{2W\cdot g}{m}}=2.5\sim3\ m/s$
  時速 10.8km/h（トローリングボートであるからスピードは あまりひつようとしないからこの程度のスピードでよいと考える）

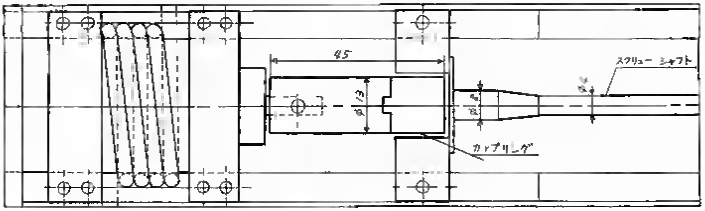
- 予想運行時間　6.7A/h ～ 10A/h
  約 62.4分 ～ 42分 間は運行可能

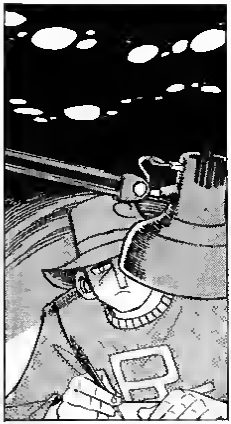


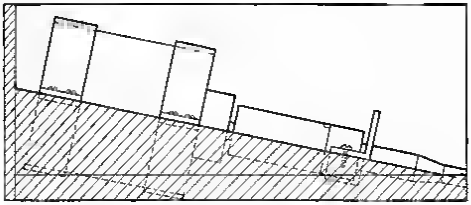
フフフ
まいった
なあ

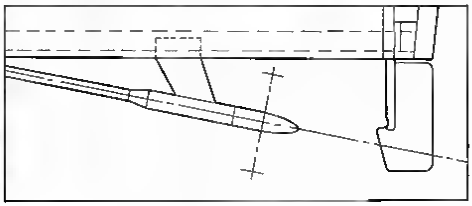


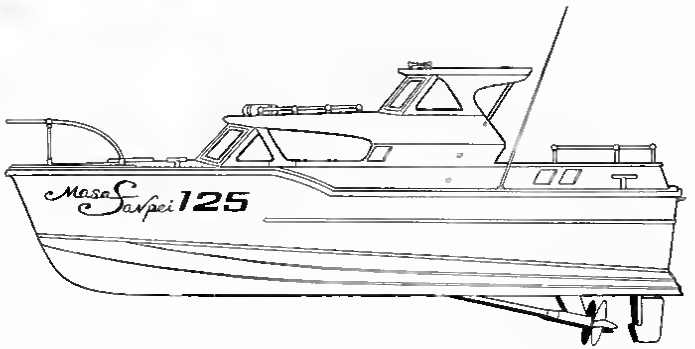

モーター
スクリュー
バッテリー

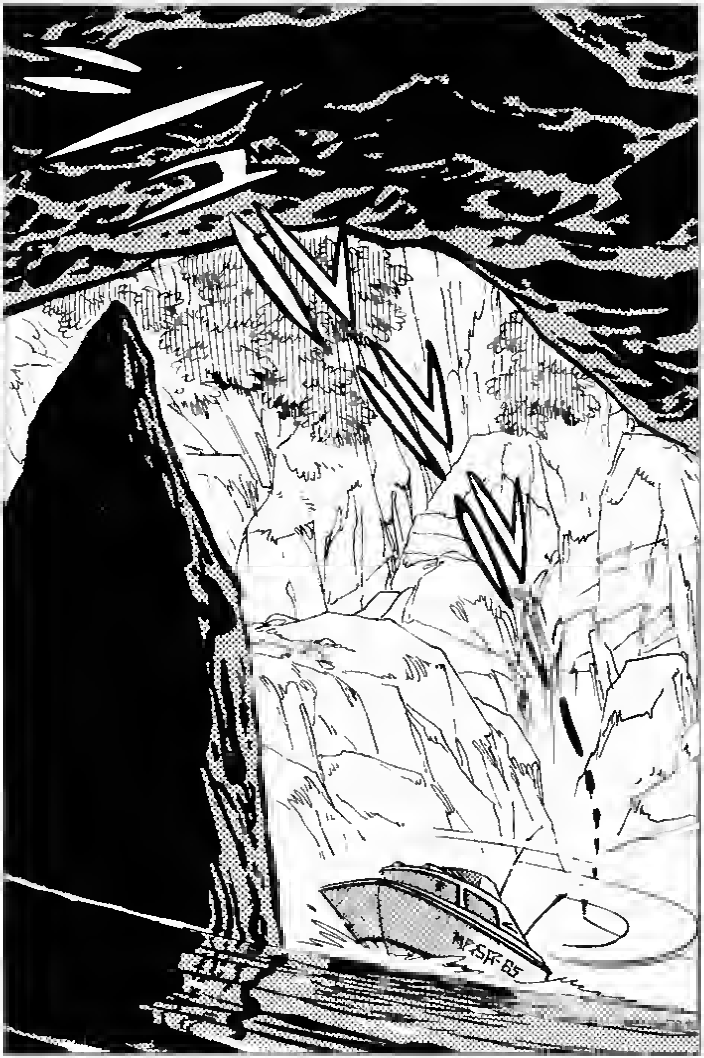

45
ø13
スクリュー シャフト
カップリング








Mose Sarpei 125



ウヒャ〜〜ッ
す　すげえ！

快調でねえけぇメカ政のあにき!!

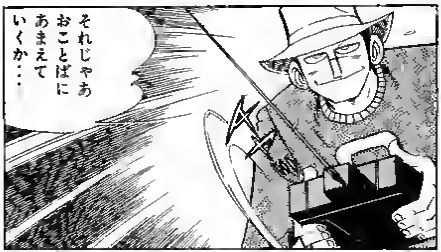
フフフフ
どうやら計算とおりにうごいてるようだな

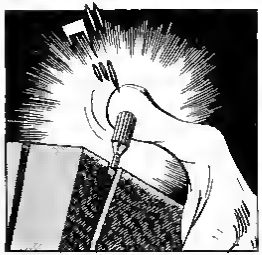
ウ〜〜ン!!
さーすが
あにきの
メカ技術は
最高たぜ
まったく
メカニックの
天才としか
いいようが
ねえ…

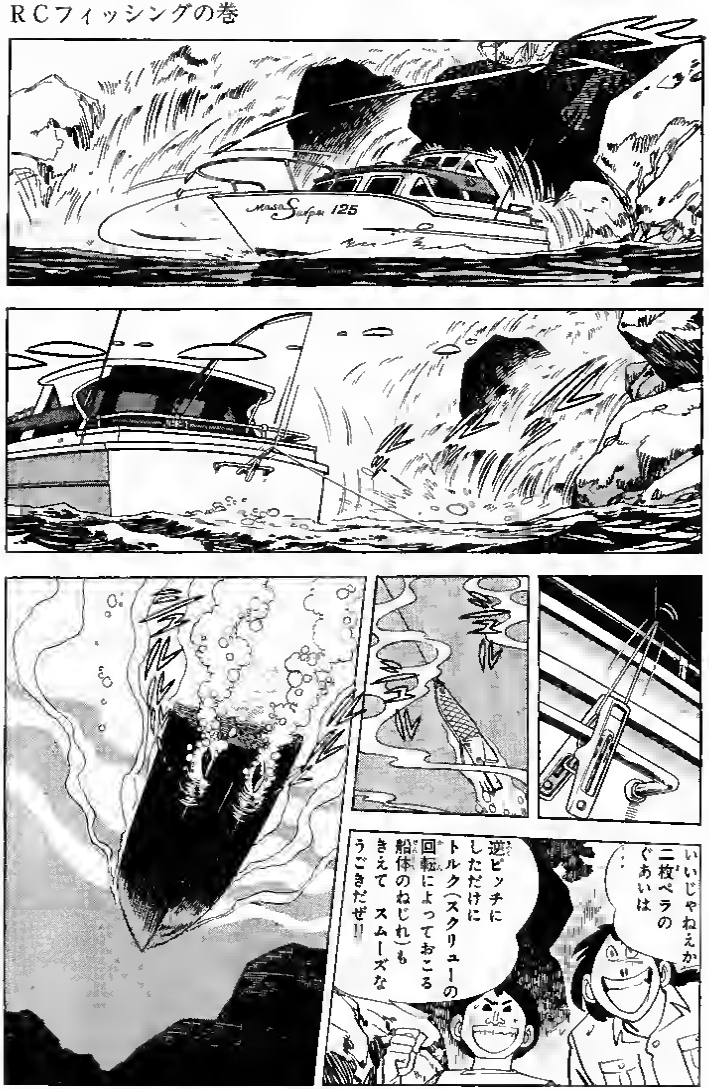
ほんじゃあ
メカ政のあにき
ここはいっちょう
設計製作者に
敬意を表して
新型電動
トローリング
RCボート による
オニババの口攻略の
一番のりは
メカ政のあにきに
やってもらうべ!!
Muse Senpai 125

いいのかい
おれが
最初に
やっても・・・

とうぜんだべ!!
このボートを
つくった 第一の
功労者は
あにきだし・・・・
おらは ただ
いねむりしてた
だけだもん・・・

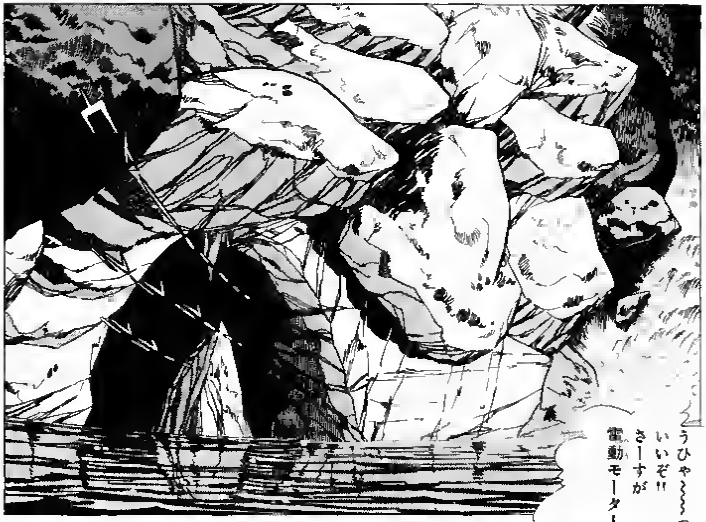

それじゃあ
おことばに
あまえて
いくか・・・



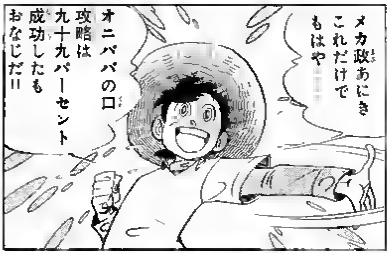

Mosa Sulfur 125
いいじゃねえか
二枚ペラの
ぐあいは
逆ピッチに
しただけに
トルク(スクリューの
回転によっておこる
船体のねじれ)も
きえて スムーズな
うごきだぜ!!

ングッ・・
メカ政のあにき
もうちょい
リラックス
リラックス!!
からだが
コチコチに
なってるぜ!!
あんなに
すばらしい
ボートを
つくったんだ
から・・・
もっと
自信をもって
どうどうと
うごかさねえと
魚のほうも
遠慮しちゃって
かかって
くれねえぞオ!!
クッ!!
ち ちげえ
ねえ!
それにしても
三平くんって
なんという子
だろう・・・
ポイントの
前に立つと
目のかがやき
がちがってくる
むずかしい
数式をまえにして
いねむりして
しまったのとは
対照的に・・

さあ!!
ポチポチ
オニババの口に
ぶちこむぞっ!!
ウムッ!


うひゃ～～～っ
いいぞ!!
さーすが
電動モーターだ!

あれだけの
工古さはいっても
魚をちらすような
音は ほとんど
出てねえっ!!

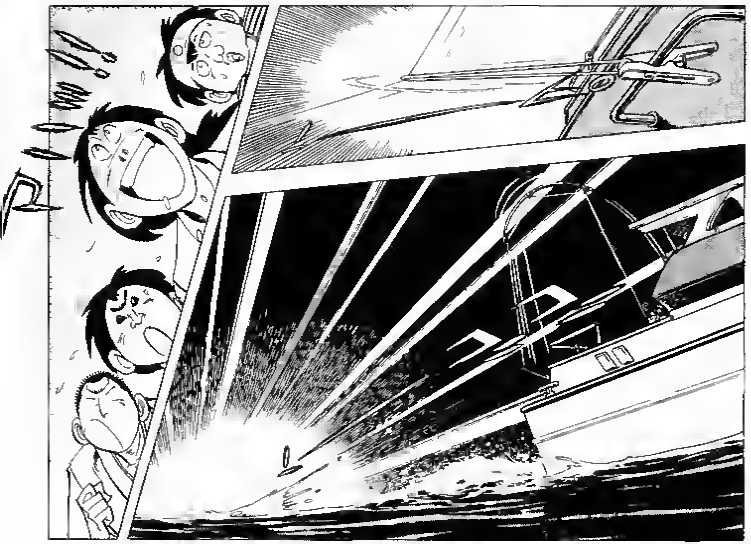

メカ政あにき
これだけで
もはや
オニババの口
攻略は
九十九パーセント
成功したも
おなじだ!!

と
いうことは
のこりの
一パーセントは
魚を ヒット
させるという
ことだな!!

あったりきよオ!!
んだから もっと 思いきって 奥さ つっこめい!!
つっこみながら ボートのスピードを はやくしたり おそくしたりして ルアーに アクションを あたえるんだっ!!
スピードが 一定では ルアーは なんの変化もしない から 魚をさそう ことは できねえ!!
わかった!!
まいったなあ 三平くんには 子どもながら おとなを さしずして ぐいぐい リードしている!!
さすがの メカ政のあにきも 三平くんに かかっちゃあ 顔色なしって いうところだ
しかた あるまい…!!
こと 釣りに 関するかぎり メカ政のあにきは 三平くんの弟子 だからなあ…
いや!! ここまでくれば 弟子とか 師匠 とかの関係では ない
じつに 息のあった 名コンビと いうべきだろう
うむ まったくの 名コンビだ…!!

きたっ!!

ウオッ!!



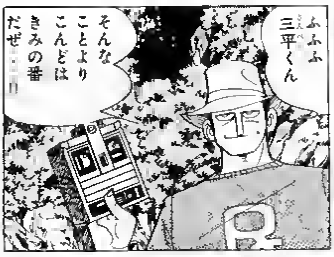
それーっ
ひけ――っ
どんどんひいて
手前さ よせて
くるんだ～～～っ
ングッ!!
しかし
三平くん
そ そんなに
むりしては
：
心配ねえ!!
ルアーを
しずめるために
とりつけた輪ゴムが
あんなにのびても
切れねえところを
みると たいして
大きい魚ではない
ズズズ

やった〜〜〜っ!!
二十五 六センチ クラスの 岩魚だっ

ウヒャ〜〜〜ッ ちっこいなあ……!!
もっと でかいと 思ったのに

ばかいうてねえ 魚体は ちっこいが こいつは……

電動モーター搭載の RCボートによる 完璧なトローリングに よって……
難攻不落の ポイント オニババの口から ひきずりだした 記念すべき岩魚 なんだぞ!!


ふふふ 三平くん
そんな ことより こんどは きみの番 だぜ……!!

ケッヘヘヘ まーかし とけって!!

スタート!!
ウ〜〜〜ッ
いいぞ
快調
そのもの
だ……

よ――し
このへんから
ボチボチ
アクションを
くわえてみる
ぞ……!!
なるほど
さすが
三平くんだ
ああすれば
ルアーに
アクションが
つくわけだ

さあ!!
いよいよ
おめあての
オニババの口さ
はいるぜ!!

きたっ!!
Mase Seafox 125

アハッ
すごい!!
さすが
三平くんだ
一発できめる
なんて!!
のんきな
ことをいってる
場合じゃねえっ
こいつあ
ちょっと
でかいぜ!!

ングッ!!

あの岩魚は七八十センチはあるぜっ!!
ああっ すごい!!
ムッ!!
ンギッ!!
方向をかえて江古さもぐりこもうとしているなっ!!
そうはさせねえぞっ!!

ああっ
いいかん
!!
このままでは
岩さ ぶつかって ボートがこわれるっ!!
メカ政のあにきっアロボをたのむっ!!
ングッ!!
ああっ!!

Masa Sanpei 125
ああっ!!
Masa Sanpei 125

Nasa Sanpei 125

ンダッ!!
ああ・・・・
AN

RCフィッシングの巻　おわり

■取材

取材は、まんが家にとって重要な仕事の一つである。もちろん、物事を見たり、聞いたりすることも大切だが、写真をとることも大切である。まんがは絵で描かなければならないので、その資料となる写真をとるのである。ボクのアトリエには、そんな資料や写真が何千枚あるか知れない。山や、川や、木や草花の写真はいうにおよばず、パトカーや、道路工事の現場写真など、いつでも、どんな場面が必要となってもこまらないようにファイルしておくのである。

テレビ局が、ボクのアトリエに何度か取材にきたことがある。ボクのインタビューだったり、仕事ぶりを撮影したり……。

そんなときでも、ボクは見のがさない。すぐにスタッフに命じて、テレビの取材風景をカメラにおさめさせる。つまり、取材にきたテレビを逆取材するというわけである。

いろいろとっておくと、いつかかならず役にたつものである。

●角鷹(くまたか)フィッシングの巻(まき)●

どうしただ三平…!?
さっきから鼻のあたまさ汗かいて なんかやってたけど
なんだとお…!?
鷹で魚を釣るだとお…!?
フフフそうさ!
こいつがそのしかけさ…!!
トワ〜〜〜ッ!!
!?

SWIPE

矢口高雄
矢口プロ作品

角鷹フィッシングの巻

おらが鷹つかいの
健太郎くんとあったのは
O潮さ マス釣りに
いったときだった
……!!
それっ
ヒット!!
ファ～～～ッ
またけえ
師匠……
ケッへへ
腕だよ腕
……!!

それぇぇぇっ!!
トトッ!!
ン!?
し 師匠
な なんだべ
ありゃあ
パ パカに
でっけえ
鳥だなや
!!

正治
ありゃあ
鷹だよ
ホウァ!!
ありゃっ……!?
ズーン!

ホウッ!!
あ〜〜ん!?

クソッ
し 師匠 あいつが 飼っている 鷹だ えれえ なれてる ぞ…!!
ひょっとしたら あいつ 鷹匠の 子かもしれんぞ
この山には 代々鷹匠をやってる 家があるって きいたことがあるから
やい高根号 てめえってやつは なんちゅう なさけない やつなんだ …!
たかだか こんただ小枝を ひろってこれねえ のか——っ!!

もういっちょ
いって
こ――い!!
!!
それっ!!

そこで
いったん
空中停止し
獲物を
よーく確認
しろ!!
よ――し!!
つっこめ――っ!!

よしいいぞその調子だ…!!
ピッ
ピッ

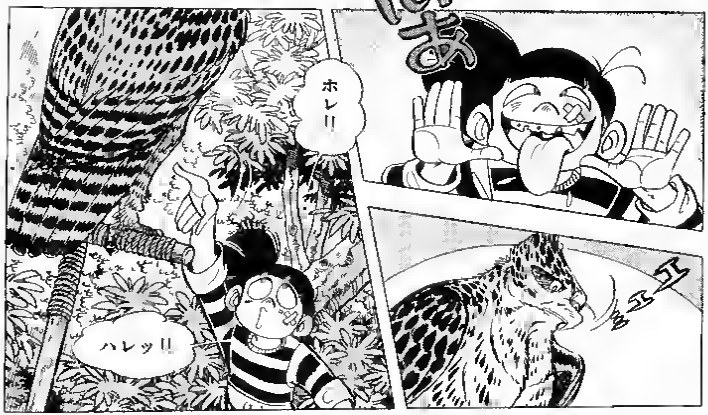
クッソオ!!

な――にやってんだ
このトウヘンボク――っ!!
まったくみそこなったぜ…!!
そんなりっぱな爪をもっていながら……
なりばっかしてかくなりやがってこの大めしぐらいが…!!
てめえのその爪はダテかい!
グッ

まあ いいさ
できねえって
いうんなら
いつまでも
そうしてるが
いい
そのかわり
なんぼハラが
へったって
絶対にエサは
やらんからな
こんちわ
……
鷹の訓練
してるのけえ
……!?
なんでえ
おめえたち
は……
おらあ三平
ちゅうだ!!
さっきから
この湖で
釣りを
してただ
おらあ
正治だ

なんでえ
釣りか
このごろ
湖がやたらと
にぎやかになったと
思ったら
世のなかあげての
釣りブーム
らしいな
ハア
まあ
それは
ところで
おめえ
ひょっとしたら
健大郎くん
てんじゃ
ねえのけえ
……!?
なんで
おらの名まえを
知ってる…

やっぱし
そうか!
この山には
代々鷹匠をやってる
家があって そこさ
健大郎ちゅう
少年鷹匠がいるって
きいたこと
あるけど…
フン
それが
どうした
いや べつに
どうってことも
ねえけど
ずいぶん
よくなれてると
思って……
ケッ!!
なれすき
ちやって
まるっきりの
能なしさ!!


ばぉ
ホレ!!
ハレッ!!
ヒュー

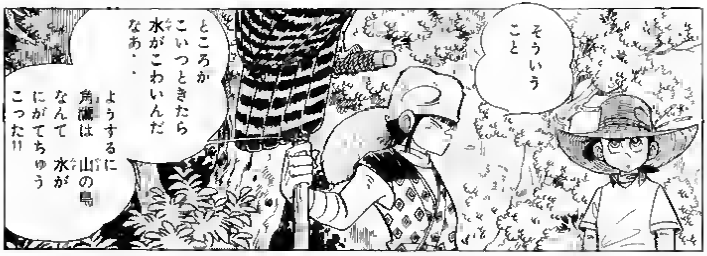
オソトへんにちかよらねえほうがいいぜ!
そいつあ狐や猩さえひとつかみににぎり殺しちゃう角鷹だ!!
イッ!!
目ん玉のひとつふたつえぐりとられたって責任はもてねえぜ!!
そ そんなじ じょうだんじゃーねえだ〜〜っ!!

そうかあ
これが鷹のなかまでいちばんでかいといわれる角鷹かあ…!!
トホ

まだ若鷹だが
こいつは今年の冬
山ウサギを
二十六羽も
とったんだぜ
ヘェ～～ソ
二十六羽も
…！
ほんじゃあ
ちっとも
能ナシじゃねえべ

地上の獲物が
相手なら 百発
百中なんだが
…
水んなかの獲物か
相手となりゃあ
からっきしの
能ナシさ
水んなかの
獲物…!?
マスに
きまってるじゃ
ねえか!!

ちゅうことは
さっきからの
訓練は マスを
とらせるための
訓練だったの
けえ…!!

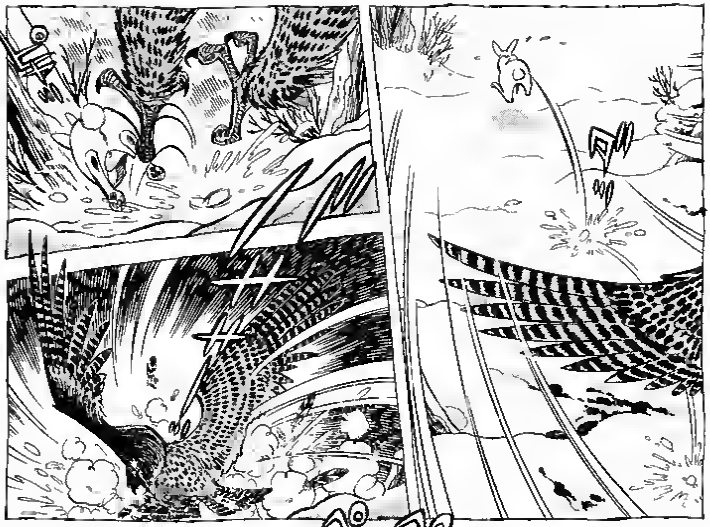

そういう
こと
ところが
こいつときたら
水がこわいんだ
なあ…
ようするに
角鷹は山の鳥
なんて 水が
にがてちゅう
こった!!

水がにがてならなにもむりにマスなんかとらせることもねえべ!!
鷹匠の鷹は山ウサギなんか狩らせるために飼ってるんだべ
エサがひつようなんだよお!!
鷹たってエサを食わずに生きちゃあいけめえ!!
ちゅうことはマスは鷹のエサにするためのもんけえ
んだ! 冬場たったら狩った山ウサギの肉をエサにするんだが…
山ウサギなら冬でなくたってそこらさいるへ
それを狩らせたらいいでねえけえ二十六羽も狩るだけの力をもっているんだから
チェノ!!
おめえってやつは口数の多いわりにはなんにもわかっちゃういねえんだなあ…!!
いいかこの角鷹ってやつは羽根をひろげると二メートルもあるんだぜ
そんただ大鳥がどうやって このの木の葉や草のおいしげったやぶのなかをとびまわって山ウサギをとらえることができるというんだ…!!

羽根のでかい大鳥ってやつは木だちやしげみがいちばんにが手なんだ!!
な　な――るほど…
だから鷹狩りは木の葉のおちた冬山でおこなうんだ…!!
んだとも　たんに鷹のエサにするだけなら　おめえが釣ってやったらいいでねえけえ!!
なんだったらおらの釣ったやつをあげようか…!!
バッキャロ――ッ
そんなんじゃ意味がねえんだよお…!!

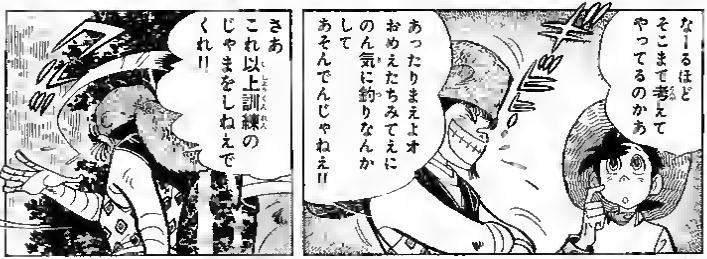
いいか 鷹のエサってやつはな…
あくまで 鷹自身が とらえたもんで なくちゃあ いかんのだ!!
なんて…

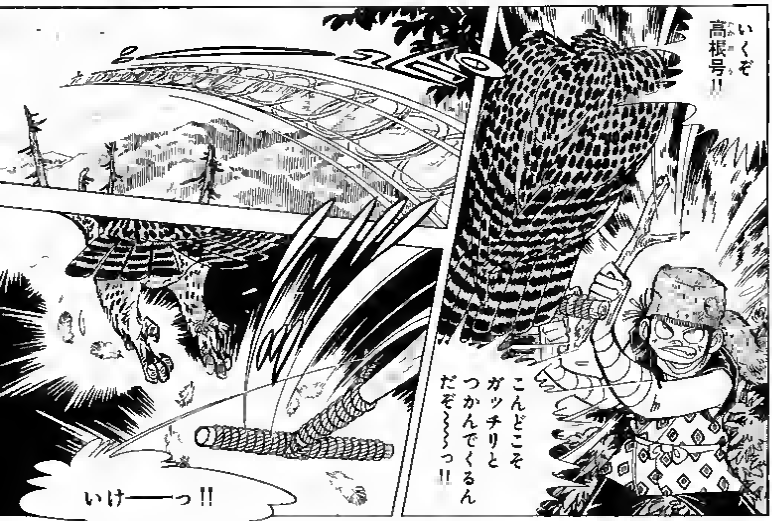
まあ しろうとさんにゃあ わかるめぇか
鷹にかぎらず 動物ってやつは 人間にかわれると あまえぐせがついて いつのまにか 野生の本能ってやつが うしなわれていくんだ!!
しかしそれじゃあ 鷹狩り用の鷹としては 一文のねうちもねえ!!
鷹狩り用の鷹は 主人にしたがいながらも
いったん獲物にむかったら 野生の狩猟本能をむきだしにするものでなければならん!!



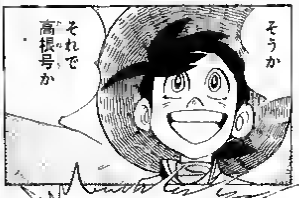
主人は
狩った獲物の
なかからエサを
わけあたえる!!
するとタカは
またエサを
もらうために
狩猟本能を
むきだしに
する!!
これが
鷹匠と
鷹の関係
だ!!

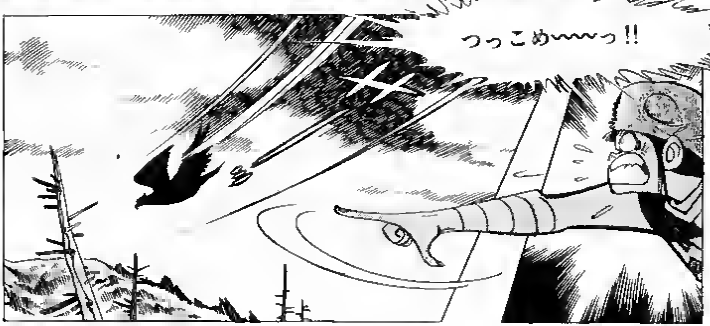
だから
こいつにとって
てめえの力で
マスをとると
いうことは
てめえの
エサにありつくと
同時に
たくましい
狩猟本能に
みがきをかける
ことになるんだ
…!!


なーるほど
そこまで考えて
やってるのかあ
あったりまえよオ
おめえたちみてえに
のん気に釣りなんか
してあそんでんじゃねえ!!
さあ
これ以上訓練の
じゃまをしねえで
くれ!!


いくぞ
高根号!!
こんどこそ
ガッチリと
つかんでくるん
だぞ〜〜っ!!
いけ――っ!!

あの鷹
高根号って
名まえか……
気がちるから
むこうさ
いっとれ～～～!!
高根山で
生まれた鷹だから
高根号ってつけた
んだ～～～っ!!


そうか
それで
高根号か


つっこめ～～～っ!!

ンゲッ

クッソオ――っ
なんてざまだ～
このトウヘンボク
～～～っ!!
そいつを
つかむまでは
絶対エサは
やらんぞ
～～～!!
まてよ
水んなかさ足を
つっこみたく
ねえのなら
水んなかさ
足をつっこむ
のが こわい
みてぇだなや
いっそのこと
釣りをさせて
みたらおもしれぇ
かもしれんな
なんだとお
…!?
いま なんと
いった!!
い いや
ひとりごと
だよ
たいした
ことじゃ
ねえだ
かまわん
もう一度
いってみろ

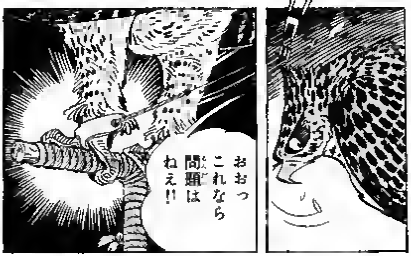
つまりその高根号はやっぱし山の鳥だから
水鳥とちがって羽根がぬれることをきょくたんにおそれてるみてえなんだ
んだからどうせそうならいっそのこと
足さテグスをむすびつけて釣りをさせてみたらおもしれぇんじゃねえかと思って……
それだったら羽根をぬらさずにマスをとることができるし
自分のエサを自分でとらえるって訓練にもなるべ
な なるほど
そういうこともあったのか……
こいつなんちゅうことを考ぇるやつだ
高根号
かえれ〰〰っ!!

ウム!!
シカケは
こんただ
とこで
いいだろう
……!!

しかし
足さ直接
テグスをむすび
つけたんじゃあ
キズがつくおそれ
があるなあ

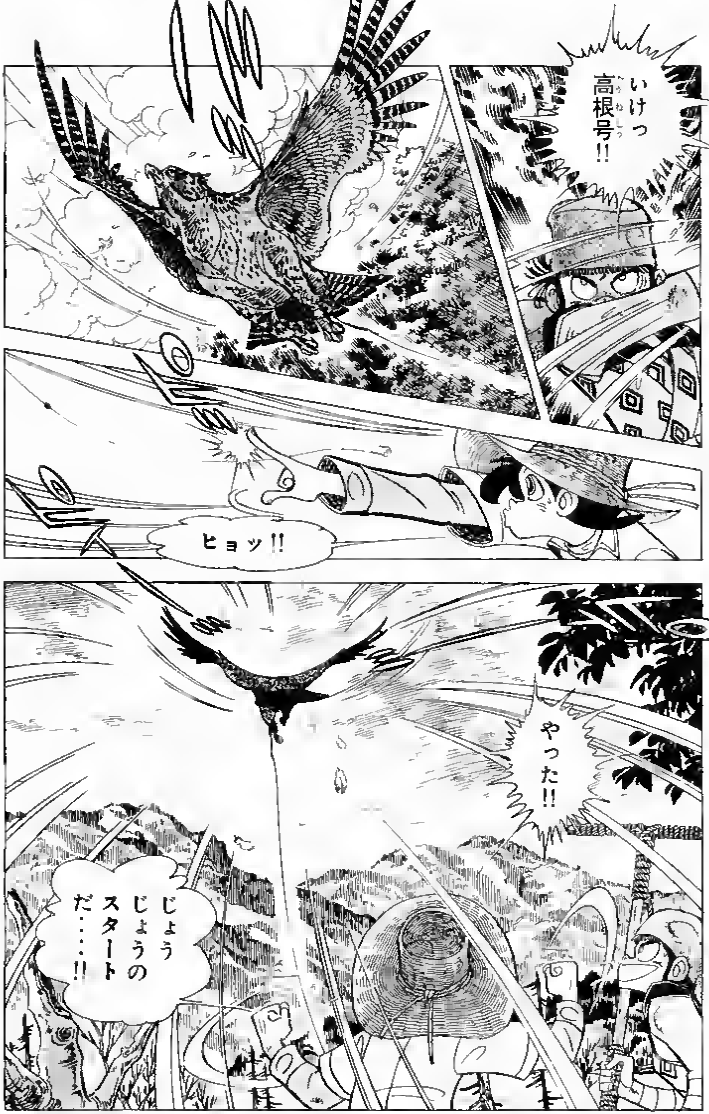
それなら
心配ねえ
こいつは調教の
ときにつける
皮製の足輪だ
これにむすべば
キズはつかん

こんなのが
あったのけえ
……
さっそく
むすびつけて
みよう!!


おおっ
これなら
闘鶏は
ねえ!!

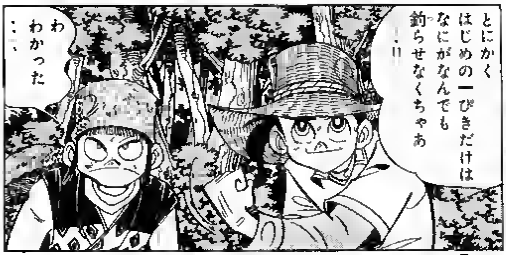
ようし!!
ものは
ためしだ
さっそく
やってみよう!!

三平！
おらあ釣りのことは
よくわからんから
おめえにまかせる
なんでも
えんりょ
しねえで
ビシビシ
指示してくれ!!
OK——っ!!


いけっ
高根号!!
ヒョッ!!
やった!!
じょうじょうのスタートだ……!!

三平！
このままで
いいのか
……!?
あわてるな
なにごとも
はじめが
かんじんだ!!
うまく
すれば
つくだろうし
失敗すれば
いっぺんでやる気
を
おそれがある
成功
鷹も自信が
なくしちまう

こ
こいつ
いつのまにか
鷹つかいの
勘ところを
つかんで
いやがる

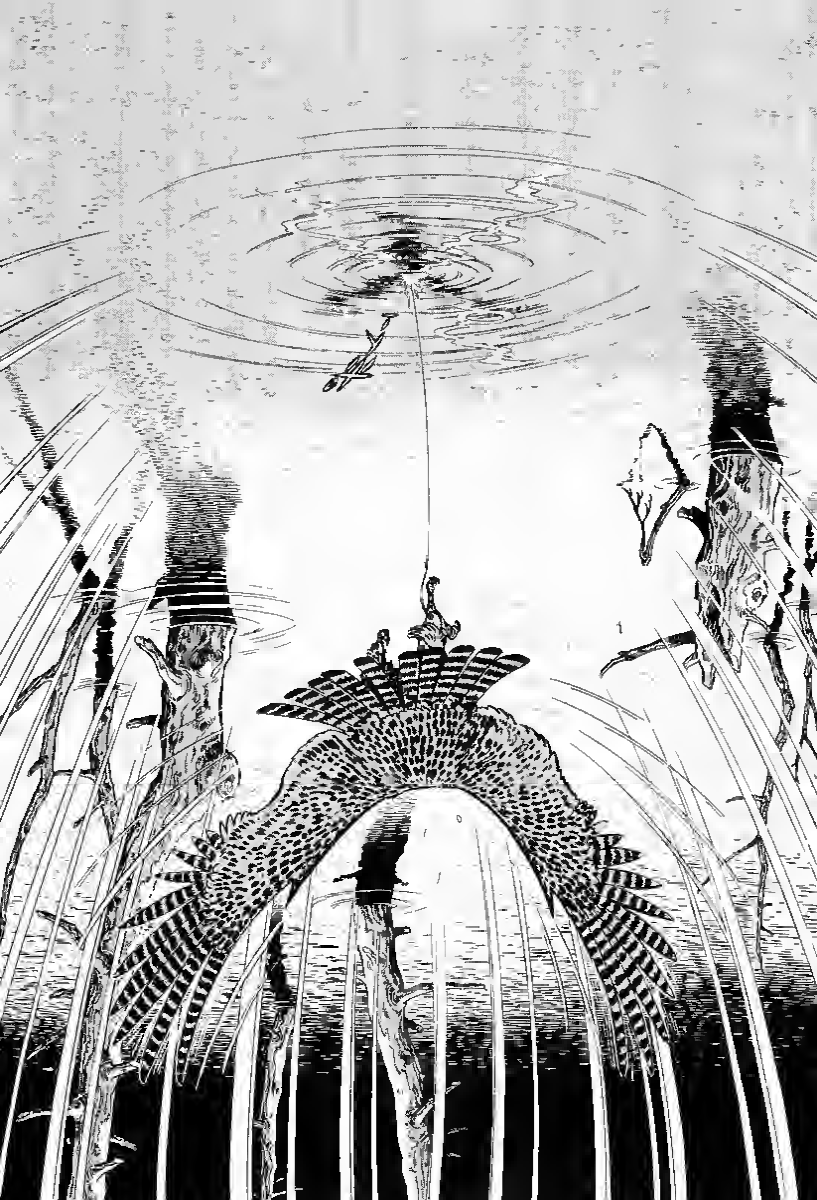

とにかく
はじめの一ぴきだけは
なにがなんでも
釣らせなくちゃあ
……!!
わ
わかった
……

ケッ
健太郎のやつ
はじめはいばり
くさってたけど
なんやかやと
すっかり師匠の
いいなりに
なってやがる
ぜ！
どうてえ
わかったか
おらの師匠の
偉大さが
……!!

よーし
健太郎くーん！
ゆっくりと
スピードをおとし
空中停止の
体勢にはいって
くれ……!!

高根号
空中停止だ
……!!
な～るほど
これが空中
停止の合図か
!!
いいぞ
その調子
だ!!
そのまま
しずかに高度を
さげてくれ!!

高根号さげ――っ!!
クッ!!
もっとさげて!!
水面上三メートルまでさげてくれ…
そのしたがかけあがりの絶好のポイントなんだ!!
わかった!!
まいったなや師匠も師匠だけど健大郎のやつみことに嬶をあやつってやがる
こりゃあひょっとしたら釣っちまうかもしれんぞ…



よ――し
いいぞ!!

角鷹フィッシングの巻 其之二

その
調子だ!!

ンッ!?

きたっ!!
ウオッ!!
おおっ!!

クエ――ッ!!
健太郎くん
なにを
ウロチョロ
してるだ
はやいとこ
ひきあげ
させるんだ
～～～っ!!

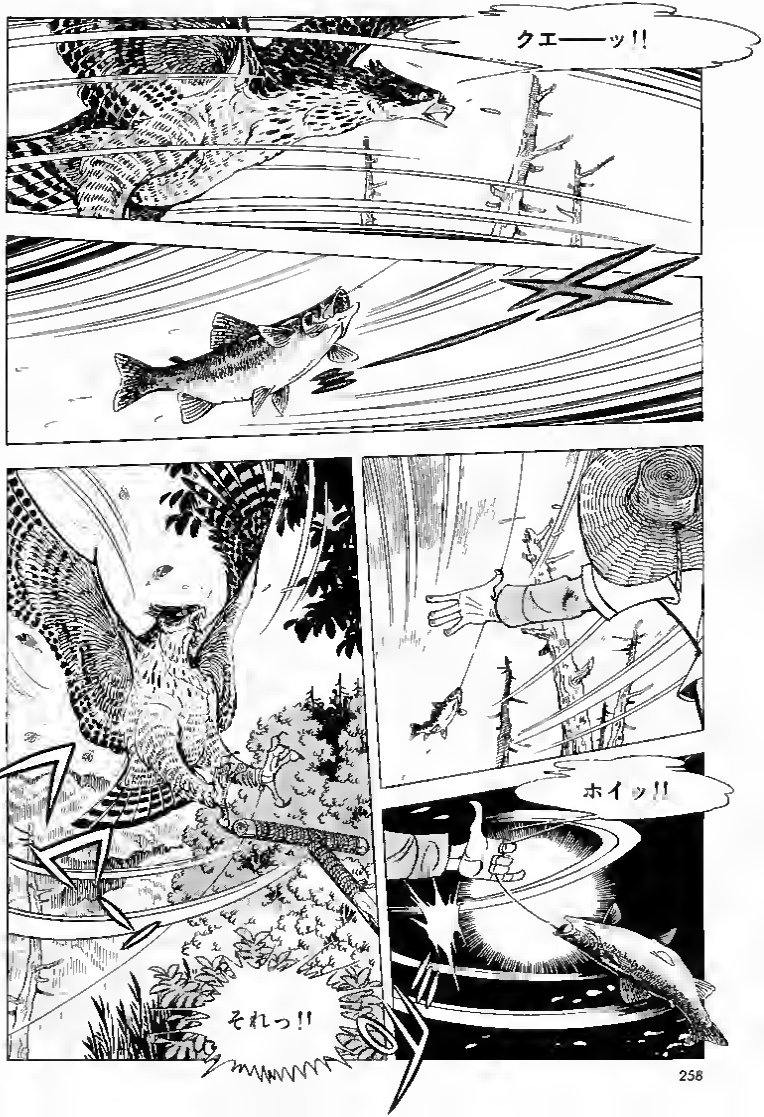
ヒュー
高根号
あげ――っ

クエ〜〜ッ!!
ンムッ!!
あぎ
高根号
あげ〜〜〜っ!
おもいっきり
あげ〜〜〜っ!!

ブーポー!!
アハッ!!

やったぁぁぁっ!!
おおっ!!
おめでとう健太郎くん!!
あ ありがとう!!
それにしても三平てめえってやつはたいしたやつだぜ…!
こんなとっぴょうしもねえアイディアをポンとだしてくるなんて
そんなことよりほら!
高根号がもどってきたぜ!!

オーライ
オーライ！
魚はおらがとりこむからおっえは高根号を
OK——っ！


クエ――ッ!!
ホイッ!!
それっ!!

ウムッ!!
健太郎くん
見れ!
二十五
センチ級の
りっぱな
ニジマスだ!!
おおっ!!
高根号
よくやった!
これが
おめえの
釣った
マスだぜ
……!!

よ――しまっとれいますぐほうびをつくってやる!!
食いやすいように三まいにおろして と…!!
ほら 食え!!
まさかてめえのエサを釣ってくるなんて考えてもみなかったろう!!
ン!?
どうした食いたくねえのか…!?
おなかがいっぱいしゃねえのけえ…!?

そんなはずはねえ
おとといからトリのササ身をひときれ口にしただけだから……!!
なんだとオ!?
おとといからトリのササ身ひときれ……!?
それがどうした
なんぼなんでもそれはねえべ!!
それに鷹狩りは冬がシーズンというてねえけえ
そんならなおさら夏のうちにうんと食わして体力をつけておかなきゃあならねえへ!!
こんだけのでかさなんだからもっと食わせなきゃだめしゃねえか!!
としろうとがこざかしい口をはさむんじゃねえ!!
どんどん食わせりゃあたしかに体力はつくだろう
しかしそれじゃあまるっきり狩りをしねえ鷹になっちまうんだとオ!!

いや！
それならまだ
きたえなおす
こともできる
が・・・
満腹した鷹を
空へはなったら
それっきり
もどらなく
なっちまう
こともあるんだぜ・
なんで
・・・!?
考えて
みろ!!
一本の糸も
むすばずに大空へ
はなった鷹が
なぜ主人のもとへ
かえってくると思う
!?

ニワトリやアヒルと
ちがって　鷹は自由に
大空をとびまわれる
んだぜ!!
その気になりゃあ
いつだってにげて
いけるはずなのに
なぜもどって
くると思う!!
そ
それは
・・・
答えは
かんたんさ
鷹を絶対
満腹にさせない
からさ!!

いや むしろ
慢性的空腹状態にたもっているからこそにげていかないんだ…!!
腹がへってにげるスタミナがねえということけえ!?
パシャロー!
にげるスタミナのねえ鷹がこんな獲物をぬきあげてこれると思うのか!!
スタミナをうしなわぬギリギリの線に空腹状態をたもち
狩りに成功すれば満腹しないていどにほうびのエサをあげる!!
だから鷹はほうびをもらうために必死に獲物にたちむかい
ほうびをもらうために主人の手にかえってくるんだ…!!
まあといってしまえば鷹匠はいかにも鷹のよわみにつけこむひきょうな人間にきこえるかもしれねえが…
そんなことはけっしてねえ!!

てれくせえ
いいかただが
ようするに
鷹と人間との
あいだに
信頼心ちゅう
やつがめばえて
こねえことには
けっしてうまくは
いかねえ!!
つまり
鷹と人間
とが
信頼という
目にみえない
イトでむすばれて
いればこそ
にげていかない
んだ!!
なるほど
信頼という
目にみえない
イトか
……
ほら
食え!!
ノドから
手がでるほど
腹がへってる
はずだ

そ
そうか
わかったぜ
……!!
こいつ
もういちど
やらして
くれと
いって
るんだ!!
もう
いちど
ン!?

そうさ!!
この冠羽の
逆だち方や
目のかがやき
は……
いまの釣りては
なっとくできない
から　もういちど
挑戦させてくれと
いってるんだ!!

すると
いまの一発で
釣りに興味を
もったって
わけけえ……!?
あったりき
よう!
てめえが
なんの気なく
だした
アイディアに
バッチリはまったっ
てわけさ!!
さあ
はやいとこ
あたらしい
エサをつけて
くれ!!
ハ ハイ!
師匠
なんかへんな
ことになって
きたなや……
まったく
だ
鷹が
釣りキチに
なるなんて
きいたことが
ねえ
おい
エサづけは
まだか
オット
できたぜ!!
よ——し
高根号
それじゃあ
いくぜ!!

なっとくするまで釣ってこ――い!!
ヘエ～～ノ
なんだかさっきよりグッとリラックスしてとんでいくぜ!!
おめえにもそう見えるかい。
ウン!!
なんとなく自信にみちてるってかんじだ。。。

そうかい
しかし ものごとってやつは ためしてみねえことにはわからんもんだなあ……
まさか 鷹が魚を釣るなんてことを考えたやつは 世のなかひろしといえどもおめえをおいてほかにはあるめえ
オット 健太郎くん
そんなことよりもそろそろポイントだぜ!!
高根号 空中停止――!!

ワオッ!?
一ッ!!

クエー
こ こんなことってあるか
さっきはニジマスのはげしいひきにあって かなり体勢がくずれたが
こんどはあらかじめいきおいをつけて 一気にひっこぬいた
やった〜〜っ!!

いまの釣りをてめえの考えで意識してやったとすれば
こいつあたいへんな鷹だ……!!
おい 三平なにをポケットしてるだ!
高根号がもどってきたぜ!!

やったぜ
やったぜ
高根号！
よくやった
よくやった
さっきよりは
ちょっくら
小ぶりだけと
いい型だ
よーし
よし!!
いますぐ
ほうびを
やるぞ!!
ケッ
さいそくして
やがらあ
そんなに
あせるなて
いますぐ
あげるから
それっ!!

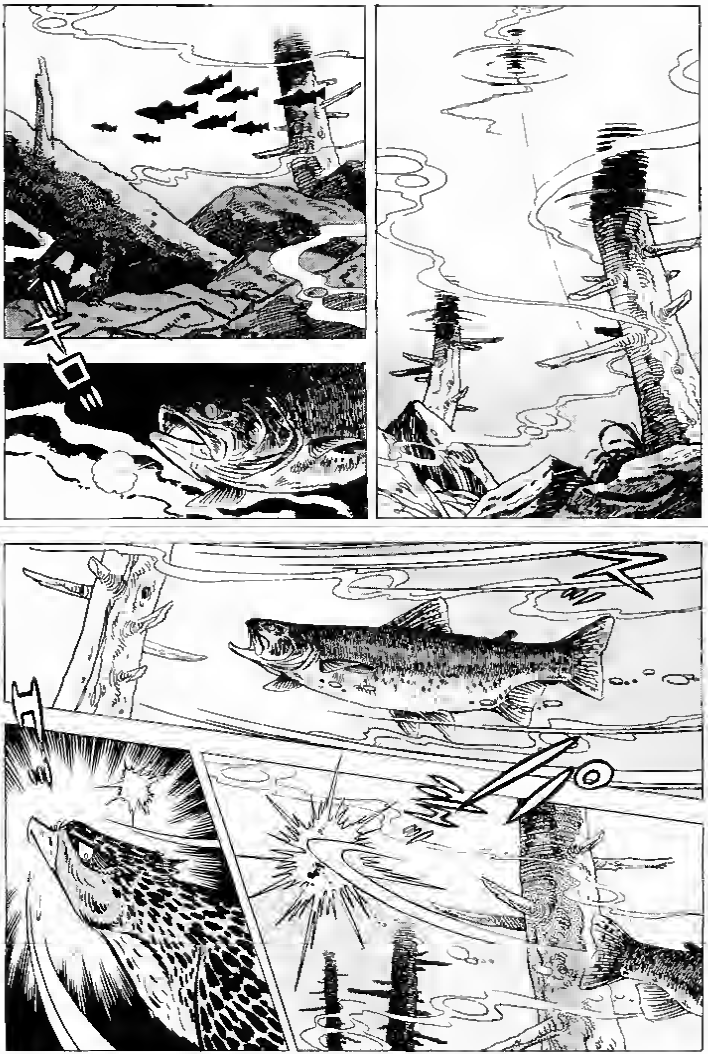
ホントだ！
そういうガンコなところがあるんだよこいつは
狩りに失敗したときなんか一回しゅうエサを食わねえことだってあるんだぜ…!!
フフ満足そうなツラしてやがる
どうでえいったとおりだろう
いまの釣りをなっとくしたからこうやってエサをもらってるんだ!!

健太郎くん
またいきたがって
るんじゃ
ねえのけえ
フフフ
こいつめ
味を
しめおった
な……!!
よ――し
おめえがその気
なら いっちょう
思いっきり
釣らしたるか!!
そうだ!
今晩のおかずは
マスの塩焼きと
いくか!!
おとうや
じいちゃんが
びっくら
こくぞお
高根号が
釣ったマスだと
しったら……
三平
わるいが また
エサをつけて
くれ
ちょっくら
やすませたほうが
いいんじゃ
ねえのけえ!?

心配ねえて
★一貫目ちかい
山ウサギなら
ともかく
このていとの
マスなら
百ぴき釣ったって
どうってこと
ねえさ!!
だいじょうぶ
かなあ
ちょっくら
調子さ
のりすぎしゃ
ねえのかなあ
用意は
いいか!!
ハア・・・!!
それいけ
高根号——!!
バンバン
釣って
こーーい!!

★(約)三・七五キログラム)

よーし
いいぞ
その調子
だ!!
おらあこのとき
なんとなくへんな
胸さわぎを
感したが
まさか
あんたがこと
おこるなんて
考えても
みなかっただ…


ニヤロ

角鷹フィッシングの巻 其之三

クェ〰〰ッ!!

ウオッ!!

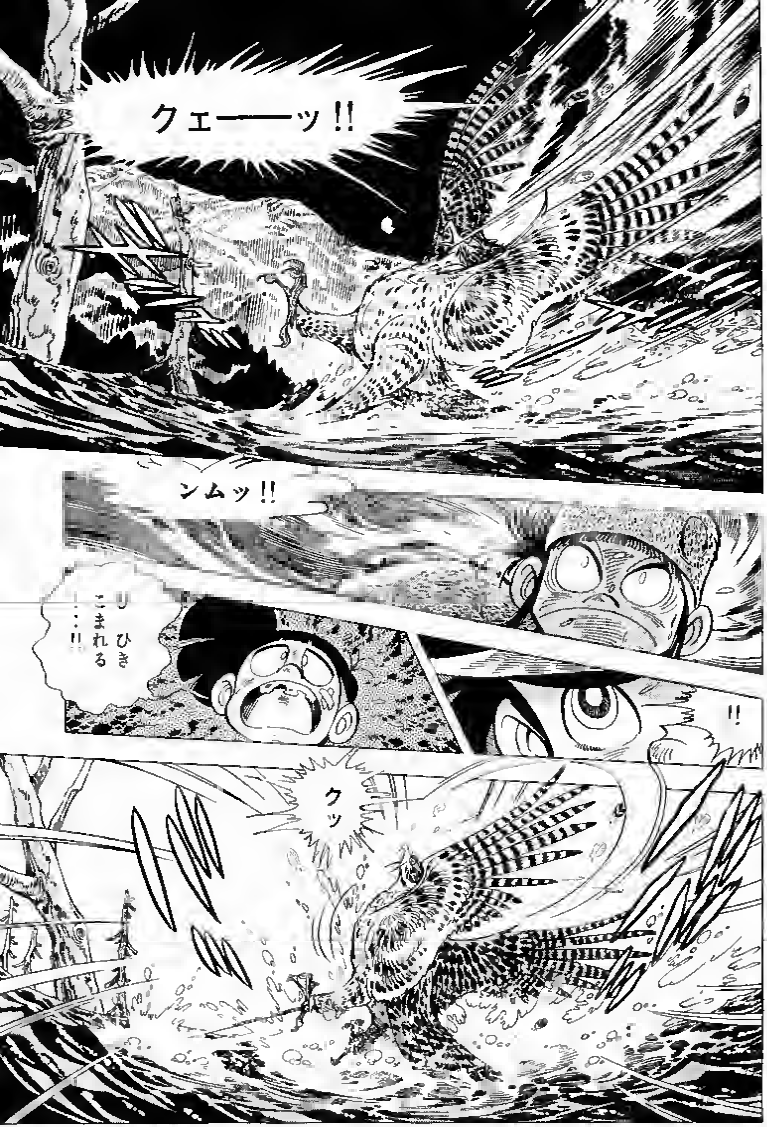
ンムッ!!
おっ!!

60センチ
クラスだっ
でっ
でかい!!
クエ
クエ〜〜〜ッ!!

いかん
魚がでかすぎる!!
高根号あげだ――っ!!
逆方向にあげ――っ!!

クェ――ッ
よ――しいいぞ！
そのようりょうで一気にひっこぬけ
っ!!

クエ〜〜ッ!!


クェーーッ!!
ンムッ!!
ひきこまれる…!!
!!
クッ

健太郎くん
なにしてる
このまま
じゃあ
ひきずり
こまれる
はやいとこ
たすけに
いかなく
ちゃあ!!
ハカッ!!
とびこんで
たすけるしか
手はあるめえ
……!!
たすけるって
どうやって!
おれおよげないんだ
な なんだとオ……!?

じょうだんも
いいかげんに
しろ――っ!!
てめえは
およげねえ
くせして
鷹には
水をこわがらねえ
訓練をするとは
とういうこっ
た～～～っ!!

がんばれ
高根号
――っ!!
いまたすけに
いくぞ～～～っ!!
コイ
ケ
あぁっ!!

ウォ…!!
あうっ!!
!!
クソッ!!
いかん!!
がんばれ高根号
もうすこしだぞ
～～～っ!!

ゴゴゴゴ
ウッ!!
いけっ!!

高根号(たかねごう)――っ!!
ゴォ
ゴォ
た
高根号(たかねごう)!!

しっかり
しろーーっ!!
チッ!!
ヒュ
タア〜〜〜ッ!!

ブハーッ!!

ン――ッ!!

グエ!

ああ……
た
高根号
……!!
ホウッ
ケッ
ゴボッ
ゴボッ

ヒナ
た
高根号!!
ねっ
高根号――っ!!

ほんじゃあ
たすかった
のけえ!?

あぶな
かったな
だいぶ水を
のんどったが
もうすっかり
はいた

もう
心配は
ねえ
それよか
おめえの手の
キズは
だいしょうぶか

ちょっくら
いたむけど
このとおり
おねえちゃんに
手あてして
もらったから
平気だ!!
ケッ 師匠のやつ
べっぴんの
おねえちゃんに
手あてしてもらって
気分よくしてやがる

そうだ!!

おねえちゃん!!
おらもくるとちゅう
切り株さけつまづいて
ここんとこすりむいた
手あてしてけろ!!
ホーイチ!!

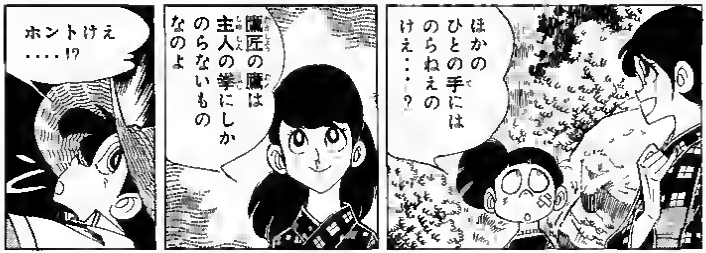
なんでえ
そのぐれえの
キズ……
ツバつけとけば
じきになおる
べ……!!
いいわよ
ついで
だから
ついで
……
ちょっと
しみるわよ
チッ
それにしても
三平くんのそのキズ
よくそれだけで
すんだものね
おぼれるもの
ワラをもつかむって
たとえもあるけど
高槻号の
爪の力は
そうとうの
ものよ!

まったくじゃ
山ウサギをひとつかみに
にぎり殺すほどの力を
もっとるわけじゃから
わしらはこんな籠手を
もちいとるが……
顔なんかを
かきむしられたら
えれえことになって
いたろう……
イッ!!
おとう
えんぎでも
ねえこと
いわないて
フ～～ッ

とにかく
よかったな
健太郎くん
……
ウン
おめえの
おかげだよ
ありがとう
だいじょうぶかい
高根号……
よかったなや

ハハハハ
高根号のやつすっかり三平くんに敬意を表してやがる
敬意……!?
そりゃあそうよ三平くんはいのちの恩人なんだから
三平こいつを左手にはめてさしだしてみろ
こうけえ!?

わ!!
うわあ!!
ガハハハハ
こいつあ
最大級の
敬意だぜ!!
この気性のあらい
高根号が他人の
拳にのるなんて


ほかの
ひとの手には
のらねえの
けえ・・・？
鷹匠の鷹は
主人の拳にしか
のらないもの
なのよ
ホントけえ
・・・・!?

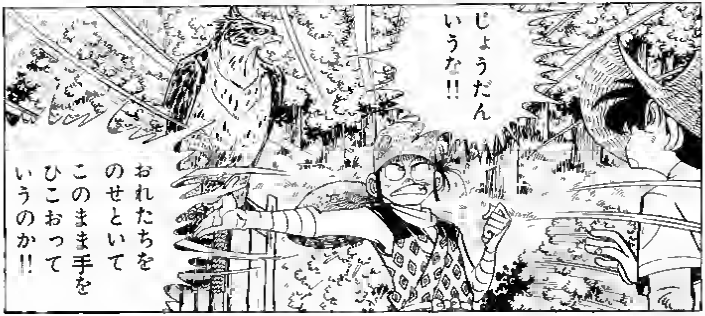
わかるのね
高根号には
いのちの
恩人の
ありがたさ
が！
ハハハ
健太郎
ひょっとしたら
高根号はこのまま
三平くんに
とられちまうんじゃねえのか

じ じょうだんじゃねえよ
おらがとっちまうなんて
かえす
かえす!!
高根号の
主人は
健太郎くん
じゃねえか!!
いいよ
おめえになら
いくらなつい
たって・・・
こいつは
主人を
わすれるような
鷹じゃねえ
それにしても
えれえことを
考えた
もんじゃ
高根号に
釣りをさせ
ようなんて
・・・

すまねえ
おらが
へんなことを
いったばっかりに
こんただことに
なっちまって
んだども
もうやめるだ
やめる
!?

どだいむり
だったんだよ
鷹に釣りを
させるなんて
はじめうめえこと
いったんですっかり
のりすぎち
まったんだ
あんただ
大物がくるなんて
計算にいれて
なかったんだ

もうやめに
するべ
鷹は
やっぱし
山の鳥だ
水のことは
カモや
カワセミに
まかしとけば
いい…


じょうだん
いうな!!
おれたちを
のせといて
このまま手を
ひこおって
いうのか!!

なーにいいだすんだ!!
これ以上つづけたらまたさっきの二の舞だべ!
もともこもなくしちまうかもしれないんだぞ!!

なくさん方法を考えろ!
それを考えるのがおめえのやくめじゃねえか!!

おらのやくめ…!?
なんてこというだ…
てめえがおよげねえくせしてなんで高根号には水の訓練をしなきゃあならねえんだ!!
そこんとこがおらにゃあさっぱりわからねえ!!

わからんでもいい!!
とにかく訓練はつづける…
そのためにはおめえの力がひつようなんだ

いいだしっぺとして責任のがれはゆるさん
あしたもこいっ!!
ウルル
そ そんな
健大郎
高根号は鷹小屋さいれてゆっくりやすませたほうがいいぞ
そうする!!
自分の部屋で羽根をととのえてから…

三平くん
すみませんが
健太郎に
つきあって
ください
あの子は
いいだしたら
きかないんです
わしからも
おねがい
するだ!!
そりゃあ
かまわねえ
けど…
なんで高根号を
あそこまで
しごかなきゃあ
ならねえだ!!
ズル助の
せいじゃよ
ズル助
…?
この山中に
ひそむ
古ギツネ
じゃ!!
すばやく
ズルがしこい
ところから
ズル助と
よばれとる!!

古ギツネのズル助！……

六年まえのことじゃがわしは健太郎に一羽の巣子をとってきてやった
まれにみる素性のよろしい巣子じゃった

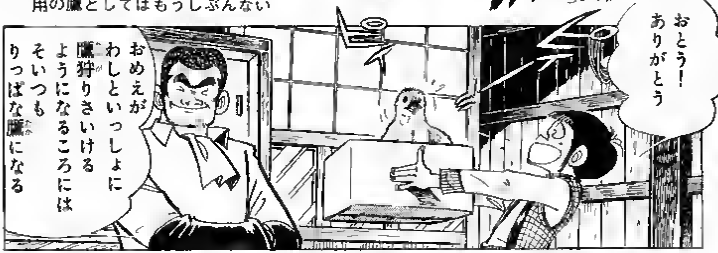
鷹狩り用の鷹は　ふつう巣子か立子をとらえ
これを飼育調教したものである

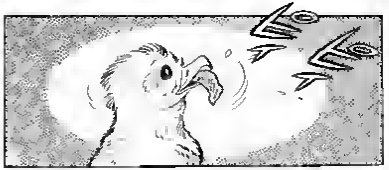
巣　子　巣のなかにいる　まだとべないヒナ鳥

なつきやすい利点はあるが　獲物にたいする
知識や　狩りのしかたを知らないので　それ
をおしえるのがひと苦労である

立　子　巣だったばかりの幼鳥

獲物にたいする知識や狩りのしかたは　両親から
ならって　あるていどできるようになっている
しかし　自由に山野をとびまわり　自分の力でエ
サをとった経験があるために野性味が強く　なか
なかなつきにくい　その点を克服すれは　鷹狩り
用の鷹としてはもうしぶんない

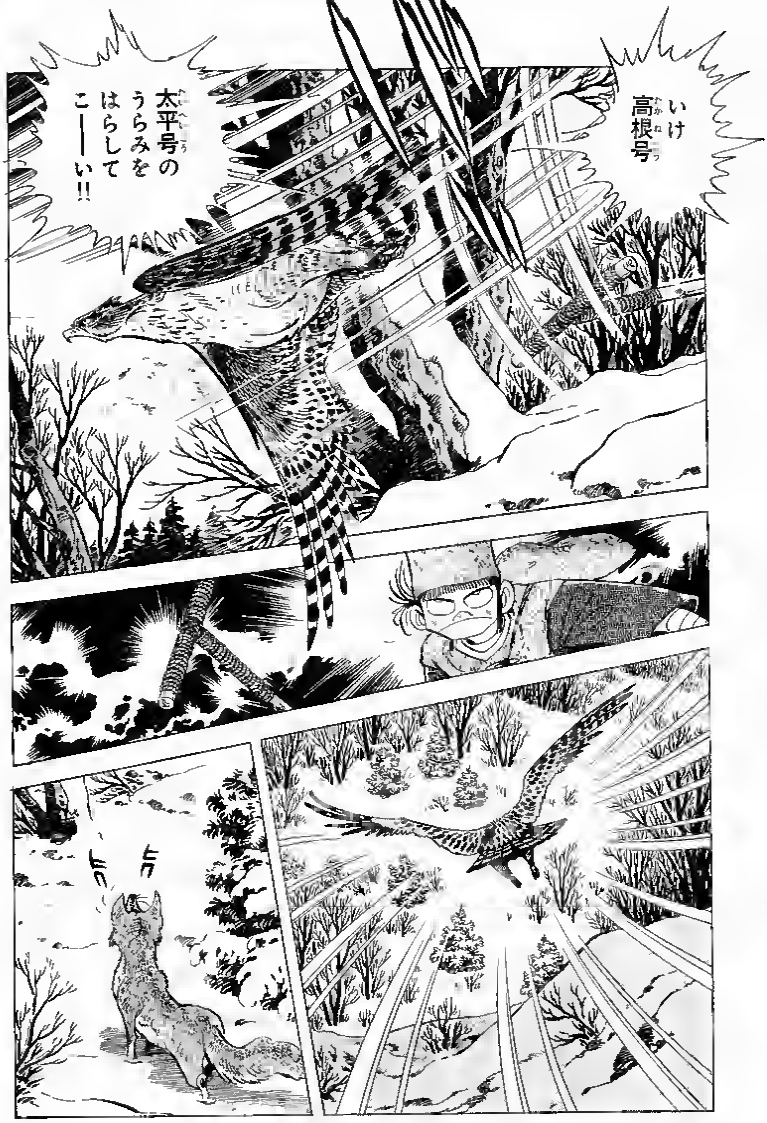




巣子は 太平山から
とってきたため
太平号と
名づけられ
健太郎の
熱心な飼育で
すくすくと
成長していた
ところが
そんな
ある晩
……
おとう
太平号の
なき声が
おかしい!!
ウムッ!!
鷹小屋に
なにかが
……!!

ウオッ!!
おとう!!

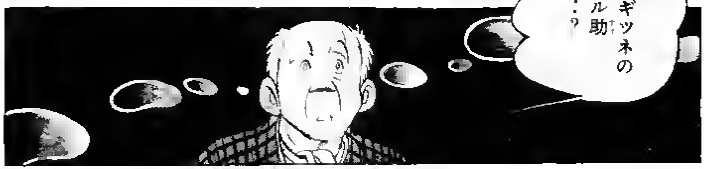
ズ　ズル助にむざんに首をくいちぎられていた……!!
健大郎とズル助の戦いはその夜からはじまったんじゃ!!
やがて健太郎はあの高根号をそだてた
そして太平号のかたきをうつため高根号とともにズル助をさがしあるいた
みつけたぞズル助!!


いけ
高根号
太平号の
うらみを
はらして
こ――い!!
ハア
ハア

角鷹フィッシング其之四

高根号VS.ズル助の巻

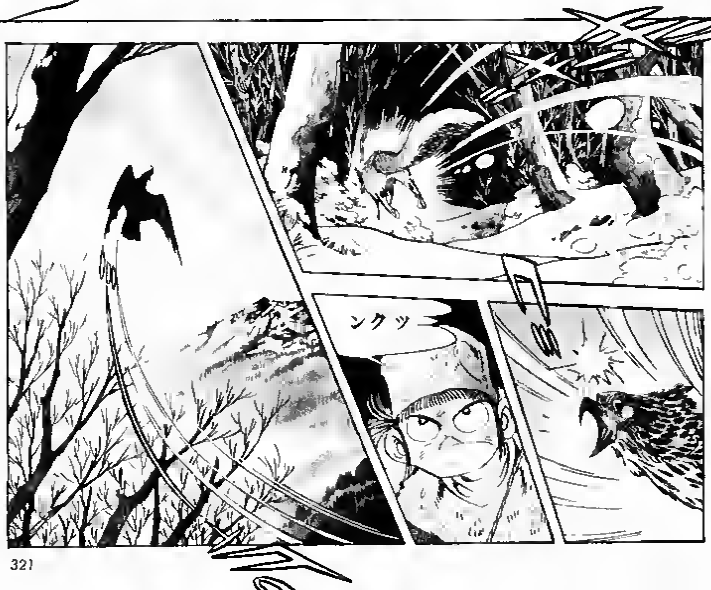
古ギツネのズル助……？



そうなんだよ

こいつがまさに名まえとおりのズルがしこいワルギツネで……

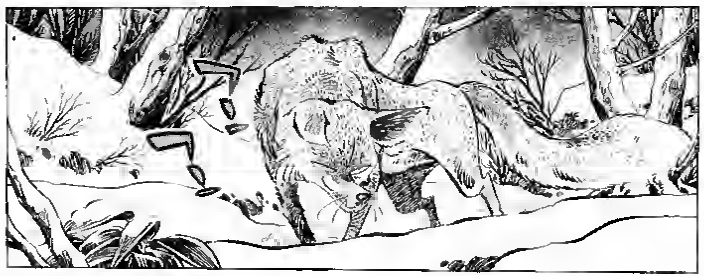
高根号におわれるとすぐ林のなかにげこんでしまうというだ……！！


ンクッ

クッ

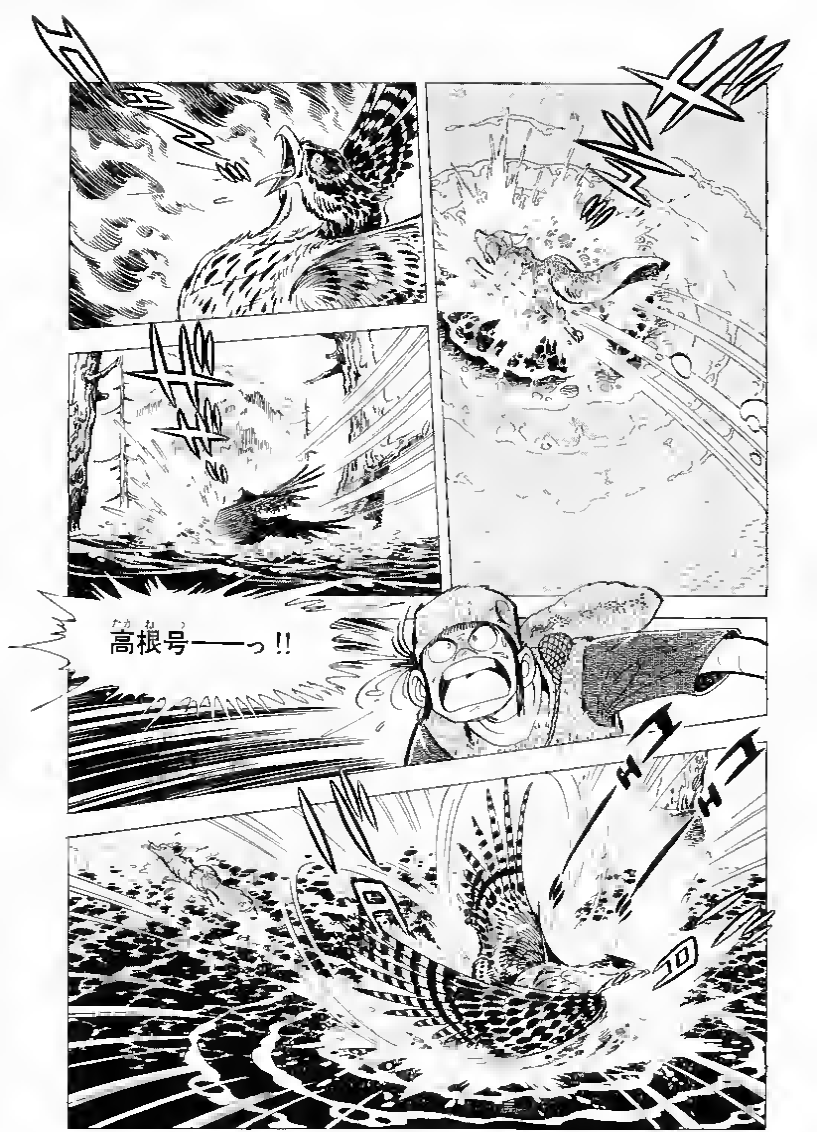
なるほど
羽根のでっけえ
鷹にとっては
枝のおりかさなった
林のなかじゃあ
手も足も
でねえって
わけか……

そうなんだよ
……
ところがそのうち
ズル助のやつ
しだいに大胆に
なって……
こんどは
ぎゃくに
高根号を
おびきよせる
ように
なったというだ



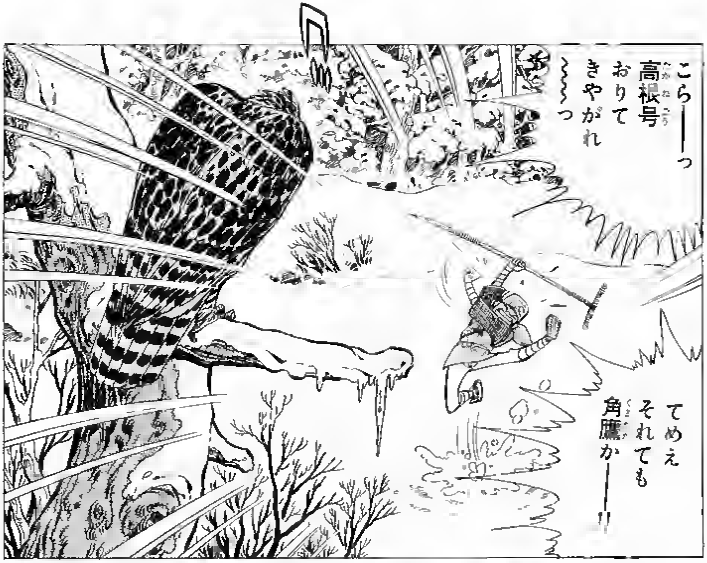
なんと
鷹を湖さ
さそい
だした……!?

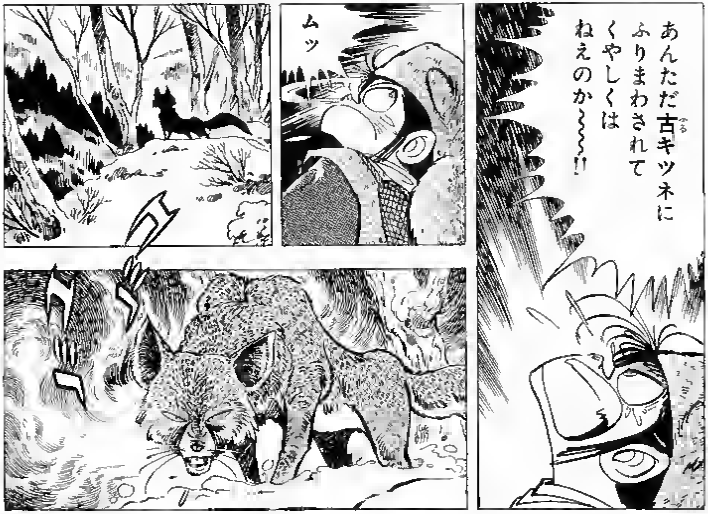
クェーッ


高根号――っ!!
ヒュー
ヒュー

高根号
しっかり
しろ――!!
これさ
つかまれ
――!!
ヨロヨロ
なるほど
水を利用して
鷹の攻撃を
封ずると
同時に……
あわよくば
自滅に
おいこもうと
たくらんだわけか

そうなんだよ
まったく
ワルちえの
はたらくキツネ
だべ……!!
それから
ちゅうもんは
なんどしかけても
ズル助は一目散に
湖さつっぱしる
ようになり
高根号は
水を見ると
たちまち追跡を
やめるように
なっちまったと
いうだ


こら――っ
高板号
おりて
きやがれ
～～っ
てめえ
それても
角鷹か――!!

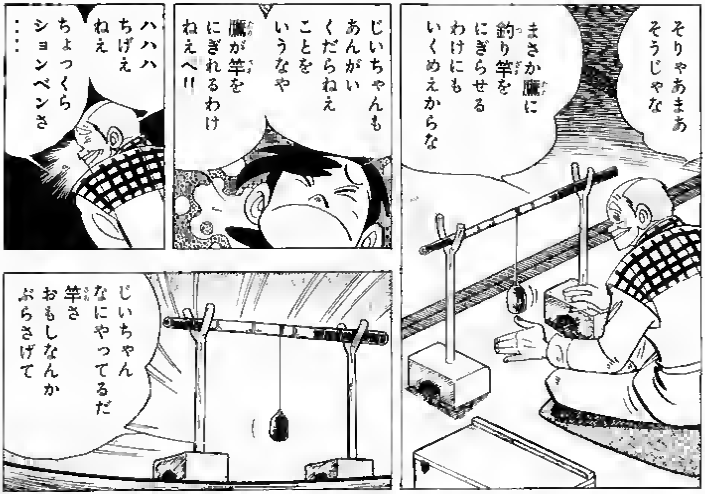

あんただ古キツネに
ふりまわされて
くやしくは
ねえのか～～!!
ムッ

ズ ズル助…!!
おぼえてろよ
太平号のかたきはかならずうってやる…
たとえ五年…
いや十年かかろうと
ギリギリ
このうらみかならずはらしたる
三平! わかるか
このハラワタがにえくりかえるようなくやしさが…!!
わ わかる
だったらつきあえ!
こいつにトコトン釣りをしこむんだ!!
し…しかし

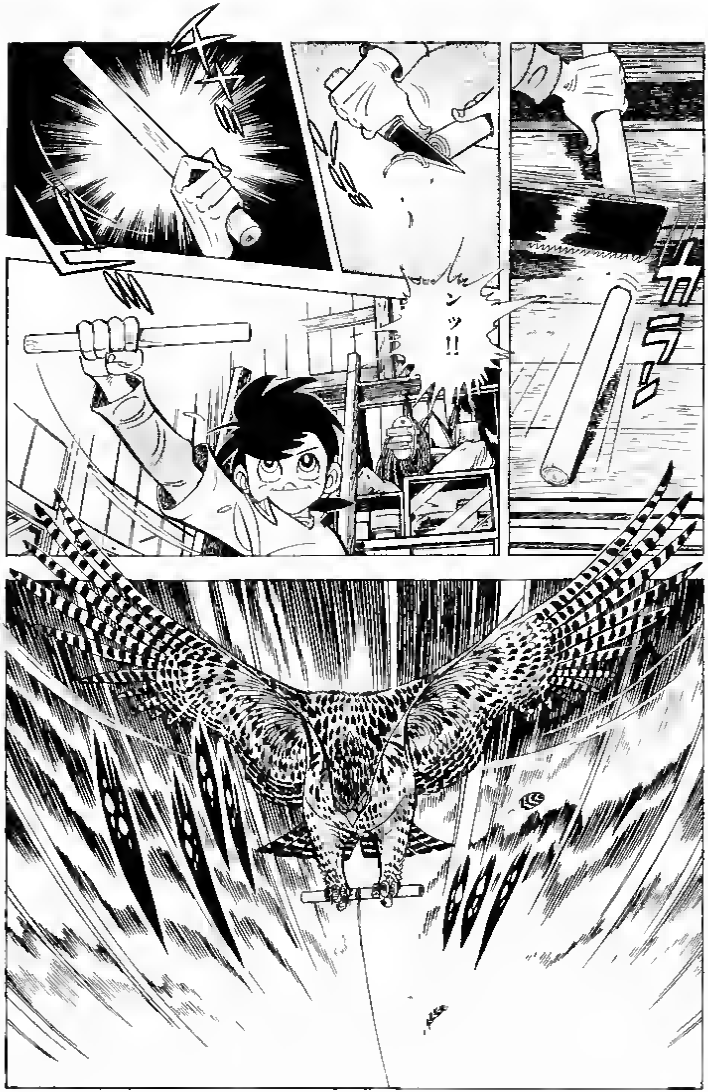
しかしも
ヘチマも
ねえ！
こいつが
水さえ
こわがらなく
なれば
なんとか
あのズル助に
一矢をむくいる
ことができる
んだ!!
け 健次郎くん
おめえの気もちは
わかるが また
大物がかかって
ひきずり
こまれたら…
それこそ
もともこも
なくして
しまうべ!!

くとい!!
そ そんな
そこを
考えるのが
おめえの
仕事だ!!

なにしろ鶴の足さ
直接テグスを
むすびつけてる
もんだから
大物が
かかると
どうしようも
ねえだ


そりゃあまあそうじゃな
まさか鷹に釣り竿をにぎらせるわけにもいくめえからな
じいちゃんもあんがいくだらねえことをいうなや
鷹が竿をにぎれるわけねえべ!!
ハハハちげえねえ
ちょっくらションベンさ…
じいちゃんなにやってるだ
竿さおもしなんかぶらさげて
ハハハその竿はY市の社長さんのヤマメ竿じゃが
社長さんときたら 日ごろくにていれをせんもんじゃからすっかりくるっちまってな
かなりガンコなくるいじゃて
火のしをかけてもすぐもとにもどらんから
しばらくはそうやって時間をかけて矯正しようと思ってな…
な――るほど

ン!?
そ
そうだ!!
この手だっ
じいちゃん
鷹にだって
竿をにぎらせる
ことが できる
そ——っ!!
なんじゃ
とォ……!?
ま——た
ろくでもねぇ
ことを
考えおった
な


ンッ!!
ブン

健太郎く――ん
できたぞ――!!
高根号の
釣り竿が
できたぞ
――!!
おらを
おいてけぼりに
するのか～～～っ!!
師匠
まってけれ
～～～っ
高根号の
釣り竿
…!?
まあ
見てくれ
夜もねずに
昼ねして
考えた
ケッサクだ
ハア
ハア
ゼイ
ゼイ

なんでえ
えれえ
わめきちらして
きたから
たいそうなもん
かと思ったら
バトンみてえな
ただの棒じゃ
ねえか
ただの棒とは
ことばだなや
たしかに
そうかも
しれねえが
こいつは桐材で
つくってあるから
かるい

高根号には
こいつを両足で
しっかりにぎって
とんでもらう
……

な なるほど
もちろん
ゴボウぬきの
できるサイズの
マスなら
問題はねえ

だが もし このまえの ように
クッ
思わぬ大物が かかって ひきずり こまれそうに なったときには
クエ～～～ッ
竿を はなす……!?

そうさ まずは 安全第一 …!?
この竿の ミソは そこなんだ!!
ところで そのゴムひも みてえな もんは …?
ショック 防止装置 さ!!
魚ってやつは 最初のアタリが もっとも 強烈なんだ!!
そのショックを ゴムの のびちぢみで やわらげようって わけさ!!
どうでえ まいったべ
おらの師匠の 高根号に たいする やさしい 心づかいが
さ 三平 善はいそげ だ!!
さっそく ためして みよう
そう こなくっ ちゃあ!!

三平
これで
いいか!!
よ――し
しっかり
たのむぜ
高根号!!
あぶな
かったら
すぐその竿を
はなすんだぜ

スター――ト!!
ホウッ!!
快調!!
快調!!
アハ!!

健太郎くん
ポイントだ
しかけの
投入を
命じろ!!
高根号
さげ――っ!!

このまえ
ひきずりこまれた
ショックは
あんましねえ
みてえだなや
それどころか
なんとなく
自信ありげな
感じだ!!
きたっ!!
クェ――ッ!!
クッ!!

高根号
あぶなかったら
いつでも竿を
はなすんだ
ぞ〜〜っ!!
やったぁぁっ!!

オーライ
オーライ
ヒョオ
竿をはなせ!!
やったやった!!
こいつぁでけえや
こんな大物をぬきあげるなんて…
両足でにぎってるからからだのバランスがくずれねえだ
どうやらこいつは一大発明だぜ!!

すごいぞ高根号
もういっちょいってみるか!!
どうしただどそんなにおっかねえツラして・・・
ムッ!三平見ろ!!
ズル助だ!!
ズル助がこっちを見てる!!
ああっ!!

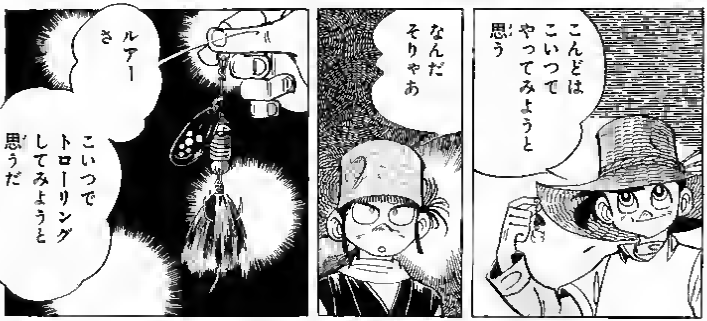
あ あれが ズル助か
みるからに ズルがしこそうな 古ギツネだなや

それよりも 高根号の目と 冠羽を 見ろ!!
ズル助に さんざんコケに されてからというもの
やつの姿を見ると たちまち 目をそらし ちいさくうずくまるのが オチだった
だが いまは ちがう!
このポーズは ズル助にたいして 猛然たるファイトを もやしてる ポーズだ!!

健太郎くん
ひょっとしたら
これは……
おらたちの
釣り作戦が
高根号に　また
戦う自信を
よみがえらせたんでは……
そのとおりさ!!
まだかんぺきとはいえないが
一ぴき釣るごとに
水にたいする
恐怖心がきえてる
証拠だ!!
するし
釣り作戦は
大成功ってわけだ!!
もちろんさ!
おめぇのおかげだよ
あらためて
礼をいうぜ!!
健太郎くんなにするだ
やつをおっぱらうのよオ!!
せっかくの
秘密特訓を
ぬすみ見られたんじゃあ
たまらんからな
うせろ――っ!!

おめえのいのちも
この夏かぎり
だ〜〜!!
せいぜい
毛なみを
みがいとけ
〜〜っ!!

さあ
じゃまものは
きえた
つづきを
いくぜ!!


こんどは
こいつで
やってみようと
思う
なんだ
そりゃあ
ルアー
さ
こいつで
トローリング
してみようと
思うだ

フフフ
さしずめ 角鷹
トローリングっ
てやつさ…
角鷹
トローリング
…？
ずっと
思ってたんだ
高根号には
トローリング
のほうが
あってるって
空中停止して
釣るよりも
とびながら
釣るほうが…
ほんとに
あんただことで
釣れるのかい
…!?
あ
ま 見てろって
…!!

ゴボッ!!
きたっ
ウオッ!!
やった!!
クェ〜〜ッ!!

ああっ
いかん
魚が
でかすぎる
ひきずり
こまれる!!

高根号
はなせ
〜〜〜っ
竿を
はなすん
だ〜〜!!

フェ～～～ッ
やれやれ
間一髪だったなや
どうやらおめえの考えどおりの特訓になってきたな…!!

た
高根号の
ようすが
おかしいぞ
ああっ
高根号には
竿がズル助に
見えているんだ!!

角鷹フィッシングの巻　おわり

あとがき

矢口高雄

おふくろが、釣り好きのボクにむかって、いつもいうことばがあった。

「釣りをするやつらは、日本一のバカだ……。」

つまり、魚がいるかいないかわからないところに糸をたれているからバカだというのである。さらにことばをつづければ、そんな魚釣りをしている人を、これまたのんびりとながめているやつらがいるが、これは世界一のバカである、と。春の山菜採りや、秋のキノコ狩りが何よりも好きだという、山そだちのおふくろらしいことばである。

そんなおふくろが、股関節炎をわずらい、およそ一か月も入院したことがあった。病院で左右の脚の長さをはかったところ、病める側の脚が、もう一方より十センチも長くなり、激痛をともなって苦しんだ。

肉親の苦しむ姿ほど、見るにしのびないものはない。ましてや、それがおふくろともなれば、ただオロオロとつきそうばかり。こらえきれずにボクは、モルヒネでおふくろがねむったのを見とどけると、病院をぬけだした。手には、いつしか一本の竿をにぎりしめ、足は無意識のうちに釣り場にむかっていた。

たどりついた釣り場は、裏山の山間につくられた砂防堤であった。ここには、かつてニジマスが放流されたが、その一、三年後にはほとんど釣りつくされてしまったという。

「一匹だけのこってるだ。えれえでかくなってな……。」

あるときおふくろが、ボクにそっとおしえてくれた。そのおふくろの情報にさそわれて、ボクはやってきたのである。

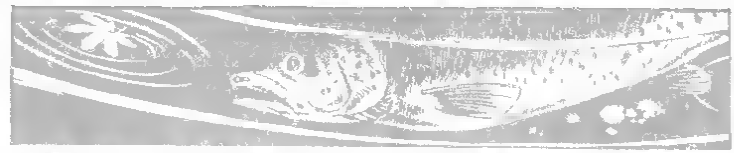
なるほど、情報を裏書きするように、堤の下には、村の若者たちが捕獲をこころみたのであろう、くすんだ緑色の古ぼけた蚊帳がすてられていた。

砂防堤の水は鏡のように澄んで、水底がすべて見とおせる状態だった。ボクはさっそく、堤の上から二、三粒小砂利をばらまいた。獲物をたしかめるために、いつもつかう手である。と、小砂利が水面に音をたてた瞬間、ひとすじの黒い影が、沈んでいく小砂利にむかって突進してきた。しかし、小砂利はエサではない。黒い影は、瞬時にしてそう判断したのか、たちまちUターンして砂防堤の江古へと消えた。なんと、それは六十センチあまりもあろう大ニジマスではないか。

「しめた！」

ボクはあわてて竿を振りだし、釣りじたくにかかったことはいうまでもない。ところが、気づいてみると、ボクのもってきた竿は、四間半の鮎のコロガシ用の竿だった。おふくろの病気にすっかり動転していたためのまちがいだった。

しかたなくボクは、とにかくその竿を振りだし、ラインもナイロン二号を一本とおし



にし、ハリは鮎掛け用十号に、エサはちかくの草むらから山イナゴをとってつけた。ところが、まちがってもってきた竿が、ぎゃくに功を奏する結果となった。なにしろ足場の砂防堤の上から水面までは四、五メートルはあろう。長い剛竿を利してボクは、眼下の江古をめがけ、そっとエサをおとした。もちろん、魚からはけっして姿を見られないように堤の上にふせ、竿先を見つめる体勢でアタリをまった。

しばらく時が流れた。でてこない。ふたたびエサを打ちなおしてみた。やはり、でてこない。さすが、のこりの一匹になっても、これまで釣られずにきただけのことはある。

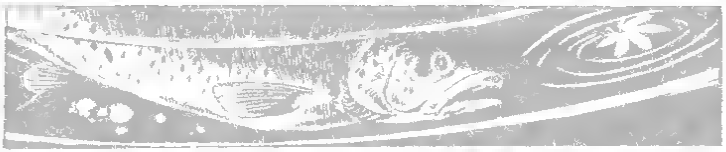
そのうち、ボクのまぶたが重くなってきた。昨夜、ほとんど徹夜の看病だったから、からだもだるく、しだいに睡魔におそわれ、いつのまにか両脚で竿をおさえるかたちで、あおむけに寝こんでしまったのである。

ヒューン、ヒューン。

奇妙なうなり音が、ボクを夢の中から引きおこした。両脚におさえられた竿の先が、満月のごとくたわんでいた。そして、その先のラインは、右に左に水面を切りさいているではないか！

ガバッととびおきるなり、ボクは竿をつかんだ。まぎれもなく、あの六十センチ級の黒い影が、その先端であえいでいる。いや、もはや黒い影ではなかった。幅広の虹色に染めた横腹が、水面せましとあばれまくっていたのである。

重大なことに気づいたのは、それから二、三分してからだった。ボクの足場は水面か



ら四、五メートルと高かった。くわえて、谷の両サイドはきりたった岩盤。とても下へおりることはできない。もう、ゴボウ抜きに抜きあげるしか手はない。だが、仕掛けは二号。切れるおそれは十分にある。

ボクは、イチかバチかの作戦をえらばざるをえなかった。ボクは敢然と長竿を両手で頭上にかかげた。そして、呼吸をはかって、一気に、着のみ着のままで、四、五メートル下の水面をめがけてとびおりたのである。泳ぎは子どものころから自信があった。ダムにとびこむなり、右手で高く竿をかかげた。運よく獲物はバレず、ふたたび激しく引きこんだ。こうなればシメたものだった。とくいの立ち泳ぎで竿をタメながら、悠々と下方の堰堤にたどりつき、みごとにそいつを手中にしたのである。六十二センチの大ニジマスであった。

おふくろは、鮎以外の淡水魚はあまり好きではないが、ボクはこのニジマスをお吸物にして、病床のおふくろに食べさせた。

「おいしい。」といって、おふくろは食べた。しかし、熱と激痛に伏す人間に、味など吟味している余裕などあろうはずがない。だから、このときの「おいしい。」の一言は、きっと日本一のバカなことにうつつをぬかしている、釣り好きのむすこに対するおもいやりの一言だったのだろう。

「紅葉堤の大ニジマス」は、こんなエピソードをもとに創った作品です。

（一九八五年一二月九日記す。）

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―〇一〉
「講談社コミックス月刊（マガジン）」編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―183

釣りキチ三平―第十一集

1986年1月9日　第1刷発行
1997年4月20日　第20刷発行
（定価はカバーに表示してあります）

著者　矢口高雄
発行者　五十嵐隆夫
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号　一一二―〇一
電話　編集部（〇三）五三九五―三四五八
販売部（〇三）五三九五―三六〇八
印刷所　廣済堂印刷株式会社
製本所　誠和製本株式会社

©矢口高雄　一九八六年

落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。
（☎〇三―五三九五―三六〇三）
なお　この本についてのお問い合わせは、月刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられています。

ISBN4-06-101183-9　（月マ）　Printed in Japan

KCSP 183

釣りキチ三平

第11集

ニジマス釣り編

矢口高雄

雑誌 45423-83

ISBN4-06-101183-9

講談社

C9979 ¥621E (3)

講談社

定価652円
本体621円

KCスペシャル

釣りキチ三平

1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編Ⅰ
8 謎の魚釣り編Ⅱ
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編Ⅱ
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編Ⅰ
14 イトウ釣り編Ⅱ
15 イトウ釣り編Ⅲ
16 おもしろ釣り編Ⅱ
17 ムツゴロウ釣り編Ⅰ
18 ムツゴロウ釣り編Ⅱ
19 秘伝アユ漁編Ⅰ
20 秘伝アユ漁編Ⅱ
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編Ⅰ・Ⅱ
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
29・30 マス釣り編Ⅰ・Ⅱ
31・32・33 ブルーマーリン編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
34・35 キャスティング編Ⅰ・Ⅱ
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編Ⅱ

大好評発売中!